

aprilia製品をお選びいただきありがとうございます。

このブックレットは、車両を正しく安全に楽しんでいただくために作成されました。初めて運転される前にこのマニュアルをよくお読みください。本書には車両を使用するために必要な情報やヒント、および注意事項が含まれています。また車両の仕様と装備も詳しく解説されており、これをご覧になればaprilia製品をお選びになったことに満足していただけるでしょう。車両の特徴を理解して長くお使いいただくためにも、本書のアドバイスをお守りください。このマニュアルは車体構成の一部とみなされ、中古販売の際にも車体とともに販売されます。

RSV1000 R – RSV1000 FACTORY

The Aprilia logo, consisting of the word "aprilia" in white lowercase letters on a red rectangular background.

このマニュアルには、車両の使用方法が分かりやすく述べられています。メンテナンス作業の説明や、aprilia正規代理店またはワークショップに依頼していただく定期点検についても記載されています。本書には簡単な修理の方法も述べられていますが、特殊工具や専門知識を必要とする修理については詳しく記述されておりません。そのような修理が必要な場合は、aprilia正規代理店またはワークショップにご依頼ください。



ライダーの安全のために

これらの警告事項を厳守しない場合、大きな危険をもたらす危険性があります。



環境保護のために

自然環境に配慮しながらモーターサイクルを使用するための事項が記載されています。



車両保護のために

これらの警告事項を厳守しない場合、重大な損傷をもたらすだけでなく、保証対象外になります。

上記の注意事項は大変重要です。これらは本書の中でも特に注意して読むべき箇所を示すために使われます。それぞれの記号は重要度をすぐに見分けられるように、ご覧のような特定のシンボルで表現されています。エンジンを始動する前に、このマニュアル（特に“安全運転のために”の章）を注意深くお読みください。ライダーと周囲の人の安全は、ライダーの反応の速さや敏捷性によってのみ守られるのではなく、車両とその能力をどれだけご存知であるか、安全運転のルールに関する知識によっても左右されます。安全のために、車両についてよく理解して安全運転を心がけ、路上での運転をマスターしてください。重要 このマニュアルは車体構成の一部とみなされ、中古販売の際にも車体とともに販売されます。

RSV1000 R – RSV1000 FACTORY

aprilia



目次

目次

章 01	一般事項
章 02	車両
章 03	用途
章 04	メンテナンス
章 05	諸元
章 06	メンテナンススケジュール
章 07	専用フィッティング

RSV1000 R – RSV1000 FACTORY

aprilia



章 01
一般事項

はじめに

重要

メンテナンス作業を行う頻度は、車両を以下のような場所で使用される場合、2 倍に増やしてください：雨の多い地域、埃っぽい場所、舗装されていない路上、またはスポーツ運転の実行時。

一酸化炭素

メンテナンス作業中にエンジンをかけ続ける必要のあるときは、屋外または十分に換気された場所で行ってください。絶対に閉め切った場所でエンジンをかけないでください。やむをえず屋内でエンジンをかける場合は、必ず排煙装置を使用してください。

注意



排気中には吸引すると大変危険な一酸化炭素が含まれています。吸引すると意識不明になったり、最悪の場合は死亡する危険があります。

燃料

注意



内燃機関で使用される燃料は非常に引火しやすく、特定の条件下では爆発する恐れがあります。燃料補給やメンテナンスは換気のよい場所でエンジンを止めた状態で行ってください。燃料補給中や燃料ガスが残っている場所では絶対に煙草を吸わないでください。引火や爆発を避けるため、火気、火花、熱源などに燃料を近付けないでください。

環境保護のため燃料は適切に処理してください。

子供の手の届かない場所に保管してください



車両が転倒したり過度に傾いた場合、燃料が流出する恐れがあります。

サーマルコンポーネント

エンジンや排気系統は非常に高温になり、エンジンを止めた後もしばらくの間は熱くなっています。 これらをメンテナンスする場合は耐熱手袋を着用するか、エンジンと排気系統が冷めるまでお待ちください。

インジケータユニット



エンジン作動中にアラーム警告灯と“SERVICE”診断マークが点灯した場合、コントロールユニットが何らかの故障を検知したことを意味します。

多くの場合、エンジンは性能が制限された状態で作動し続けます。 直ちにaprilia正規代理店にご連絡ください。

最初の1,000 km走行後、およびその後10,000 km走行ごとに、“SERVICE”マークが右ディスプレイに現れます。

このマークが現れた場合は、メンテナンススケジュールの表に記載されているメンテナンス作業を行うため、車両をaprilia正規代理店にお持ちください。



アラーム警告灯とエンジンオイルプレッシャー表示部のマークが点灯し続けているか、またはエンジン作動中に点灯した場合は、オイル系統内のオイルプレッシャーが低すぎることを意味します。



この場合はエンジンオイル量を確認し、正しいレベルでない場合は、直ちにエンジンを止めてオイルを補給してください。

オイル系統の点検を行う際は、aprilia正規代理店にお問い合わせください。

クーラント

冷却液には可燃性のあるエチレングリコールが含まれています。エチレングリコールは燃焼しても炎が目に見えないため、知らないうちに火傷を負う危険があります。

注意



高温になっているエンジンや排気系統に冷却液をかけないように注意してください。引火して目に見えない炎が発生する場合があります。メンテナンス作業を行う際は、ゴム手袋の着用をお薦めします。冷却液は有毒ですが、ペットの好む甘い香りを放ちます。冷却液を蓋のない容器に入れたまま、絶対にペットの近寄る場所に放置しないでください。ペットが誤って飲む恐れがあります。

子供の手の届かない場所に保管してください

エンジンが熱い間はラジエーターキャップを外さないでください。加圧された冷却液が噴き出し、火傷を負う恐れがあります。

使用済みエンジンオイルおよびギアチェンジオイル

注意





メンテナンス作業の際はゴム手袋の着用をお薦めします。 エンジンオイルを毎日、かつ長期間扱っていると皮膚に重大な損傷を与えることがあります。 エンジンオイルを扱った後は手をきれいに洗ってください。 使用済みのオイルは密閉容器に入れ、行きつけのガソリンスタンド、オイル処理施設等へ持参して処理を依頼してください。 メンテナンス作業の際はゴム手袋の着用をお薦めします。

環境保護のためエンジンオイルは適切に処理してください。

子供の手の届かない場所に保管してください

ブレーキおよびクラッチフルード

ブレーキオイルとクラッチオイル



ブレーキオイルとクラッチオイルは、プラスチックやゴムの塗装面を傷める恐れがあります。 ブレーキ系統やクラッチ系統のメンテナンスを始める前に、これらの部品を清潔なウエスで保護してください。 これらをメンテナンスするときは、必ず保護眼鏡を着用してください。 ブレーキオイルやクラッチオイルが目に入ると大変危険です。 もしも目に入った場合は、直ちに多量の清潔な冷水で洗浄し、医師の診断を受けてください。

子供の手の届かない場所に保管してください

電解液とバッテリーの水素ガス

注意



バッテリー液は硫酸を含んでいるため毒性と腐食性があり、皮膚に触れると火傷する危険があります。 バッテリー液を扱う際はゴム手袋や防護服などで身体を保護してください。 バッテリー液が皮膚に付着した場合は、多量の清潔な水で十分に洗い流してください。少量でもバッテリー液が目に入ると失明の恐れがあるため、目を保護することは非常に重要です。

もしも目に入った場合は、15分間ほど多量の水で洗い流し、直ちに眼科医の診断を受けてください。誤って飲み込んだ場合は大量の水か牛乳を飲み、続いてマグネシウム乳液または植物油を飲んだ後、すぐに医師の診察を受けてください。バッテリーは爆発性のガスを発生しますので、火気、火花、たばこ、その他の熱源などから遠ざけてください。バッテリー充電中や使用中は室内の換気に注意し、充電中に発生するガスを吸わないように気をつけてください。

子供の手の届かない場所に保管してください

バッテリー液には腐食性があります。特にプラスチック部品に付着しないように注意してください。バッテリーの仕様に適合したバッテリー液を使用してください。

スタンド



走行前に、スタンドが完全に格納されているか確認してください。

サイドスタンドにライダーまたはパッセンジャーの体重をかけないようにしてください。

安全に関わる不具合の報告

一般的注意事項

車両の修理、分解、組み立てを行うときは、以下の注意事項をよくお読みください。

部品を取り外す前に

- 部品を取り外す前に、土、泥、砂、その他の異物を車体から取り除いてください。専用工具を必要とする場合は、この車両専用の工具を使用してください。

部品の取り外し

- ボルトやナットを緩めたり締めたりするときは、正しいサイズのレンチを使用してください。プライヤなどで回さないでください。
- パイプやケーブルなどを取り外す前に、分かりやすい記号で元の位置を接続部分にマーキングしてください。

- 取り外した部品には、組み付け時に識別できるようにマーキングしてください。
- 取り外した部品は難燃性の洗剤で洗浄してください。
- ペアになっている部品は同じように摩耗しているので、組み付け時も同じ組み合わせとなるように、取り外した後も一緒に保管してください。
- 常にペアで使用もしくは交換しなくてはならない部品があります。
- 取り外した部品は熱源から遠ざけてください。

部品の組み付け

注意

ベアリングが軽く回ることを確認してください。ひっかかりを感じたり、異音がする場合は交換してください。

- 必ずaprilia純正部品を使用してください。
- 潤滑油と消耗部品は、定められた期限や使用限度に従って交換してください。
- 部品を組み付けるときは、できる限りオイルやグリスを塗布します。
- ナットとボルトを締めるときは、径の大きいものから、または内側のものから順番に、対角に締め付けます。 ナットとボルトは規定トルクで締め付ける前に、段階的に仮締めしていきます。
- セルフロックナット、ワッシャー、シールリング、サークリップ、Oリング、コッタピンなどは、組み付け時に必ず新品と交換してください。またねじ山の損耗したボルトも新品と交換してください。
- ベアリングを組み付けるときはグリスを十分に塗布してください。
- 組み付けが完了したら、すべての部品が正しく取り付けられているかチェックしてください。
- 修理や定期点検の後は走行前の点検を実施し、私有地内もしくは交通量の少ない場所で試験走行を行ってください。
- すべての接合面、オイルシール、ガスケットは、再び組み付ける前に洗浄してください。 オイルシールのリップ部にリチウムグリスを薄く塗布します。 オイルシールとベアリングは、メーカー刻印またはロット番号のある面を外側に向けて組み付けます。

配線コネクター

配線コネクタを取り外す場合は必ず以下の注意を守ってください。そうしないとコネクタとケーブルの両方に修理不可能な損傷を与える恐れがあります。

ロック用のツメがある場合はそれを押し下げます。

- 両方のコネクタを手を持ち、反対方向に引いて接続を外します。
- コネクタの内部に土、錆、湿気などがある場合は、圧縮空気を吹き付けて慎重に取り除きます。
- ケーブルがコネクタ内部のターミナルに正しく接続されているか確認します。
- 両方のコネクタを正しく接続します。ロック用のツメがある場合は、カチッという音がするまで押し込みます。

注意

コネクタを外すときは、絶対に配線ケーブルを持って引っ張らないでください。

重要

コネクタ同士は一方方向にしか差し込めません：正しい方向に差し込んでください。

締め付けトルク

注意

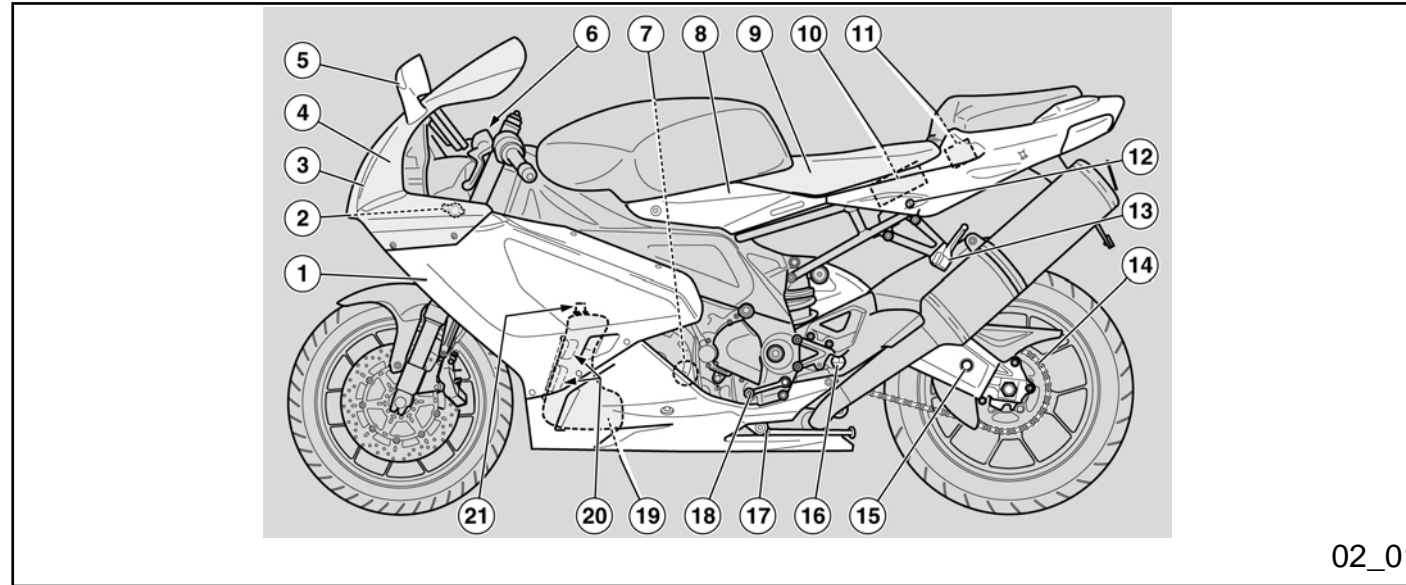
ホイール、ブレーキ、アクスルシャフト、その他サスペンション関連の部品には、すべて締め付けトルクが定められています。安全のために必ず規定の締め付けトルクを守ってください。これらの部品の規定締め付けトルクを定期的にチェックし、組み付けるときは必ずトルクレンチを使用してください。規定締め付けトルクが守られていないと、部品が緩んで外れる恐れがあり、ホイールロックを引き起こしたり、車両の操縦安定性に重大な影響を及ぼします。その結果転倒を招き、重傷や死に至る事故の危険があります。

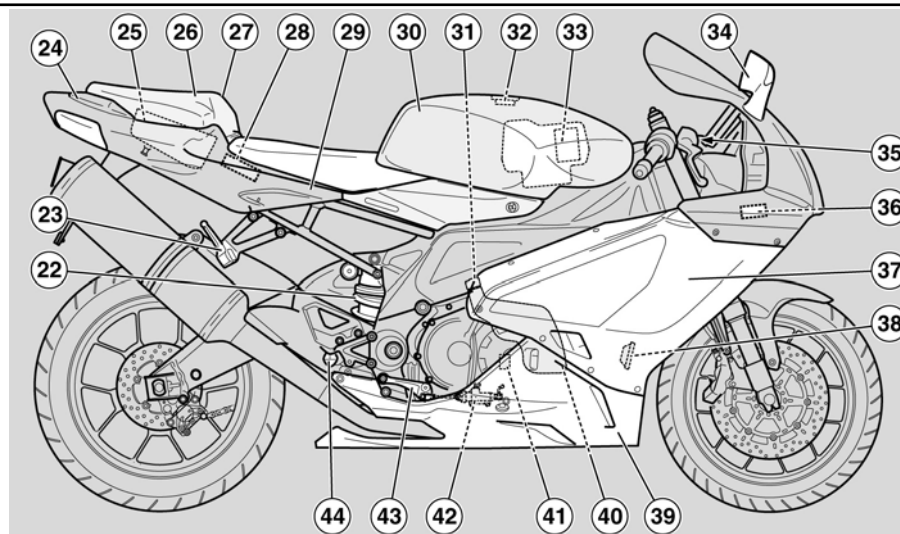
RSV1000 R – RSV1000 FACTORY

aprilia



章 02
車両





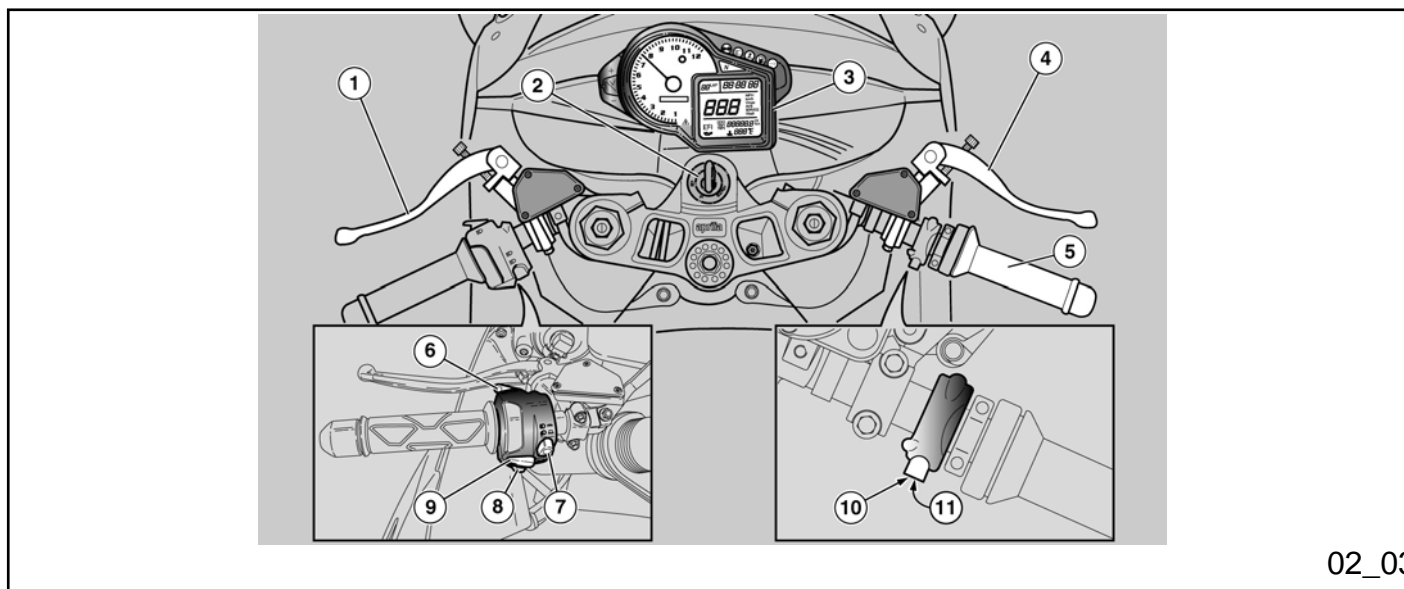
02_02

主要コンポーネントの位置 (02_01, 02_02)

各部名称：

1. 左サイドフェアリング
2. アジャスタブルステアリングダンパー (Factory)
3. 左フロントライト
4. クラッチオイルタンク
5. 左バックミラー
6. クラッチオイルタンク
7. エンジンオイルフィルター
8. 左サイドフェアリング
9. ライダーシート
10. バッテリー
11. メインヒューズボックス (30 A)
12. パッセンジャーシートロック (グローブボックス／ツールキットコンパートメント)

-)
- 13. 左パッセンジャーフットレスト (スナップ式開閉)
- 14. ドライブチェーン
- 15. スイングアーム
- 16. 左ライダーフットレスト
- 17. サイドスタンド
- 18. ギアシフトレバー
- 19. エンジンオイルタンク
- 20. エンジンオイルレベル
- 21. エンジンオイルタンクキャップ
- 22. リアショックアブソーバー
- 23. 右パッセンジャーフットレスト (スナップ式開閉)
- 24. リアライト
- 25. グローブボックス/ツールキットコンパートメント
- 26. パッセンジャーシート (グローブボックス/ツールキットコンパートメントロック)
-)
- 27. パッセンジャーシートストラップ
- 28. コントロールユニット
- 29. 右サイドフェアリング
- 30. 燃料タンク
- 31. 冷却液エキスパンションタンクキャップ
- 32. 燃料タンクキャップ
- 33. エアフィルター
- 34. 右バックミラー
- 35. フロントブレーキオイルタンク
- 36. 二次ヒューズボックス (15 A)
- 37. 右サイドフェアリング
- 38. ホーン
- 39. 下部フェアリング
- 40. エキスパンションタンク
- 41. リアブレーキオイルタンク
- 42. リアブレーキポンプ
- 43. リアブレーキペダル
- 44. 右ライダーフットレスト

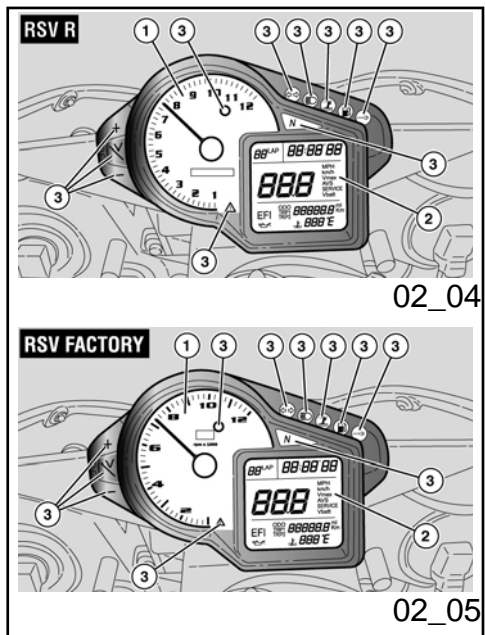


02_03

ダッシュボード (02_03)

各部名称：

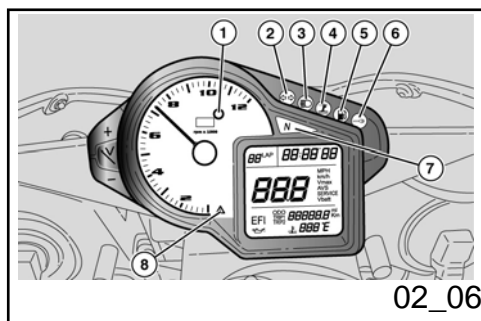
1. クラッチレバー
2. イグニッションスイッチ／ステアリングロック
3. 計器および表示灯類
4. フロントブレーキレバー
5. スロットルグリップ
6. パッシングライト／LAP（マルチ機能）ボタン
7. デイマースイッチ
8. ウィンカーライトスイッチ
9. ホーンボタン
10. スターターボタン
11. エンジンキルスイッチ



アナログ式インストルメントパネル (02_04, 02_05)

各部名称：

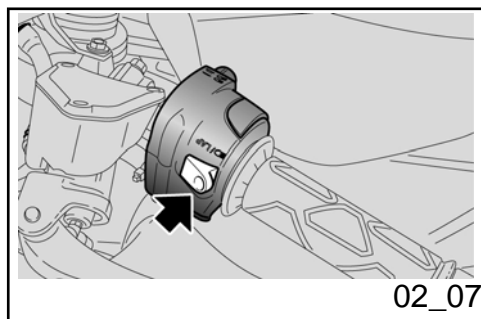
1. タコメーター
2. マルチ機能デジタルディスプレイ（冷却液温度、時計、バッテリー電圧、クロノメーター、診断、エンジンオイルプレッシャー）
3. 警告灯／インジケーター



インジケーターユニット (02_06)

各部名称：

1. レッドゾーン警告灯（赤）
2. ウィンカーライトインジケーター（緑）
3. ハイビームインジケーター（青）
4. サイドスタンド警告灯（黄）
5. 燃料警告灯（黄）
6. イモビライザー警告灯（赤）（イモビライザーが装着されている場合）
7. ニュートラルインジケーター（緑）
8. ジェネラル警告灯（赤）



クロノメータの設定 (02_07, 02_08)

タイム計測の開始

- “LAP”ボタンを押してすぐに放します。
 - ボタンを1回押すと、タイム計測が開始します。タイム計測を開始してから10秒以内に再度“LAP”ボタンを押すと、クロノメーターがリセットされます。
- “LAP”ボタンをもう一度押すと、再びタイム計測が開始され、タイム記録とラップ番号が保存されて、左上部に10秒間表示されます。
- 10秒後、クロノメーターは2番目のラップタイムと識別番号を表示します。

重要

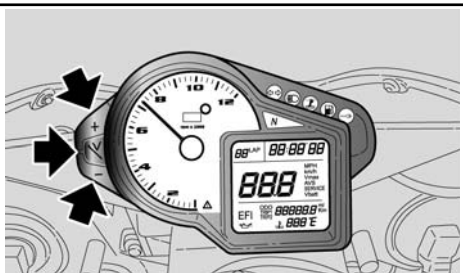
最大40件のタイムを保存することができます。40件保存されると、“LAP”ボタンを押してもそれ以上タイムが保存できなくなり、保存された40件の記録が自動的に表示されます。

クロノメーター機能をリセットするには、保存された40件のタイムを消去してください。

クロノメーターはトラックを走行するときのラップごとのタイムを計測し、後で確認可能なデータを保存します。

“クロノメーター”の機能を使用している場合、“時計”の機能を呼び出すことはできません。

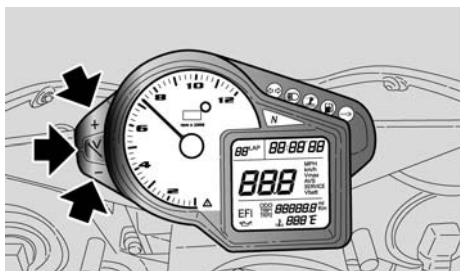
クロノメーター機能を作動するには：



02_08



02_09



02_10

- “LAP”ボタンを押したまま保持し、“TRIP/V”を3秒以上押します。時計の代わりに“01 LAP 00'00"00”が表示されます。

クロノメーター機能を終了するには：

- “LAP”ボタンを押したまま保持し、“TRIP/V”を3秒以上押します。ディスプレイに再び時計が表示されます。

メモリーのリセット

クロノメーター機能を作動します。

“LAP”ボタンを押したまま保持し、“-”ボタンを3秒以上押します。

ディスプレイに“01 LAP 00'00"00”が現れた場合、最大40件のメモリーがリセットされたことを示します。

バッテリーを取り外すと、保存されたタイムが消去されます。

保存されたタイムの表示

- クロノメーター機能を作動します。
- “TRIP/V”を3秒以上押します。“+”（進む）と“-”（戻る）ボタンでタイムをスクロールします。
- クロノメーター機能に戻るには再度“TRIP/V”を3秒以上押します。

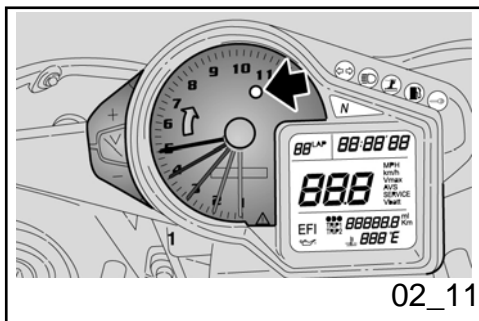
コントロールボタン (02_09)

イグニッションキーを“KEY ON”にすると、メーターパネルの以下のインジケーターが3秒間点灯します。

- マルチ機能デジタルディスプレイのすべての部分
- すべての警告灯／インジケーター
- バックライト

タコメーターの針がギアシフトする数値（rpm）に達し、すぐに0に戻ります。

最初の点検後、すべての計器はすぐに検知された計測の現在値を示します。



重要

メーターパネルに水温が表示されずに“ERR”が点滅し、サイドスタンド警告灯とレッドゾーン警告灯が点灯する場合、メーターパネルとエンジンコントロールユニット間のCANラインに通信エラーがあることを示します。スクーターをディーラーへお持ちください。

イグニッションキーを“KEY ON”にすると、表示される標準設定は以下のようになります。

- 現在速度
- 時計またはクロノメーター
- 冷却液温度
- オドメーター

画面の選択項目をスクロールするには、‘+’、‘-’、‘TRIP/V’ ボタンを使用してください。

より高度な機能（02_10, 02_11）

表示単位（km-mil、km/h-MPH、° C-° F）

- 単位（km、mi、km/h、MPH）の表示を変更するには、“TRIP/V”と“-”ボタンを同時に15秒以上押します。
- 温度（° C、° F）の表示を変更するには、“TRIP/V”と“+”ボタンを同時に15秒以上押します。

現在速度、最高速度、平均速度、バッテリー電圧の表示

- 平均速度、最高速度、バッテリー電圧はスクーターを停止したときにのみ表示されます。走行中は現在速度のみが表示されます。
- イグニッションキーを‘KEY ON’にすると、ディスプレイに現在速度が表示されます。最高速度（V max.）または平均速度（AVS）、バッテリー電圧を表示するには、“+”ボタンを押します。

- 最高速度（V max.）および平均速度（AVS）の値をリセットするには、その値を表示させて“-”ボタンを3秒以上押します。

重要

最高速度と平均速度の値は、最終リセット時からの走行距離に基づきます。

バッテリー電圧の値（ボルト表示）は変更できません。 この値はバッテリーの作動状態を示しています。

充電システムは、エンジン回転が4,000 rpmで、ロービーム点灯中にバッテリー電圧が13-15ボルトのときに正常に作動します。

- パネルライトの調整： パネルバックライトの明るさは3段階に調整できます（30%、70%、100%）。 キーを‘KEY ON’にした後、5秒以内に“-”ボタンを押すと、明るさを調整することができます。

オドメーターとトリップメーターの表示（km/mi）（TRIP 1およびTRIP 2）

イグニッションキーを“2”にすると、オドメーターが表示されます。 トリップメーター（km/mi）（TRIP 1およびTRIP 2）を表示するには、“Trip/V”ボタンを押します。

トリップメーター（km/mi）のTRIP 1の値をリセットするには、その値を表示させて“Trip/V”ボタンを3秒以上押します。

トリップメーター（km/mi）のTRIP 2の値をリセットするには、その値を表示させて“Trip/V”ボタンを3秒以上押します。

重要

区間距離の値は、最後に値をリセットしてから走行した距離に基づきます。

- バッテリーを取り外すと、Trip 1およびTrip 2で保存された距離が消去されます。

冷却液温度の表示

- センサーが検知した温度が34° C以下の場合、冷却液温度のディスプレイに“—”が表示されます。
- センサーが検知した温度が35° Cから114° Cの間である場合は、ディスプレイに実際の温度の値が表示されます。
- 温度が115° Cから135° Cの間である場合は、ディスプレイに値が点滅表示されます。危険を示すために警告灯も点灯します。
- 温度がこの値を超えた場合、ディスプレイの値135° Cも点滅します（警告灯が常時点灯）。

注意

冷却液温度センサーの接続が外れている、またはセンサーが損傷している場合、メーターパネルのエラーインジケータ警告灯が点灯し、温度を測定することができません。この場合はaprilia正規代理店にご連絡ください。

温度計のディスプレイ表示範囲は35° Cから135° Cの間です。

デジタル時計の設定

デジタル時計はディスプレイの上部に表示されます。

時計はキーを' KEY ON' にしたときのみ表示されます。

重要

キーを' KEY ON' にして車両を停止しているときにのみ、時計を調整することができます。

時間設定

- 時間表示が点滅するまで、“+”と“-”ボタンを同時に3秒以上押します。
- 設定したい値になるまで“+”と“-”ボタンを使用して調整します。

- 調整ボタンを押し続けると、値は1時間ずつ増加／減少します。
- 時間の設定を確定するには、“TRIP/V”ボタンを3秒以上押します。時計は自動的に分設定機能に切り替わります。

分設定

- “+”および“-”ボタンを押すと、値は1分ずつ増加／減少します。
ボタンを押し続けると、分の値が自動的に1分ずつ増加／減少します。
- 分表示の点滅が停止するまで、“TRIP/V”ボタンを3秒以上押します。そのとき設定値が確定されます。
- バッテリーを取り外すと、時計の設定が消去されます。

診断

イグニッションスイッチを‘KEY ON’にするたびに、“EFI”の文字が3秒間表示されます。

注意

エンジン作動中、“EFI”の文字が現れて警告灯も点灯した場合、コントロールユニットが故障を検知したことを意味します。

多くの場合、エンジンは性能が制限された状態で作動し続けます。直ちにaprilia正規代理店にご連絡ください。

エンジンオイルプレッシャー

イグニッションスイッチを‘KEY ON’にするたびに、エンジンオイルプレッシャー警告灯が3秒間点灯します。

注意

エンジン始動後、エンジンオイルプレッシャー警告灯が点灯したときにそのまま消えない場合、またはエンジン作動中に点灯する場合は、系統内のオイルプレッシャーが不足していることを示します。

その場合、直ちにエンジンを停止し、aprilia正規代理店にご相談ください。

レッドゾーンの調整（エンジン停止状態でのみ）

設定された最高回転数を超えると、メーターパネルのレッドゾーン警告灯（ピンク）が点滅します。

重要

レッドゾーンは、エンジン停止状態でオドメーターが表示されている場合にのみ、2,000 rpmから11,000 rpmの間に設定できます。

工場出荷時の設定値は6,000 rpmです。

設定されたレッドゾーンの値を確認するには、“Trip/v”ボタンを3秒以上押してください。タコメーターの針が設定されたレッドゾーンの値を3秒間表示します。

調整するには：

イグニッションキーを‘KEY ON’にします。

メーターパネルの点検が終わるのを待ちます。

“Trip/V”ボタンを3秒以上押します。タコメーターの針が設定されたレッドゾーンの値を表示します。

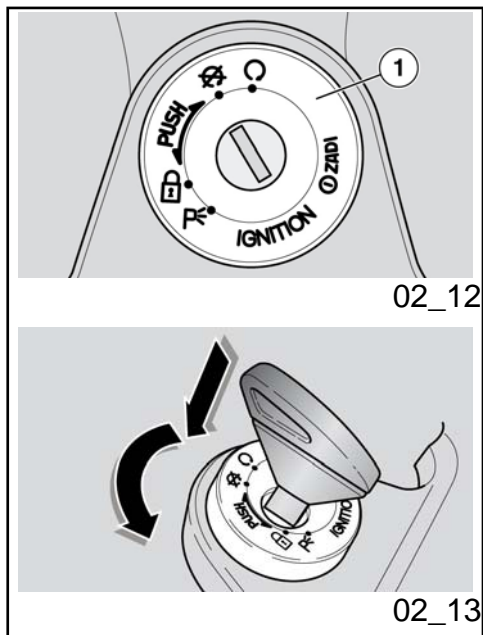
レッドゾーンの値は、タコメーターの針がレッドゾーンの値を指している3秒間の間に調整できます。

“+”ボタンでレッドゾーンの値を変更してください。100 rpm上げるにはボタンを短く押します。1,000 rpm上げるにはボタンを長く押します。

針が最大値（12,000 rpm）に達すると、自動的に0に戻ります。

“+”ボタンで調整してから3秒後、針が0に戻ってレッドゾーン警告灯が3秒間点灯するとき、新しい設定値の保存および確定が行われます。

調整中にエンジンを始動すると、最後に設定された値が保持されます。調整中にバッテリーを取り外すと、新しい設定値は消去されます。最後に設定された値は保持されます。



イグニッションスイッチ (02_12)

イグニッションスイッチ (1) はトップブリッジ上に位置しています。

納車時には計2本のキー (1本はスペアキー) がついています。

ライト類を消灯するには、イグニッションスイッチを《OFF》の位置に戻します。

重要

キーはイグニッションスイッチ／ステアリングロックの作動に必要です。

重要

エンジンが始動すると、ライト類が自動的に点灯します。

LOCK : ステアリングがロックされています。 エンジンを始動したり、ライト類を点灯することはできません。 キー抜き可能。

OFF : エンジンを始動したり、ライト類を点灯することはできません。 キー抜き可能。

ON : エンジンは作動します。 キー抜き不可能。

PARKING : ステアリングがロックされています。 エンジンを始動することはできません。 テールライトとフロント／リアライトは作動します。 キー抜き可能。 キーを抜き取ると、イモビライザーシステムが作動します (装備されている場合)。

ハンドルロック (02_13)

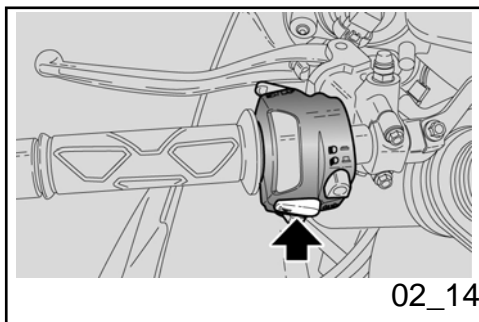
ステアリングをロックするには :

- ・ ハンドルを左いっぱいにつけてください。
- ・ キーを《OFF》の位置まで回します。
- ・ キーを押しながら反時計回り (左) に回し、キーが《LOCK》位置になるまでハンドルをゆっくりと切ります。

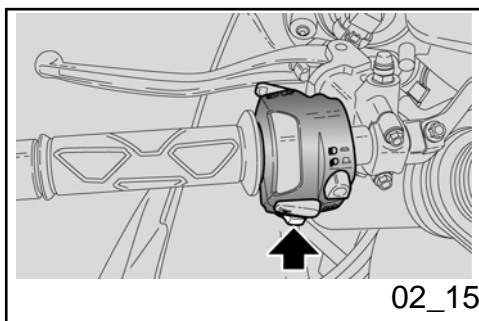
- ・ キーを抜き取ります。

注意

走行中に絶対にキーを“LOCK”の位置に回さないでください。車体のコントロールを失う恐れがあります。

**ホーン (02_14)**

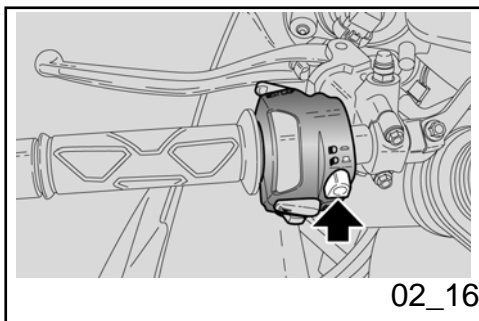
このボタンを押すとホーンが鳴ります。

**ターンシグナルランプスイッチ (02_15)**

左側にターンするときはスイッチを左側に動かします。 右側にターンするときはスイッチを右側に動かします。 ウィンカーを停止するにはこのスイッチを押します。

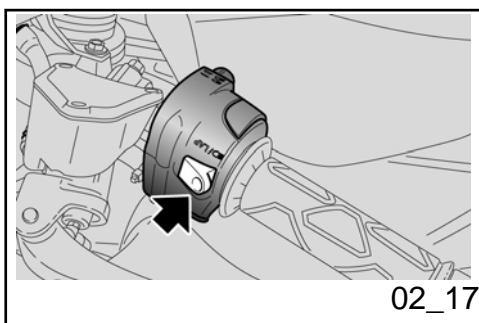
注意

矢印の付いた警告灯が速く点滅する場合は、片方または両方のウィンカーバルブが切れていることを示します。



ライト ON/OFF スイッチ (02_16)

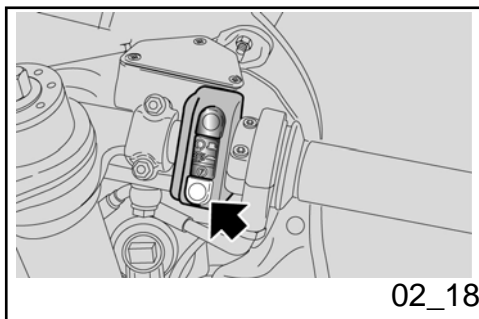
ディマースイッチを押すとハイビームが点灯します。ディマースイッチをもう一度押すとロービームが点灯します。



パッシングランプボタン (02_17)

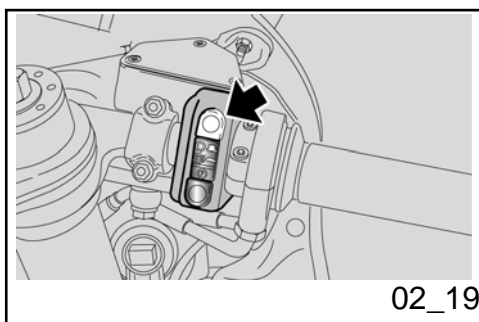
緊急時や合図が必要な時に、パッシングライトを使用してください。

スイッチから手を放すとパッシングライトは終了します。



スタータスイッチ (02_18)

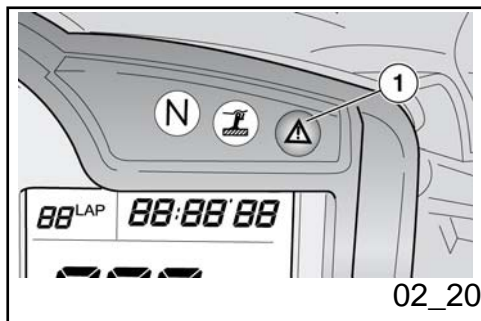
このボタンを押すと、スターターモーターがエンジンを始動させます。



キルスイッチ (02_19)

エンジンカットオフスイッチまたは緊急停止スイッチの機能を果たします。

このスイッチを押すとエンジンが停止します。



機能 (02_20)

盗難防止のため、このスクーターには電子式イモビライザーシステムが装着されています。このシステムはイグニッションキーを抜き取ると自動的に作動します。

キーを紛失してもコピーを作成することはできないため、セカンドキーは安全な場所に保管してください。

キーを換えるには、車両の（ロック周辺の）多数の部品を交換することになります。

すべてのキーのグリップ部分には電子装置（トランスポンダー）が入っています。トランスポンダーは、車両を始動するときにスイッチ内の専用アンテナから送られる高周波信号を変調します。

変調された信号は“パスワード”であり、これによって該当するセントラルユニットがキーを認識し、認識されて初めてエンジン始動が許可されます。

注意

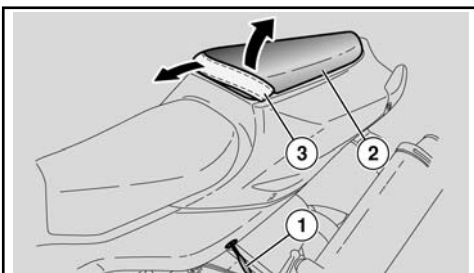
イモビライザーシステムには4本のキーを登録することができます。

データ登録は、マスターキーを使用して正規代理店でのみ行うことができます。

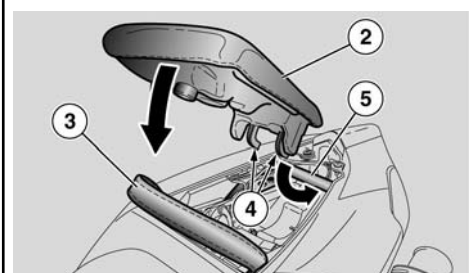
データ登録作業により、現在のコードが無効になります。そのため、新しいキーの登録を依頼されるお客様は、使用できるようにしたいすべてのキーを正規代理店へお持ちいただく必要があります。

イモビライザーの作動モードは、メーターパネルの警告灯（1）によって表示されます：

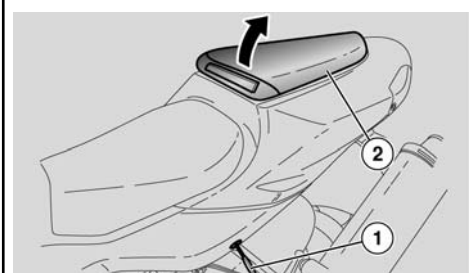
- イモビライザーが無効の場合、警告灯は消灯。
- イモビライザーが有効な場合、警告灯は点滅。
- キーが認識されない場合、速い点滅。



02_21



02_22



02_23

シートを開けます (02_21, 02_22)

- 車両をスタンドで立てます。
- ロックにキー (1) を差し込みます。
- キー (1) を反時計回りに回します。
- 前方からシート (2) を持ち上げて外します。

車両のテールセクションには便利なグローブボックス／ツールキットコンパートメントがあります。これを取り扱うには、シート (2) を取り外してください。

シート (2) をロックするには：

- シート後部のリアチューブホルダー用ボルトの下にフックを差し込みます。
- グローブボックス／ツールキットコンパートメント (2) のロックを正しい位置にします。
- ロックがはまるように、少し力を加えます。

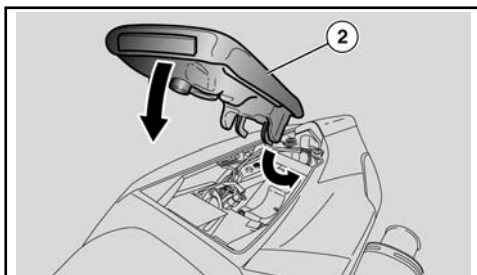
小物/ツールキットトランク (02_23, 02_24, 02_25)

- 車両をスタンドで立てます。
- ロックにキー (1) を差し込みます。
- キー (1) を反時計回りに回します。
- 前方からシート (2) を持ち上げて外します。

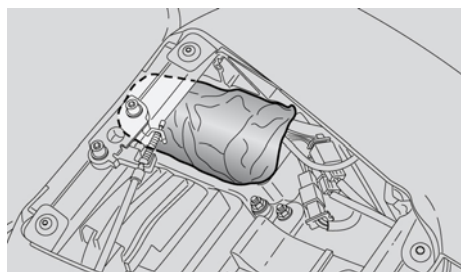
車両のテールセクションには便利なグローブボックス／ツールキットコンパートメントがあります。これを取り扱うには、シート (2) を取り外してください。

シート (2) をロックするには：

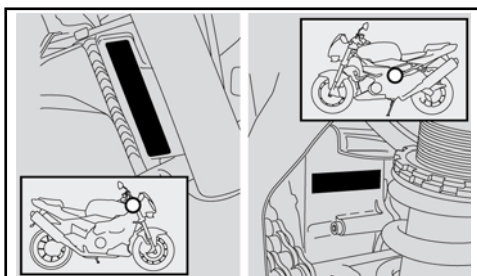
- シート後部のリアチューブホルダー用ボルトの下にフックを差し込みます。
- グローブボックス／ツールキットコンパートメント (2) のロックを正しい位置にします。
- ロックがはまるように、少し力を加えます。



02_24



02_25



02_26

識別 (02_26)

このマニュアルの指定の欄に、フレームナンバーとエンジンナンバーを書き留めてください。フレームナンバーはスペアパーツをオーダーする際に必要な場合があります。

注意



これらの認識番号を改ざんすることは重い刑事処罰および行政処罰の対象になります。特にフレームナンバーを改ざんした場合は正規保証外の扱いになります。

フレームナンバー

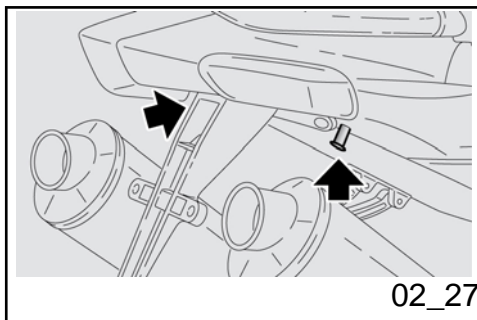
フレームナンバーはステアリングチューブ右側に刻印されています。

フレームナンバー

エンジンナンバー

エンジンナンバーはクランクケース左側に刻印されています。

エンジンナンバー



荷物固定具（02_27）

小さい荷物は、ゴムストラップを使用してシート後部に固定することができます。ストラップは4個の固定用フックに固定されています（片側に2個ずつ）。

最大積載重量： 9 kg

注意

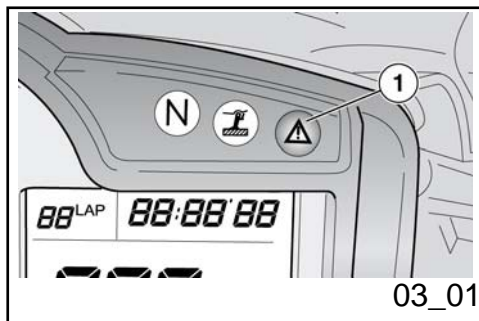
運ぶのは適切なサイズの荷物だけにし、荷物をしっかり固定してください。

RSV1000 R – RSV1000 FACTORY

aprilia



章 03
用途



チェック (03_01)

注意



正しく安全な運転のために、走行前に必ず車両の点検を行ってください。この点検をしないで走行した場合には、重大な人身傷害や車両の損傷を引き起こす危険があります。操作方法がわからない場合や、故障が検知された、または故障の疑いがある場合は、お気軽にaprilia正規代理店にご相談ください。点検にかかる時間は非常に短いですが、点検の結果大幅に安全性が向上します。

この車両は、コントロールユニットに保存されたいかなる故障もリアルタイムで知らせるようにプログラムされています。

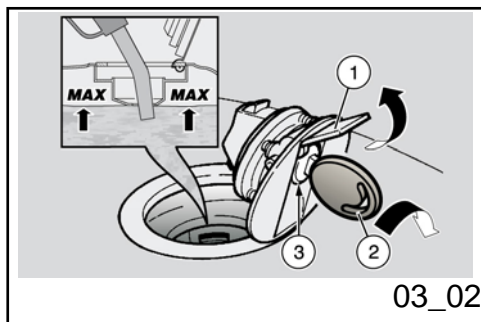
イグニッションスイッチを“KEY ON”にするたびに、メーターパネルのアラーム警告灯が約3秒間点灯します。

走行前の点検

特徴	概要/数値
フロントおよびリアディスクブレーキ	正常に機能することを確認。ブレーキレバーの遊び、ブレーキオイル量、液漏れの有無を点検。ブレーキパッドの摩耗を点検。必要に応じてブレーキオイルを補充。
スロットル	ハンドルの角度に関わらずスロットルグリップが全開から全閉までスムーズに回転することを確認。必要に応じて調整や潤滑。

エンジンオイル	エンジンオイル量を点検。必要に応じて補充。
ホイール／タイヤ	<p>タイヤが良好な状態であるかを点検。タイヤの空気圧、摩耗、損傷を点検。</p> <p>トレッドに付着した異物を除去。</p>
ブレーキレバー	<p>スムーズに作動することを確認。</p> <p>必要ならばジョイント部の潤滑や遊びの調整。</p>
クラッチ	<p>正常に機能することを確認。クラッチレバーの遊び、クラッチオイル量、液漏れの有無を点検。必要に応じてクラッチオイルを補充。スムーズかつ滑らずに動作すること。</p>
ステアリング	<p>回転が均一でスムーズであり、隙間や緩みがないことを点検。</p>
センター／サイドスタンド	<p>スムーズに動作し、サイドスタンドを上下させる際に引っかかりなどがなく、スプリングにより正しい格納ポジションに戻ることを確認。必要に応じてカップリングとジョイント部に潤滑。セーフティスイッチが正常に作動するかを点検。</p>
クランプ	<p>クランプ部品が緩んでいないかを点検。</p> <p>必要な場合は調整、締め直し。</p>

燃料タンク	<p>冷却液の量を点検し、必要に応じて補充。</p> <p>系統内に漏れや障害物がないかを点検。</p> <p>燃料タンクキャップがしっかり閉じていることを確認。</p>
エンジンキルスイッチ（ON - OFF）	正常に機能することを確認。
ライト類、インジケータ、ホーン、リアブレーキランプスイッチ、その他の電装パーツ	警告ホーンやライトが正常に作動することを確認。 必要な場合はバルブの交換や故障部分の修理。



給油（03_02）

燃料補給するには：

- カバー（1）を持ち上げます。
- キー（2）を燃料タンクキャップのロック（3）に差し込みます。
- キーを時計回りに回して引き、燃料タンクキャップリッドを開きます。

燃料タンク（リザーブ含む）： 18リットル

燃料タンクのリザーブ： 4リットル

- 燃料を補給します。

注意



燃料には添加物やその他の物質を混ぜないでください。

じょうご等を使用する場合は、清潔であることを確かめてから使用してください。



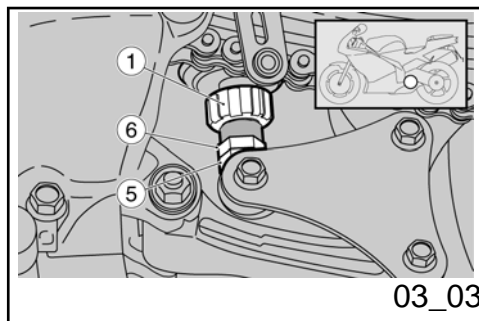
タンクの縁までいっぱいに補充しないでください。燃料の最高レベルは必ずフィラーネックの下端を下回るようにしてください（図を参照）。

燃料補給の後：

- キー（2）が差し込まれていないとキャップを閉じることはできません。
- キー（2）を差し込んだ状態で、キーを押してキャップを閉じます。
- キー（2）を抜き取ります。
- カバー（1）を閉じます。



キャップが確実に閉じていることを確認してください。



03_03

リアショックアブソーバーの調整（03_03, 03_04, 03_05）

リアサスペンションは、スプリングショックアブソーバーユニットから成り、フレームにはユニボールジョイントを介して、スイングアームにはリンケージシステムを介して接続されています。

設定を調整するために、ショックアブソーバーには油圧式リバウンドダンピング調整リングナット（1）、スプリングプリロード調整ノブ（2）、ロックリングナット（3）が取り付けられています。

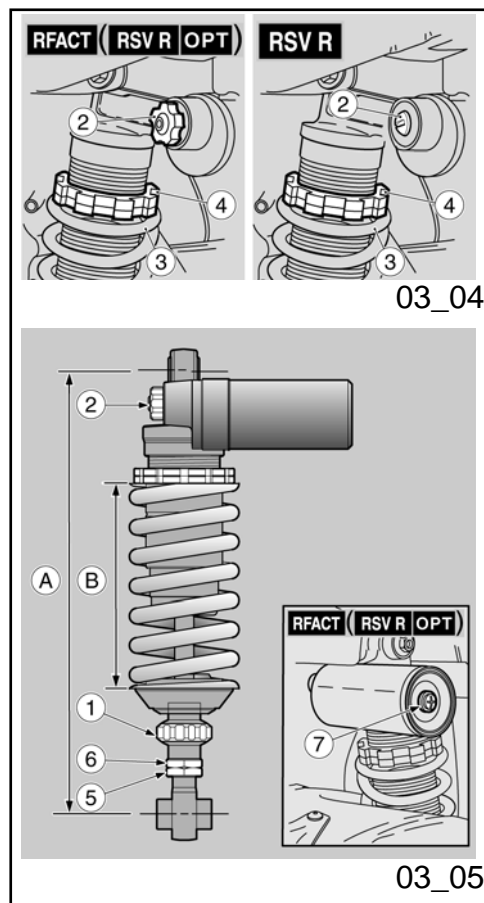
重要

サスペンションの設定をカスタマイズするために、スクーター後部の高さを調整することができます。

注意

車両を以下のような状況下で使用される場合、メンテナンス作業を行う頻度を2倍にしてください。雨の多い地域、埃っぽい場所、オフロード、またはスポーツ走行。

リアショックアブソーバーを点検し、必要に応じて調整してください。



ショックアブソーバーの標準設定は、競技用走行に合わせて調整されています。

しかし、この設定は車両の使用状況に応じて調整することができます。

注意

調整ネジ（1-2）の目盛り（カチッという音）を数える際は、必ず最もきつい設定（時計回りに調整ネジを完全に回した状態）から始めてください。最大15目盛り数えられます。調整ネジ（1-2）はゆっくりと、ノッチを1つずつ回してください。

- 専用スパナを使用して、ロックリングナット（4）を緩めます。
- スプリング（B）のプリロードを調整するため、調整リングナット（3）を調節します。
- 調整後、リングナット（4）を締め付けます。
- ショックアブソーバーの油圧式リバウンドダンピングを調整するため、ネジ（1）を回します。

リバウンドダンピング調整時は、R Factoryモデルの場合はノブ（2）を調節し、Rモデルの場合はネジ（2）を調節してください。

車両の設定を変更するには：

- ロックナット（5）を徐々に緩めます。
- ショックアブソーバー軸間（A）を調整するため、調整ネジ（6）を調節します。
- 調整後、ロックナットを締め付けます。

注意

ロックナット（5）を40 Nm（4 kgm）の規定トルクで締め付けてください。



ショックアブソーバーの正しい機能を保持するために、決してネジ（7）を緩めたり、その下のシールに手を加えたりしないでください。窒素が漏れて、事故の原因となり危険です。



車両の使用状況に応じて、スプリングプリロードとショックアブソーバーのリバウンドダンピングを調整してください。

スプリングプリロードを大きくした場合はリバウンドダンピングも大きくする必要があります。そうしないと、走行中に車体が急にはね上がることがあります。



競技用走行のための調整は組織された競技会やスポーツ大会においてのみ可能であり、道路交通から隔離された場所で、管轄当局の許可のもとでのみ実施できます。

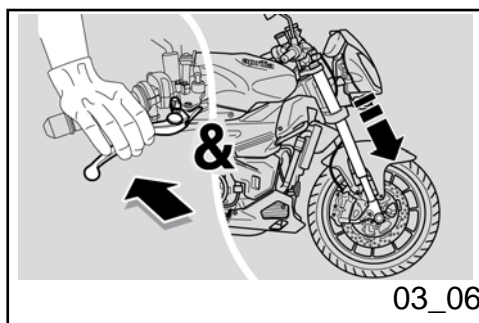
レース用に設定したスクーターを路上や高速道路で運転することは固く禁じられています。

リアサスペンション： レース用の調整

特徴	概要/数値
ショックアブソーバー軸間 (A)	310 mmと316 mmの間
スプリング (B) の長さ (プリロード後)	R - 148 mm FACTORY - 147 mm
リングナット (1) リバウンド調整	完全に閉じた (時計回り) 状態から開く (反時計回り) : R - 12-16目盛り FACTORY - 13-16目盛り
コンプレッション調整ネジ (2) (R) またはノブ (2) (FACTORY)	完全に閉じた (時計回り) 状態から開く (反時計回り) : R - 1-2回転 FACTORY - 8-14目盛り

リアサスペンション：標準調整

特徴	概要/数値
ショックアブソーバー軸間 (A)	313.0 +/- 1.5 mm
スプリング (B) の長さ (プリロード後)	R - 146 mm FACTORY - 145 mm
リングナット (1) リバウンド調整	完全に閉じた (時計回り) 状態から開く (反時計回り) : 20目盛り
コンプレッション調整ネジ (2) (R) またはノブ (2) (FACTORY)	完全に閉じた (時計回り) 状態から開く (反時計回り) : R - 1回転半 FACTORY - 12目盛り



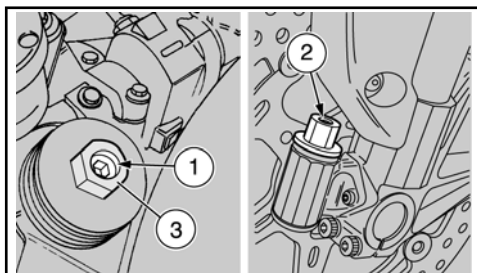
フロントフォークの調整 (03_06, 03_07, 03_08, 03_09)

- フロントブレーキレバーを操作しながら、ハンドルを繰り返し押し、フォークを完全に下げます。ストロークがスムーズで、フロントフォークにオイルの跡がないようにします。
- すべてのコンポーネントがしっかり固定されているか、フロントおよびリアサスペンションのジョイント部が正常であるか点検します。

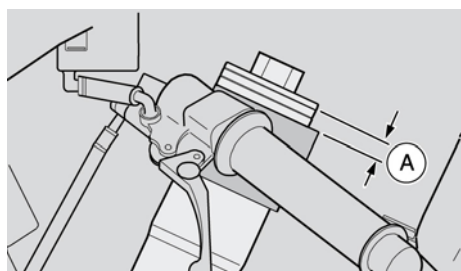
注意

aprilia正規代理店に連絡して、フロントフォークオイルとオイルシールの交換を依頼してください。

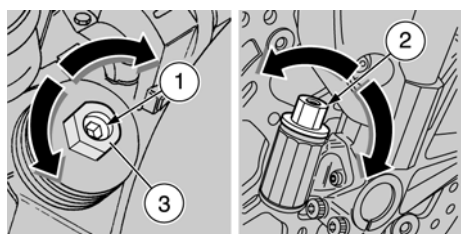
フロントサスペンションは、2つのブリッジでステアリングチューブに接続された油圧式フォークで構成されています。



03_07



03_08



03_09

車両を調整するために、各フロントフォークはリバウンドダンピング調整用の上部ネジ（1）、コンプレッションダンピング調整用の下部ネジ（2）、スプリングプリロード調整用の上部ナット（3）で固定されています。



調整ネジ（1-2）は、損傷を避けるため、両方向とも締め付け過ぎないように注意してください。左右の各フロントフォークは、スプリングプリロード、ダンピングとも、同じ条件に調整してください。左右で異なる調整をすると走行時の安定性が悪くなります。スプリングプリロードを大きくした場合はリバウンドダンピングも大きくする必要があります。そうしないと走行中に車体が急にはね上がることがあります。

FACTORYフォーク

フロントフォークの標準設定は、殆どの運転条件を満たすように調整されています。

しかし、この設定は車両の使用状況に応じて調整することができます。



競技用走行のための調整は組織された競技会やスポーツ大会においてのみ可能であり、道路交通から隔離された場所で、管轄当局の許可のもとでのみ実施できます。

レース用に設定したスクーターを路上や高速道路で運転することは固く禁じられています。

重要

調整ネジ（1-2）の目盛り（カチッという音）や回転数を数える際は、必ず最もきつい設定（時計回りに調整ネジを完全に回した状態）から始めてください。

油圧式コンプレッションダンピングやエクステンション調整に関して調整ネジ（1-2）を使用してください。

調整ネジ（1-2）はゆっくりと、ノッチを1つずつ回してください。

フロントサスペンション - 標準調整

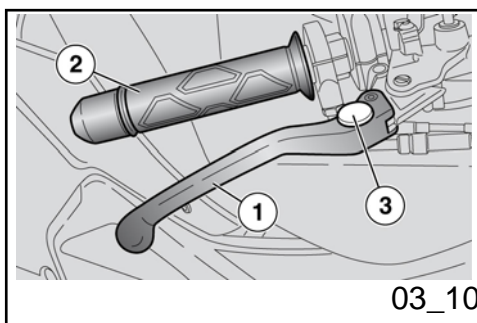
特徴	概要/数値
リバウンドダンピング調整、ネジ (1)	完全に閉じた（時計回り）状態から12目盛り分緩める（反時計回り）
コンプレッションダンピング調整、ネジ (2)	完全に閉じた（時計回り）状態から12目盛り分緩める（反時計回り）
スプリングプリロード、ナット (3)	完全に開いた（反時計回り）状態から8回転分締める（時計回り）
トップブリッジからのフロントフォーク (A) の突き出し（カバーを除く）	突起3個分 (この調整を行う場合はaprilia正規代理店にご依頼ください)

フロントサスペンション - レース用の調整

特徴	概要/数値
リバウンドダンピング調整、ネジ (1)	完全に閉じた（時計回り）状態から8-10目盛り分緩める（反時計回り）
コンプレッションダンピング調整、ネジ (2)	完全に閉じた（時計回り）状態から8-10目盛り分緩める（反時計回り）
スプリングプリロード、ナット (3)	完全に開いた（反時計回り）状態から6-9回転分締める（時計回り）

)

トップブリッジからのフロントフ
オーク (A) の突き出し (カバー
を除く) 突起4個分
(この調整を行う場合はaprilia
正規代理店にご依頼ください)

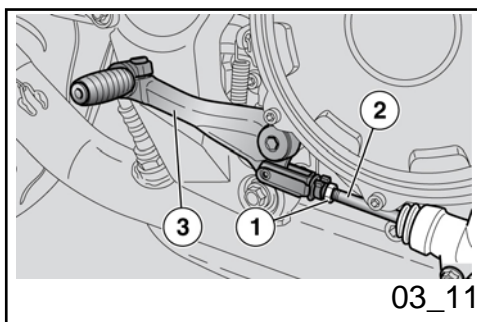


フロントブレーキレバーの調整 (03_10)

レバー (1) の先端とハンドグリップ (2) 間の間隔は、調整ネジ (3) を回して調整できま
す。

最大調整と最小調整では、レバーの先端とハンドグリップ間の間隔が、それぞれ約126 mmと
83 mmになります。

- レバー (1) を前方へ押して、レバー (1) が最適な間隔になるまで調整ネジ (3) を
回します。



リアブレーキレバーの調整 (03_11, 03_12, 03_13)

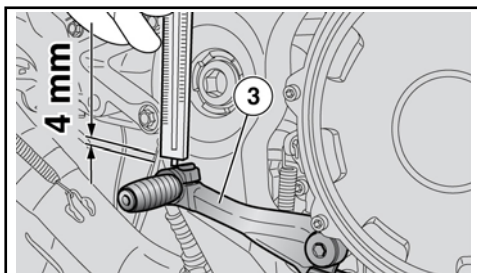
ブレーキペダルは人間工学に配慮して車両に取り付けられています。

必要な場合は、ブレーキペダルの遊びを調整することができます。

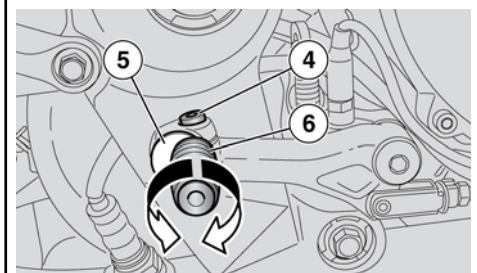
- ロックナット (1) を緩めます。
- ポンプコントロールロッド (2) を緩めて、ロッドとポンプピストンの間隔を最低
0.5 - 1 mmにします。
- ポンプコントロールロッド (2) をロックナット (1) で固定します。



ブレーキが操作されたままになり、ブレーキ部品の摩耗が早まることのないように、ペダル
(3) に遊びがあるか確認してください。



03_12



03_13

ペダル (3) の遊び : 4 mm (ペダルの端で測定)

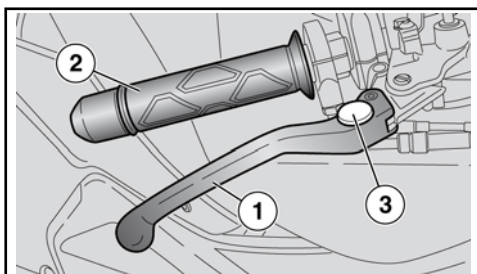
調整後、ブレーキを放したときにホイールがスムーズに回転するか確認してください。

ブレーキの効き具合を点検してください。

ブレーキレバーとペダルは人間工学に配慮して車両に取り付けられています。

必要な場合は、レバーやペダルの位置を調整することができます。

- 車両をスタンドで立てます。
- ネジ (4) を少し緩めます。
- ペダル (6) が最適な位置になるまでカム (5) を回します。
- ネジ (4) を締めて、カムの安定性を点検します。



03_14

クラッチレバーの調整 (03_14)

レバー (1) の先端とハンドグリップ (2) 間の間隔は、調整ネジ (3) を回して調整できます。

最大調整と最小調整では、レバーの先端とハンドグリップ間の間隔が、それぞれ約126 mmと83 mmになります。

- レバー (1) を前方へ押して、レバー (1) が最適な間隔になるまで調整ネジ (3) を回します。

慣らし運転

エンジンの慣らし運転は、エンジンの寿命を延ばし、正常な作動を約束するために必要不可欠です。できればカーブや起伏の多い道を選んで走行するとエンジン、サスペンション、ブレーキなどがより効果的に慣らし運転されます。慣らし運転中はさまざまな速度で走行するようにしてください。このことにより、エンジンの各パーツへ“負荷”を与えたり、逆に“無負荷”にして冷ましたりします。

注意

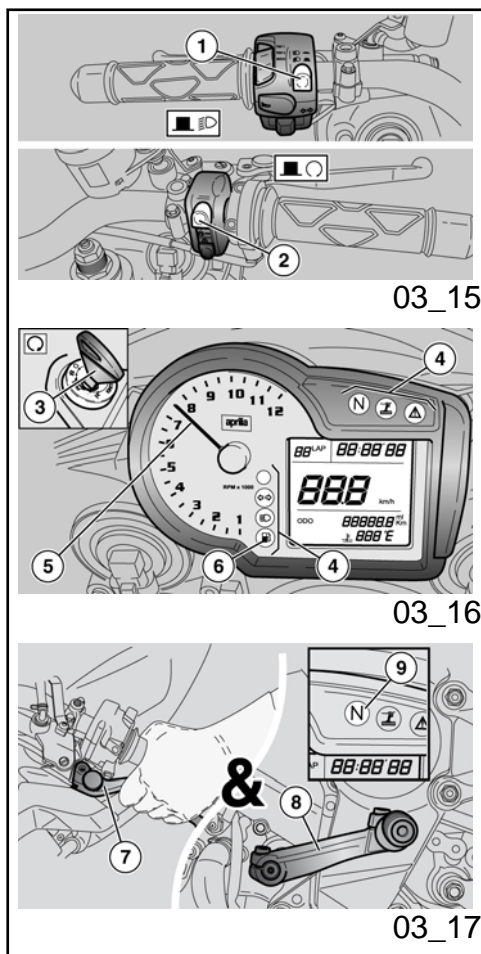
慣らし運転期間が終了して、メンテナンスを実施した後にのみ、車両の最高のパフォーマンスが実現できます。

以下の注意事項を守ってください：

- 慣らし運転中、またはその後でも、エンジンが低回転で作動しているときは、スロットルを急激に全開にしないでください。
- 最初の100 kmを走行する間は、ブレーキを慎重に踏み込み、急激な長いブレーキングは避けてください。これは、パッド摩擦材をブレーキディスクに対して適切に調整するために必要です。



指定の距離を走行した後は、点検のために車両をaprilia正規代理店へお持ちください。この点検は、ライダーと周囲の人の怪我や車両の損傷を防ぐために、メンテナンススケジュールの章の“アフターラン（走行後）”の表に記載されています。



エンジン始動 (03_15, 03_16, 03_17, 03_18)

この車両は非常にパワーがありますので、細心の注意を払って徐々に使用するようにしてください。

トップフェアリングの内側（ハンドルとメーターパネルの間）には何も置かないでください。ハンドルの回転やメーターパネルの視界を妨げないためです。



この注意を怠ると、窒息して意識を失ったり、最悪の場合は死に至る危険があります。



排気ガスには一酸化炭素や、吸い込むと非常に有害な物質が含まれています。

密室や十分に換気されていない部屋では絶対にエンジンを始動しないでください。

注意

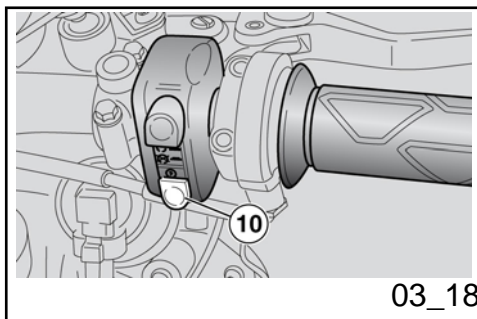
サイドスタンドを下ろした状態では、トランスミッションがニュートラルになっていないとエンジンを始動することができません。この場合にギアを入れようとすると、エンジンは停止します。

サイドスタンドを上げた状態では、トランスミッションがニュートラルの状態、またはギアが入った状態で クラッチレバーを握って、エンジンを始動できます。

- ライダーシートにまたがります。
- スタンドが完全に格納されているか確認します。
- ディマースイッチ（1）がロービームの位置になっていることを確認します。
- エンジンキルスイッチ（2）を“RUN”にセットします。
- キー（3）を回して、イグニッションスイッチを“KEY ON”にします。

この時点で：

- マルチ機能ディスプレイに初期画面が2秒間表示されます。
- メーターパネルのすべての警告灯（4）とバックライトが2秒間点灯します。
- タコメーター（5）は最後にプログラミングされたレッドゾーンの値を示し、3秒後に最小値に戻ります。
- 走行中に、現在の値がすぐにメーターパネルに表示されます。



メーターパネルの燃料警告灯（6）が点灯した場合、直ちに燃料を補給してください。



新車のレッドゾーンは6,000 rpmに設定されています。車両に慣れてきたら、この設定値を上げてください。

- 一方のブレーキを操作して、少なくとも片方のホイールを固定します。
- クラッチレバー（7）を完全に引いて、ギアシフトレバー（8）をニュートラルポジションにします（緑のインジケーター“N”（9）が点灯）。
- 車両にはコントロールユニットによって制御されるスターターがあります。必要な場合には自動的に作動し始めます（コールドスタート）。



過度のバッテリー消費を防ぐため、15秒以上スターターボタン（10）を押したままにしないでください。

15秒経過した後にエンジンを始動できない場合は、10秒間待ってからスターターボタン（10）を再度押してください。

- スロットルを開かない状態でスターターボタン（10）を押します。エンジンが始動したらすぐに放してください。



エンジンが始動した後は、スターターボタン（10）を押さないでください。スターターモーターが損傷する場合があります。

エンジンオイルプレッシャーのマークが表示された場合は、系統内のオイルプレッシャーが低すぎることを意味します。

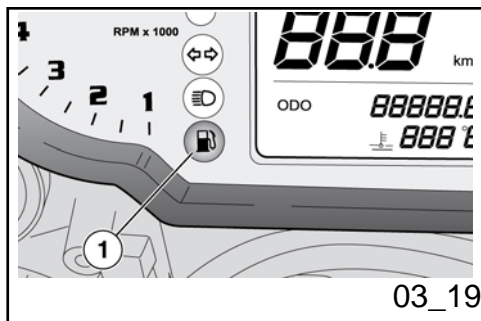
- 少なくとも片方のブレーキを操作した状態にし、発進するときのみスロットルを開いてください。



エンジン冷間時は急発進しないでください。 汚染物質の排出と燃料消費を抑えるため、最初の数キロは低速で走行しエンジンを温めるようにしてください。



エンジン作動中、（マルチ機能）ディスプレイに“SERVICE”の文字が現れた場合、コントロールユニットが故障を検知したことを意味します。



始動/走行 (03_19, 03_20, 03_21, 03_22, 03_23)

注意

走行中にメーターパネルの燃料警告灯が点灯した場合、燃料残量が4リットルであることを意味します。 できる限り早く燃料を補給してください。

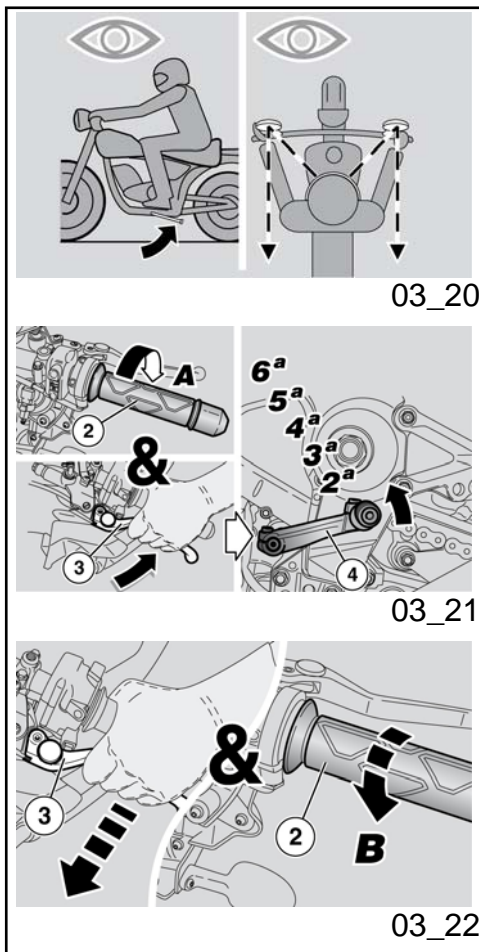
発進するには：

- エンジンを始動します。
- バックミラーを正しい角度に調整します。

注意



車両を停止した状態で、バックミラーを見てみてください。 ミラーの反射面は凸状になっているため、実際よりも物が遠くに見える場合があります。 広角視界のこのミラーに慣れていないと、後方の車両との車間距離を測るのが難しくなります。



推奨最大回転数を超えないようにしてください。

- スロットル (2) (ポジションA) を放してエンジンをアイドリング状態にし、クラッチレバー (3) を完全に引きます。
- シフトレバー (4) を押し下げて1速に入れます。
- ブレーキレバーを放します (始動時は押した状態)。

- クラッチレバー (3) をゆっくりと放すと同時に、スロットル (2) (ポジションB) を少し開いて加速してください。

スクーターが前進し始めます。

- 最初の数キロは、エンジンを暖めるために速度を抑えてください。

注意

発進時にクラッチレバーを放すのが速すぎる、または急激に放すと、エンジンが停止して車両がはね上がる場合があります。

クラッチは、エンジンの回転を上げた状態でつながないでください。そうしないと、クラッチが滑ったり (ゆっくりつないだ場合)、フロントホイールが持ち上がる (急につないだ場合) ことがあります。

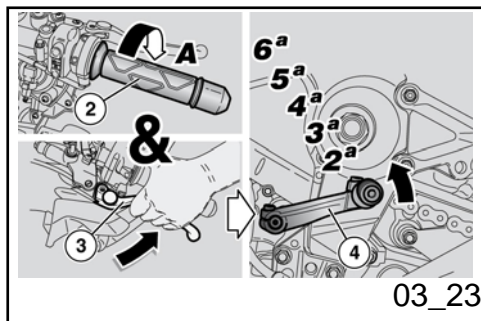
- 推奨回転数を超えないようにして、スロットル (2) (ポジションB) を徐々に開いてエンジンの回転を上げてください。

2速に入れるには :



すばやく操作してください。

極端な低回転で走行しないでください。



03_23

- スロットル (2) (ポジションA) を放してクラッチレバー (3) を引き、ギアシフトレバー (4) を上げて、クラッチレバー (3) を放して加速してください。
- 最後の2つの操作を繰り返して、徐々に高速ギアにシフトアップしてください。



エンジン作動中にエンジンオイルプレッシャーのマークが表示された場合は、系統内のエンジンオイルプレッシャーが低すぎることを意味します。

この場合はエンジンを停止し、aprilia正規代理店にご相談ください。

高速ギアから低速ギアに切り替える操作 (シフトダウンと呼ぶ) は、以下の場合に行います :

- 下り坂を走行中にブレーキをかけるとき、エンジンコンプレッションを利用してブレーキパワーを増加させる場合。
- 上り坂を走行中に、現在のギアが速度にふさわしくなく (高速ギア、中速度域)、エンジン回転数が低下する場合。

注意

一度に1段階シフトダウン : 一度に複数段階のシフトダウンを行うと、回転数が“過回転”の制限値を超える場合があります。

“シフトダウン”の前または最中に、“過回転”を避けるためにスロットルを放して速度を落としてください。

- スロットル (2) (ポジションA) を放します。
- 必要に応じて、少しブレーキをかけて、速度を落とします。
- 低速ギアに入れる前にクラッチレバー (3) を引き、ギアシフトレバー (4) を下げ

ます。

- この操作をするときにブレーキを放します。
- クラッチレバー（3）を放して、適度に加速します。



マルチ機能デジタルディスプレイに表示される冷却液温度が115° Cと135° Cの間にある場合、車両を停止してエンジンを3,000 rpmで約2分間作動してください。それにより、冷却液が適正にシステム内に流れます。それからエンジンキルスイッチを“OFF”にセットし、冷却液の量を点検します。

冷却液の量の点検後に温度インジケーターが点滅し続ける場合は、aprilia正規代理店にご連絡ください。

イグニッションキーを“KEY OFF”に回さないでください。回すと冷却液温度に関係なく冷却ファンが停止し、さらに温度が上昇してしまう可能性があります。

エンジン作動中にメーターパネルの“EFI”診断警告灯が点滅した場合は、コントロールユニットが故障を検知したことを意味します。

多くの場合、エンジンは性能が制限された状態で作動し続けます。直ちにaprilia正規代理店にご連絡ください。

クラッチの過熱を防ぐため、スクーターを停止したらずぐに、ギアが入っている状態でクラッチを切り、エンジンを切ってください。



前後の片方のブレーキのみを操作すると、ブレーキパワーが大幅に減少します。片方のホイールがロックしてグリップを失う場合があります。

上り坂で停止する場合は、完全に減速し、ブレーキのみを使用してスクーターを停止状態にしてください。

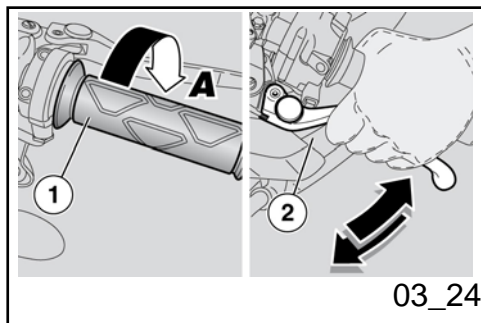
エンジン作動状態でスクーターを停車させると、クラッチの過熱の原因になることがあります。

下り坂を走行中に連続してブレーキをかけると、摩擦ガスケットが過熱してブレーキの効きが悪くなる場合があります。

エンジンコンプレッションをうまく利用し、ブレーキを使ってシフトアップしてください。

下り坂を走行する際、決してエンジンをオフにして走行しないでください。

濡れた路面やグリップの悪い路面（雪上、氷上、泥など）を走行する際は、速度を控えめにして、急ブレーキや急激な操作を避けてください。さもないと、グリップが失われて転倒する原因になります。



エンジン停止 (03_24)

- スロットル (1) (ポジションA) を放して、徐々にブレーキをかけ、同時に“シフトダウン”して減速してください。

車両を停止する前にスピードが落ちた場合：

- エンジンが停止しないように、クラッチレバー (2) を引きます。

スクーターが停止している場合：

- ギアシフトレバーをニュートラルポジションにします（緑のインジケーター“N”が点灯）。
- クラッチレバーを放します。
- 一時的な停車の際は、少なくとも片方のブレーキを作動させておきます。



乱暴なブレーキング、急激な減速、過度のブレーキングはできるだけ避けてください。

駐車

駐車場所の選択は大変重要です。交通標識を遵守し下記の注意事項をお守りください。

注意

転倒を防ぐため、安全で水平な場所に駐車してください。

車体を壁に立てかけたり、地面に寝かせて置いたりしないでください。

車体の特に熱くなっている部分が周囲の人々や子供にとって危険にならないよう注意してください。 エンジンがかかった状態や、イグニッションスイッチにキーを差し込んだ状態で放置しないでください。

注意

車両が転倒したり過度に傾いた場合、燃料が流出する恐れがあります。

内燃機関に利用される燃料は非常に引火しやすく、特定の条件下では爆発する恐れがあります。



サイドスタンドにライダーまたはパッセンジャーの体重をかけないようにしてください。

キャタライザー付きサイレンサー



乾燥した草の近くや子供の手の届きやすいところには駐車しないでください。 走行中に触媒コンバーターは高温になります。 そのため、十分に注意し、触媒コンバーターが完全に冷めるまで触れないでください。

有鉛ガソリンは使用しないでください。 使用すると、触媒コンバーターに致命的な損傷を与える原因になります。

車両のオーナーは、以下のことが法律で禁止されていることに注意してください。

- メンテナンスや修理、交換の目的以外で、販売前、お客様への納車前、または販売後に騒音を調整するために新しい車両の装置や部品を取り外したり、車両を正常に作動しない状態にするすべての処置。
- 装置や部品を取り外した後、または正常に作動しない状態にした後で車両を使用すること。

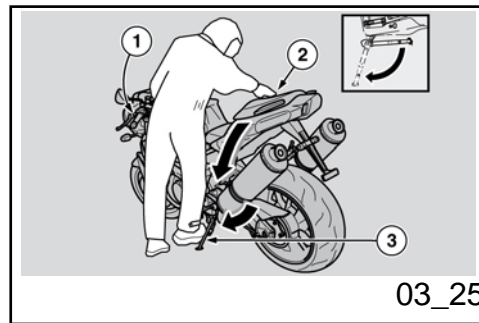
マフラーとマフラーパイプを点検し、錆や穴がなく、エグゾーストシステムが正常に機能す

るか確認してください。

排気騒音がひどくなった場合は、速やかに車両をaprilia正規代理店へお持ちください。

重要

エグゾーストシステムに手を加えないでください。



スタンド (03_25)

何らかの操作のためにスタンドが格納されていた場合（運転時など）、次のように車両をスタンドで立ててください：

- 駐車場所を決めます。
- 左ハンドル（1）を握り、右手を車両のリア上部（2）に置きます。
- 右足でサイドスタンドを押して、完全に下ろします（3）。
- スタンドが接地するまで車体を傾けます。
- ハンドルを左いっぱいに切ります。



障害物のない堅く水平な場所に駐車してください。

注意



車体が安定しているか確認してください。

盗難防止のためのアドバイス

注意

ディスクロックを使用する場合、走行前に取り外すことを忘れないでください。これを忘れてしまうと、ブレーキ系統に深刻なダメージを与える原因となります。その結果、事故で怪我をしたり、場合によっては死亡する危険があります。

イグニッションキーは必ずロックから抜き取り、ステアリングロックをかけてください。車庫や監視のある場所などの安全な場所に駐車してください。可能であれば、盗難防止装置も別途使用してください。すべての車両書類が整っていて、税金が納入済みかを確認してください。個人情報と電話番号をこのページに記入してください。盗難時に車両を引き取る際に、オーナーであることを確認しやすくなります。

姓：

名：

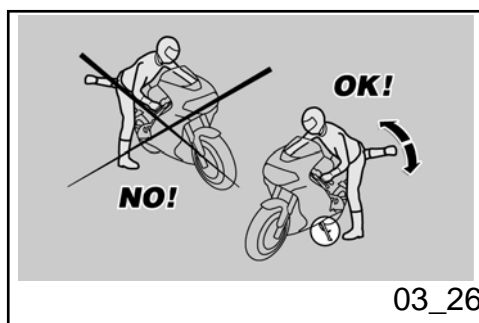
住所：

.....

電話番号：

警告

大抵の場合、盗難にあった車両は、使用／メンテナンスマニュアルに記載されているデータで識別することができます。



03_26

基本安全事項 (03_26, 03_27, 03_28, 03_29, 03_30)

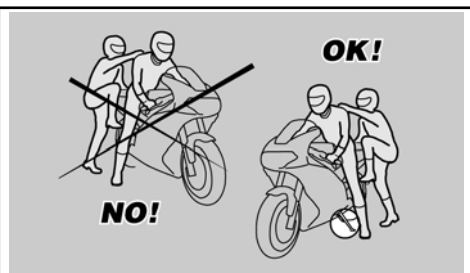
ライダーやパッセンジャーが車体から落ちたり、車両が転倒または横転した場合に、人に怪我をさせたり所有物や車両を傷つけないようにするため、以下の指示をきちんとお守りください。

乗降時には、動作を妨げるものがないことを確認してください。手には何も持たないでください（ヘルメット、グローブ、ゴーグルなど）。

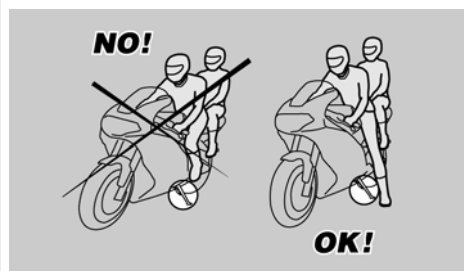
必ず左側から、サイドスタンドを下ろした状態で乗降してください。

スタンドは車両重量と最低の負荷を支えられるように設計されています。ライダーやパッセンジャーの体重を支えるようにはできていません。

サイドスタンドの役割は、ライダーとパッセンジャーが乗るときに車両の転倒や横転を防ぐことです。ライダーとパッセンジャーの体重を支えるためにスタンドを使用しないように



03_27



03_28



03_29

してください。

乗降中に、その重量のため車両が不安定になり、転倒または横転することがあります。

注意

ライダーは必ず先に乗り、最後に降りなければなりません。パッセンジャーが乗降する間、ライダーが車両をコントロールし、バランスをとる必要があるからです。

乗降時に、パッセンジャーは車体とライダーの安定性を損なわないように慎重に行動してください。

注意

ライダーはパッセンジャーに安全な車両の乗降方法を説明してください。

乗り降りを楽しむため、車両にはパッセンジャーフットレストが装着されています。パッセンジャーは必ず左側フットレストを使用して乗降してください。

決してジャンプしたり地面に足を伸ばして車両から降りようとししないでください。これは誤った動作で、車両の安定性とバランスを失う危険があります。

注意

車体の後部に固定したバッグや荷物は、乗降時に邪魔になる場合があります。

車体の後部（テールセクションまたは荷物）に足をぶつけて安定性を失わないように、落ち着いて右足をシートの上に回してください。

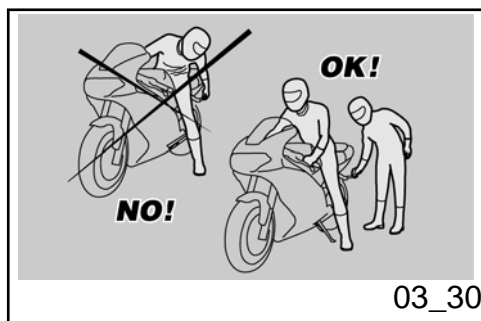
乗車

- ハンドルを正しく握り、サイドスタンドに体重をかけないように乗車します。

注意

着座したときに両足が地面に届かない状態では、右足を地面に着いて（バランスを失った場合は、サイドスタンドが左側への転倒を防ぎます）、左足を地面に着ける用意をします。

- 両足を地面に着けて、車体をまっすぐにし、バランスをとって垂直に保ちます。



注意

ライダーは、着座しているときにパッセンジャーフットレストを引き出す、または引き出そうとしてはなりません。引き出そうとすると、車両の安定性とバランスが失われる場合があります。

- パッセンジャーに両側のパッセンジャーフットレストを出してもらいます。
- パッセンジャーに安全な乗り方を説明します。
- サイドスタンドを左足で押して、完全に格納します。

降車

- 駐車場所を決めます。
- 車両を停止します。



障害物のない堅く水平な場所に駐車してください。

- 左足のかかとでサイドスタンドを下ろして、完全に出します。

注意

着座したときに両足が地面に届かない状態では、右足を地面に着いて（バランスを失った場合は、サイドスタンドが左側への転倒を防ぎます）、左足を地面に着ける用意をします。

- 両足を地面に着けて、バランスをとって車体を垂直に保ちます。
- パッセンジャーに安全な降り方を説明します。



転倒または横転の危険

パッセンジャーが車両から降りたことを確認します。

サイドスタンドに体重をかけないでください。

- スタンドが接地するまで車体を傾けます。
- ハンドルをしっかりと握り、車両から降ります。
- ハンドルを左いっぱいに切ります。
- パッセンジャーフットレストを格納します。

注意



車体が安定しているか確認してください。

RSV1000 R – RSV1000 FACTORY

aprilia

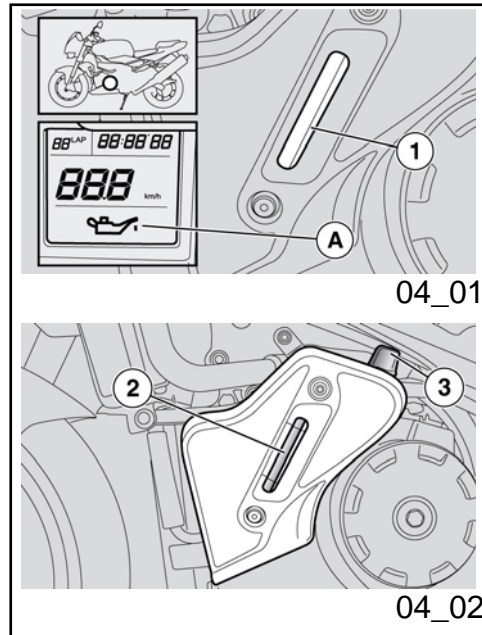


章 04
メンテナンス

はじめに

警告

この車両は、コントロールユニットに保存されたいかなる故障もリアルタイムで知らせるようにプログラムされています。



レベル・チェック (04_01, 04_02)

エンジンオイル量を頻繁に点検してください。

重要

メンテナンス作業を行う頻度は、車両を以下のような場所で使用される場合、2 倍に増やしてください：雨の多い地域、埃っぽい場所、舗装されていない路上、またはスポーツ運転の実行時。



エンジンオイル量の点検は、エンジンが温まった状態で行ってください。

エンジンが冷えている状態でエンジンオイル量を点検すると、一時的にオイルの液面が“MIN”マークよりも下がる場合があります。

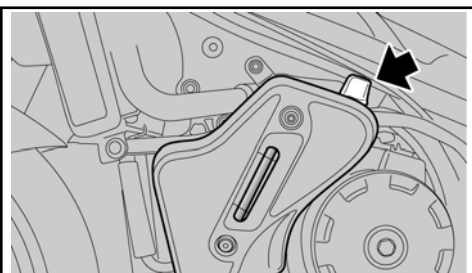
アラーム警告灯とエンジンオイルプレッシャーのマークが同時に点灯しなければ、これは不具合ではありません。

注意

エンジンを暖機してエンジンオイルを作動温度にするために、停止した状態でスクーターをアイドリングしないでください。

郊外を約15 km走行した後にオイル点検を行うのが最適です（これはエンジンオイルを作動温度にするのに十分な距離です）。

- エンジンを停止します。
- 両輪を地面に着けたまま車体を垂直に保持します。
- 透明パイプ (2) のオイル量を左フェアリングの点検窓 (1) から点検します。



04_03

MAX = 最高レベル

MIN = 最低レベル

"MAX"と"MIN"の差は約500 cm³です。

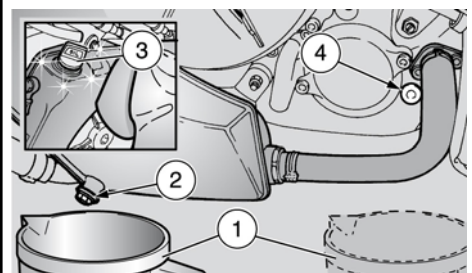
- "MAX"マークの近くまで充填されているのが正しいオイル量です。

オイルの注入 (04_03)

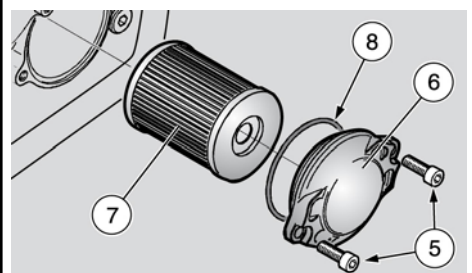
注意



液面が"MAX"マークを上回ったり、"MIN"マークを下回ることのないようにしてください。エンジンに重大な損傷を与える恐れがあります。



04_04



04_05

必要に応じてエンジンオイルを補充します：

- 左サイドフェアリングを取り外します。
- キャップを回して外します。

じょうご等を使用する場合は、清潔であることを確かめてから使用してください。



オイルには、添加物やその他の物質を混ぜないでください。

推奨商品

AGIP TEC 4T、SAE 15W-50

エンジンオイル

CCMC G-4 API SG規格、SAE 15W-50の要件を満たしたトップブランドオイルを使用してください。

- 正しい量になるまでタンクにオイルを補充します。

オイル交換 (04_04, 04_05)



エンジンオイルとオイルフィルターの交換は、経験がないと難しい場合があります。

必要な場合は、スクーターをaprilia正規代理店にお持ちください。

この作業をご自分で行う場合は、指示に従ってください。

エンジンオイル量を頻繁に点検してください。

交換する場合：

注意

熱くなったオイルは流動性が高く、簡単に、すべて流れ出します。 エンジンが約20分作動した後に、最適な温度に達します。



エンジンが熱くなっていると、オイルも非常に高温になります。 以下の作業を行う際は、火傷しないように注意してください。

- 左フェアリングを取り外します。
- ウェスを使用して注入口のキャップ (3) 周辺の泥などを拭き取ります。
- 容量4,000 cm³の容器 (1) をタンクのドレンプラグ (2) の下に置きます。
- タンクのドレンプラグ (2) を回して外します。
- 注入口のキャップ (3) を回して外します。
- オイルを容器 (1) に排出します。 オイルが完全に排出されるまでには数分かかります。
- タンクドレンプラグ (2) のシーリングワッシャーを点検し、必要に応じて交換します。

- タンクドレンプラグ（2）を締めます。

タンクドレンプラグ（2）の締め付けトルク： 15 Nm（1.5 kgm）

- 容器（1）を移動させて、エンジンドレンプラグ（4）に合うようにエンジンベースの下に置きます。
- エンジンドレンプラグ（4）を回して外します。
- オイルを容器（1）に排出します。 オイルが完全に排出されるまでには数分かかります。
- ドレンプラグ（4）のマグネットに付着した金属片を取り除き、プラグを締めます。

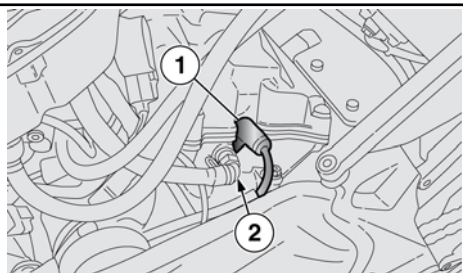
エンジンドレンプラグ（4）の締め付けトルク： 12 Nm（1.2 kgm）

エンジンオイルフィルターの交換

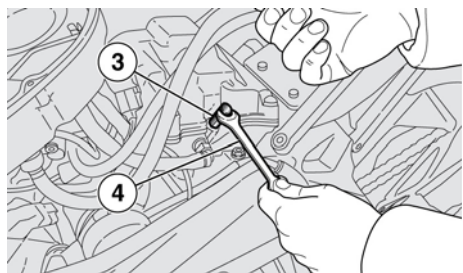
- 2本のネジ（5）を外し、カバー（6）を取り外します。
- エンジンオイルフィルター（7）を取り外します。

使用済みのフィルターを再利用しないでください。

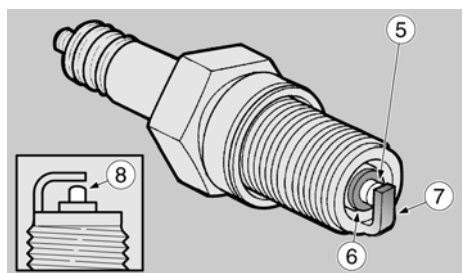
- 新しいエンジンオイルフィルターのシールリング（8）にオイルを薄く塗ります。
- 新しいエンジンオイルフィルターを取り付けます。
- カバー（6）を取り付け、2本のネジ（5）を締めます。
- エンジンオイルタンクに注入口のキャップ（3）から推奨エンジンオイルを充填し、左フェアリングの点検窓から、透明ホースのマークが最高レベルの' ' MAX' ' マークを示しているか点検します。
- エンジンを始動してアイドリング状態にします。
- エンジンオイルレベルがすぐに最低レベルの"MIN"マーク以下に下がります。
- エンジンを停止します。
- エンジンオイルを最高レベルの' ' MAX' ' マークまで補充します。



04_06



04_07



04_08

スパークプラグの取り外し (04_06, 04_07, 04_08, 04_09)

定期的にはスパークプラグを取り外して付着したカーボンなどを取り除き、必要な場合は交換してください。



両方のスパークプラグを片方ずつ点検、清掃または交換してください。一つでもスパークプラグの交換が必要な場合は、必ずすべてのスパークプラグを交換してください。



以下の作業を行う前には、火傷をしないようにエンジンとマフラーを周囲温度になるまで冷ましてください。

- 燃料タンクを持ち上げます。



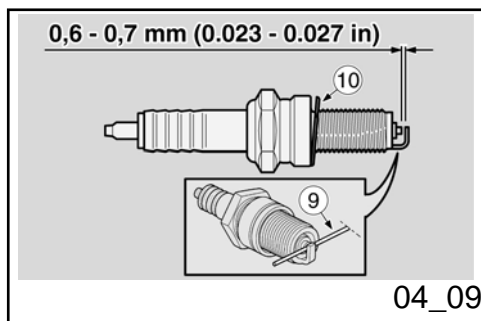
この車両は各シリンダーにそれぞれ1本ずつのスパークプラグを使用しています。

以下の説明は1つのシリンダーのスパークプラグに関するものですが、両方のシリンダーに有効です。

取り外す場合：

- スパークプラグ (2) のチューブ (1) を取り外します。
- スパークプラグ本体の汚れを拭き取ります。
- ツールキットの専用スパナをスパークプラグに取り付けます。
- ツールキットのシングルオープンエンドスパナ (4) をスパークプラグスパナ (3) の六角ヘッドに差し込みます。
- スパークプラグを緩めて、埃や汚れがシリンダーに入り込まないか確認しながら、シートから取り外します。

点検と清掃：



スパークプラグを清掃するには、金属ブラシや研磨剤を使用しないでください。圧縮空気のみを使用してください。

各部名称：

- 中心電極 (5)
- 絶縁碍子 (6)
- 外側の電極 (7)

- スパークプラグの電極と絶縁碍子にカーボンや錆が付着していないか確認してください。必要な場合は圧縮空気を使って清掃してください。

スパークプラグの絶縁碍子がひび割れていたり、電極が錆びていたり、カーボンが異常に多く付着している場合、または中心電極 (5) の先端 (8) が丸まっている場合は、スパークプラグを交換してください。

- すき間ゲージ (9) を使用して電極ギャップを点検します。

注意



電極ギャップの調整をしないでください。

電極ギャップは0.6 - 0.7 mmの間でなければなりません。ギャップがこれと異なる場合は、スパークプラグを交換してください。

- ワッシャー (10) の状態が良好であるか確認します。

取り付け方法：

- ワッシャー (10) を取り付けたら、ネジ部を傷つけないようにスパークプラグを手で締め付けます。
- ツールキットのスパナを使用して、ワッシャーを押圧するために各スパークプラグ

を半回転させて締め付けます。

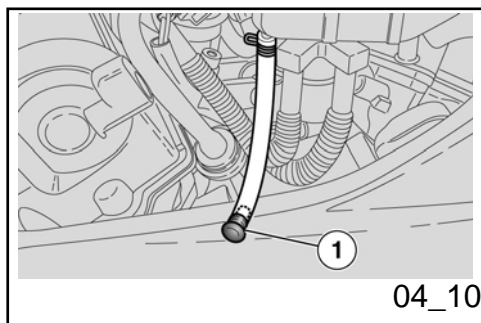
スパークプラグの締め付けトルク： 20 Nm (2 kgm)。

注意

スパークプラグを正しく締め付けてください。そうしないと、エンジンがオーバーヒートし、致命的な損傷が起こることがあります。

スパークプラグは必ず推奨されたものをお使いください。そうしないと、エンジンの寿命と性能に影響します。

- スパークプラグチューブは、エンジンの振動で外れてしまわないように正しく取り付けてください。



エアフィルタの取り外し (04_10, 04_11, 04_12)

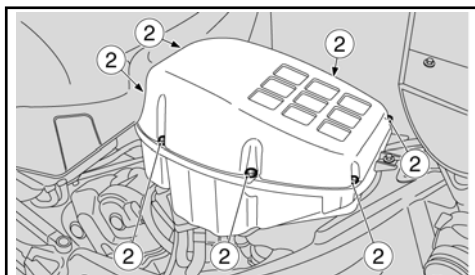
- 時々キャップ (1) を取り外し、中身を容器に出して、収集センターへお送りください。

取り外し

- 燃料タンクを持ち上げます。
- 7本のネジ (2) を回して外します。
- フィルターケースカバー (3) を取り外します。
- 2本のネジ (4) を回して外します。
- フィルターロックブラケット (5) を取り外します。
- エアフィルター (6) を取り外します。
- ガスケット (7) の状態が良好であるか点検し、損傷している場合は交換します。

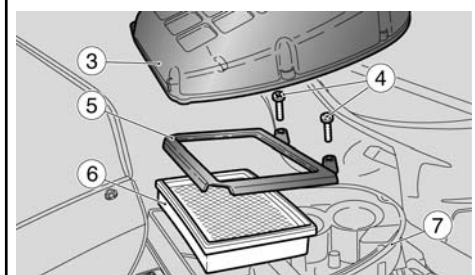


鐘形の吸入口を清潔なウエスで覆い、異物が吸入口に入らないようにしてください。 フィルターケースカバー (3) を取り付ける前に、ウエスや他の物体がフィルターケース内に残っていないか確認してください。 フィルターを通らないエアが流れ込むことのないように、フィルターエレメントが正しく取り付けられているか確認してください。 フィルターエレメントの異常や取り付けミスによって、ピストンリングとシリンダーの早期摩耗が生じる

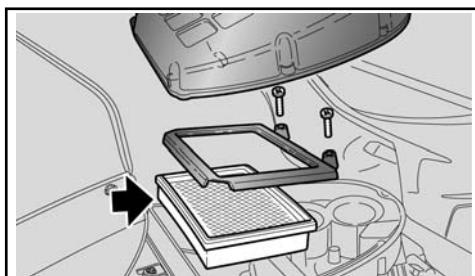


04_11

場合のあることを覚えておいてください。



04_12



04_13

エアフィルターのクリーニング (04_13)

部分的な清掃

- エアフィルターをまっすぐに保持して、清潔な面の上で数回軽く叩きます。
- 必要に応じてエアフィルターを圧縮空気で清掃します（フィルターの内側から外側に向かって吹き付ける）。
- エアフィルターの外側部分を清潔なウエスで清掃します。

交換

- エアフィルターを同型の新しいフィルターに交換します。



エアフィルターの金属メッシュを圧迫したり叩かないでください。

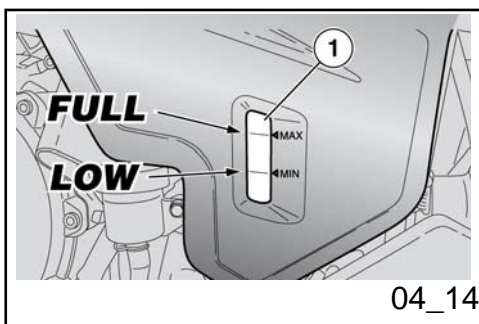
フィルターにはドライバーなどの工具を使用しないでください。

注意

フィルターエレメントを清掃する際は、破れていないか確認してください。破れている場合は、フィルターエレメントを交換してください。



使用済みのフィルターを再利用しないでください。



クーラントレベル (04_14, 04_15)



冷却液レベルが《MIN》でマークされた最低レベルを下回っている場合は、スクーターを使用しないでください。

警告

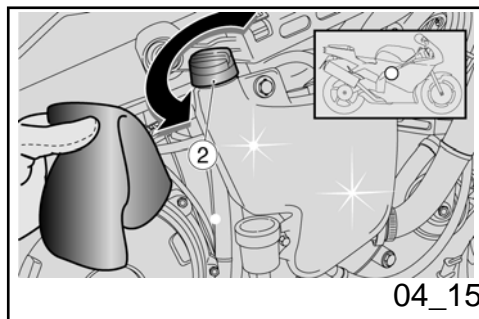
冷却液に関する作業を行う際は、右サイドフェアリングを取り外してください。

注意



冷却液は有毒ですので決して飲み込まないでください。また、皮膚に付いたり眼に入ったりすると炎症の原因になります。冷却液が眼に入ったり、皮膚に付いたりした時は、流水で十分に洗い落とし医師の診察を受けてください。誤って飲み込んだ場合には吐き出してから喉、口を水で十分に洗浄し、直ちに医師の診察を受けてください。

注意



高温になっているエンジンや排気系統に冷却液をかけないように注意してください。引火して目に見えない炎が発生する場合があります。メンテナンス作業を行う際は、ゴム手袋の着用をお薦めします。交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。

環境保護のためオイルは適切に処理してください。

子供の手の届かない場所に保管してください

エンジンが熱い間は冷却液が加圧されており液温も高いので、エキスパンションタンクのカバー（1）を決して外さないでください。冷却液が皮膚や衣服につくと、ひどい火傷や衣服の損傷をおこすことがあります。

重要

冷却液の交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。



エンジン冷間時に冷却液を点検し、補充してください。

点検と補充

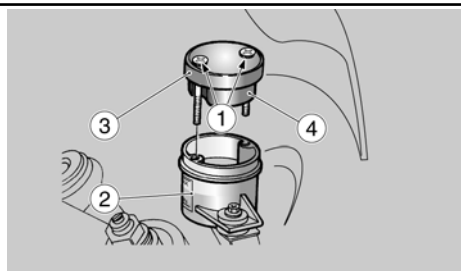
- エンジンを停止して、エンジンが冷めるまで待ちます。
- 両輪を地面に着けたまま車体を垂直に保持します。
- エキスパンションタンクの液量が“FULL”（FULL=最高レベル）と“LOW”（LOW=最低レベル）のマークの間になっていることを（右フェアリングの点検窓（1）で）確認してください。

別の方法：

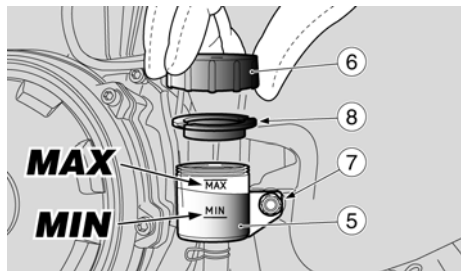
- サイドフェアリングを取り外します。
- 注入口のキャップ (2) を回して外します。
- 推奨された冷却液を、液レベルが“FULL”のマーク付近にくるまで補充します。このレベルを超えないようにしてください。超えた場合、エンジン作動中に液が流れ出すことがあります。
- 注入口のキャップ (2) を取り付けて締めます。

注意

冷却液の消費が激しい場合、またはタンクが空になっている場合、系統内に漏れがないか点検してください。



04_16



04_17

ブレーキ液レベルの点検

ブレーキオイルの点検

- 車両をスタンドで立てます。
- フロントブレーキの点検時は、ハンドルを右いっぱいに切ります。
- リアブレーキの点検時は、タンクのオイルがプラグと同じレベルになるように車両をまっすぐに保ちます。
- タンクのオイルが“MIN”マークを上回っているか確認します。

MIN = 最低レベル

MAX = 最高レベル

オイルの液面が“MIN”マークを下回っている場合：

- ブレーキパッドとディスクの摩耗を点検します。
- パッドやディスクの交換の必要がない場合は、オイルを補充します。
- パッドやディスクを交換した場合は、ブレーキオイルを点検し、必要に応じて補充します。

ブレーキ液の注入 (04_16, 04_17)



ブレーキオイルがタンクから溢れ出す危険があります。 ブレーキオイルタンクのキャップが緩んでいる場合や取り外されている場合には、ブレーキレバーを操作しないでください。



ブレーキオイルを長時間空気に触れさせないように注意してください。 ブレーキオイルには吸湿性があり、空気に触れると湿気を含んでしまいます。 オイル補充のため必要な場合にのみ、タンクキャップを開けるようにしてください。



補充時にオイルが溢れないようにするため、タンクのオイルレベルがタンクの縁に平行になるようにしてください（水平な位置）。 オイルには、添加物やその他の物質を混ぜないでください。 じょうご等を使用する場合は、清潔であることを確かめてから使用してください。

推奨商品

AGIP BRAKE FLUID DOT 4 PLUS

ブレーキオイル

推奨されたオイルの代わりに、同等かそれ以上の性能を持つオイルを使用することができます。 SAE J1703、NHTSA 116 DOT 4、ISO 4925 合成オイル

フロントブレーキシステム

- 短いプラスドライバーを使用して、フロントブレーキオイルタンク（2）のネジ（1）を緩めます。
- カバー（3）をネジ（1）およびガスケット（4）と共に持ち上げて外します。
- タンク（2）に推奨ブレーキオイルを最低レベルの“MIN”マークの上まで補充します。

リアブレーキシステム

- 右サイドフェアリングを取り外します。
- ネジ（7）を完全に外します。
- タンク（5）全体をわずかに外側へ動かします。
- キャップ（6）を緩めて外します。
- ガスケット（8）を取り外します。

- タンク（2）に推奨ブレーキオイルを“MIN”と“MAX”マーク間の正しい量になるまで補充します。



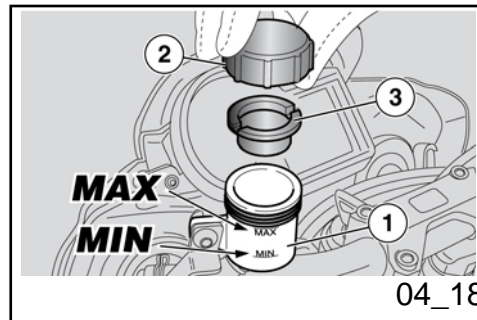
補充の際、キャップが閉じていたとしてもブレーキオイルタンクを倒さないようにしてください。空気が系統内に入り込む原因となり、ブレーキシステムの故障につながる恐れがあります。



“MAX”のレベルまで入れるのはブレーキパッドが新品の場合だけにしてください。ブレーキパッドが摩耗している場合、補充時に“MAX”のレベルを超えないようにしてください。超えた場合、ブレーキパッドの交換時にオイルが溢れる恐れがあります。

ブレーキの効き具合を点検してください。

ブレーキレバーのストロークが大き過ぎる場合や、ブレーキ系統の性能が低下している場合は、スクーターをaprilia正規代理店へお持ちください。



クラッチフルードの点検

- ハンドルをまっすぐに保ちながら、車両を垂直にします。
- タンク内のオイル液面が“
- MIN

”マークより上にあることを確認します。

MIN = 最低レベル

MAX = 最高レベル

- オイルの液面が“MIN”マークを下回っている場合は、オイルを補充します。

重要

シフトダウン時のホイールの跳ね返りを防ぐため、エンジンには独占特許を取得した PPC（ニューマチックパワークラッチ）を特徴とするパワーアシストの油圧制御クラッチが装着されています。

クラッチフルードの補充 (04_18)

補充

- キャップ (2) を回して外します。
- ガasket (3) を取り外します。
- タンク (1) にクラッチオイルを適切な量 (“MIN” と “MAX” マークの間) になるまで補充します。



補充する際に、“MAX” マークを超えないようにしてください。

クラッチの動作が正常であるか点検してください。

クラッチレバーの遊びが大きすぎる、またはクラッチの動作が異常な場合は、システムのエア抜きが必要な場合があるため、aprilia正規代理店にご連絡ください。

注意



オイルをこぼさないよう、補充中は車体を揺らさないでください。オイルには、添加物やその他の物質を混ぜないでください。 じょうご等を使用する場合には、清潔なものであることを確かめてから使用してください。

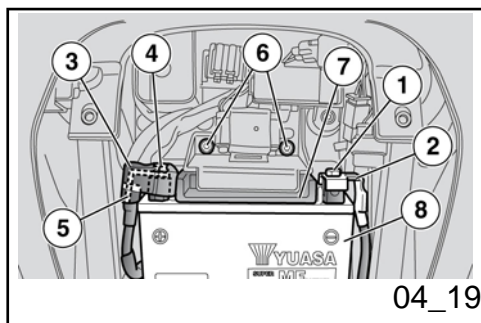


ブレーキオイルを長時間空気に触れさせないように注意してください。ブレーキオイルには吸湿性があり、空気に触れると湿気を含んでしまいます。オイル補充のため必要な場合にのみ、タンクキャップを開けるようにしてください。

推奨商品

AGIP BRAKE 5.1、DOT 4

推奨クラッチオイル



新品バッテリーの使用 (04_19)

- イグニッションスイッチが“KEY OFF”になっているか確認します。
- ライダーシートを取り外します。
- ネジ (1) を回してマイナスターミナル (-) から外します。
- マイナスのリード線 (2) を脇へ移動させます。
- 赤い保護ケース (3) を移動させます。
- ネジ (4) を回してプラスターミナル (+) から外します。
- プラスのリード線 (5) を脇へ移動させます。
- 2本のネジ (6) を回して外します。
- バッテリーロックブラケット (7) を取り外します。
- バッテリー (8) をしっかりと保持し、ハウジングから持ち上げます。
- バッテリー (8) を涼しく乾燥した場所の水平な面に置きます。
- ライダーシートを取り付けます。

注意

取り付け時には、先にプラスターミナル (+) にリード線を接続してから、マイナスターミナル (-) にリード線を接続してください。



バッテリーのリード線とターミナルが以下のようにになっているか点検してください：

- 良好な状態である（腐食や付着物がない）
- 中性グリスまたはワセリンが塗布されている

電解液レベルの点検

警告

この車両にはメンテナンスフリーのバッテリーが装着されているため、時々点検して充電する以外には処置を行う必要はありません。

バッテリーの充電

- バッテリーを取り外します。
- 適切なバッテリーチャージャーを用意します。
- バッテリーチャージャーを表示された充電形式に合わせて設定します。
- バッテリーをバッテリーチャージャーに接続します。

注意



バッテリーの充電または使用は、換気の良い場所で行ってください。 バッテリーの充電時に放出されるガスを吸い込まないようにしてください。

バッテリーチャージャーのスイッチを入れてください。

テクニカル仕様

充電モード：

充電 - 通常

電流 - 1.0 A

時間 - 8-10時間

充電 - 高速

電流 - 10 A

時間 - 0.5時間

長期間使用しない場合



車両を20日間以上使用しない場合は、マルチ機能コンピューターの電流消費によるバッテリーの劣化を防ぐため、30 Aのヒューズを外してください。

注意

30 Aのヒューズを取り外すと、以下の機能がリセットされます： デジタル時計、TRIPの情報、クロノメーターの時間。

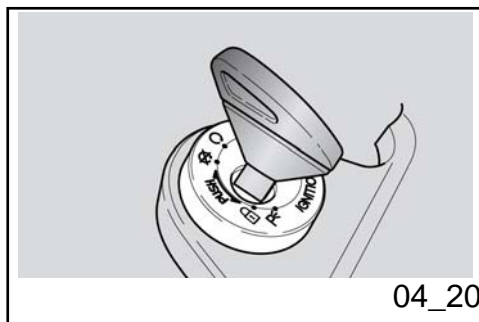
車両を15日間以上使用しない場合は、硫酸化を防ぐためにバッテリーを充電する必要があります。

- バッテリーを取り外します。

冬季や車両を動かさないときには、劣化を防ぐために、時々（月に1回程度）充電量を点検してください。

- 通常の充電時は満充電してください。

バッテリーを車両に取り付けたままにする場合は、ターミナルからケーブルを外してください。



ヒューズ (04_20, 04_21, 04_22, 04_23, 04_24)

電気部品の不規則な作動や故障、またはエンジン始動に異常がある場合は、ヒューズを点検してください。

先に15Aの二次ヒューズを点検してから、30Aのメインヒューズを点検してください。

注意

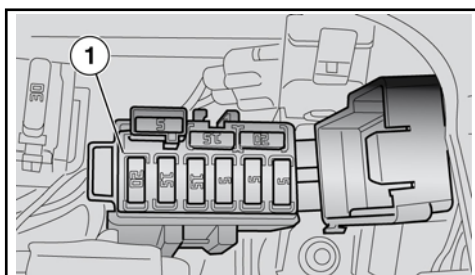
故障したヒューズは修理しないでください。

ヒューズは、指定されているもの以外は決して使用しないでください。

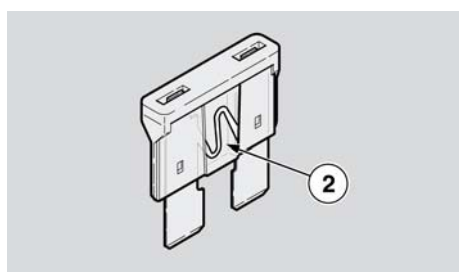
ショートした場合に、電気系統の損傷または火災が起こる場合があります。

注意

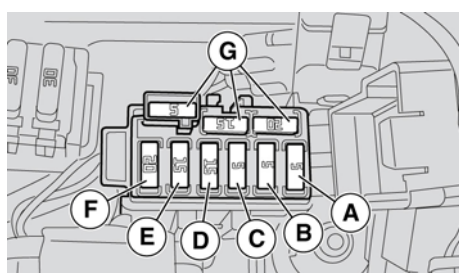
頻繁にヒューズが飛ぶ場合は、ショートや過負荷が原因となっている場合があります。 この場合はaprilia正規代理店にご相談ください。



04_21



04_22



04_23

点検方法：

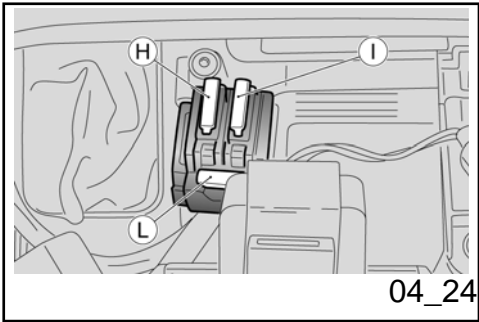
- ショートを防ぐため、イグニッションスイッチを“OFF”にします。
- ライダーシートを取り外します。
- 二次ヒューズボックス（1）のカバーを開けます。
- 1回1個のヒューズを取り外し、フィラメント（2）が損傷しているか点検します。
- ヒューズを交換する前に、可能であればヒューズが飛んだ原因を究明して解決します。
- ヒューズが損傷している場合は、同じアンペア数のヒューズと交換します。
- ライダーシートを取り外します。
- メインヒューズを点検するには、上記の二次ヒューズの場合と同じ作業を行ってください。

重要

スペアのヒューズを使用した場合は、同じタイプの物を補充してください。

注意

30 Aのヒューズを取り外すと、以下の機能がリセットされます： デジタル時計、TRIPの情報、クロノメーターの時間。



二次ヒューズの配置

特徴	概要/数値
A) 5Aヒューズ	キーから ライトリレー、プレーキランプ、ホーン、テールライト。
B) 5Aヒューズ	キーから ウィンカー、メーターパネル。
C) 5Aヒューズ	バッテリーから ECUのプラス側
D) 15Aヒューズ	バッテリーから スピードセンサー、フューエルポンプ、リレー、スターター、ラムダセンサー。
E) 15Aヒューズ	バッテリーから 電動ファンリレー、コイル、インジェクター、エアインテークフラップ、カムシャフトポジションセンサー。
F) 20Aヒューズ	イグニッションスイッチから ハイビーム、ロービーム。

メインヒューズの配置

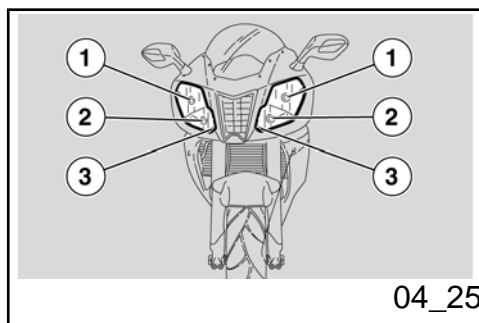
特徴	概要/数値
H) 30Aヒューズ	バッテリー充電と車両の負荷（赤および赤／白のケーブル）。
I) 30Aヒューズ	インジェクションの負荷（赤および赤／白のケーブル）。

注意

3個のスペアヒューズ（G）があります。

注意

1個のスペアヒューズ（L）があります。



ランプ (04_25, 04_26, 04_27, 04_28, 04_29)

分かりやすいように、図は車両からウインドシールドを取り外した状態になっています。ハイビームとロービームのバルブを交換するのにウインドシールドを取り外す必要はありません。

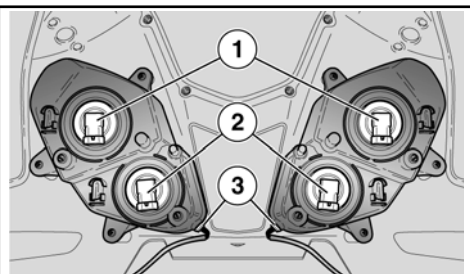
フロントライトの構成：

- 2個のハイビームバルブ（1）
- 2個のロービームバルブ（2）
- 2個のテールライトバルブ（3）

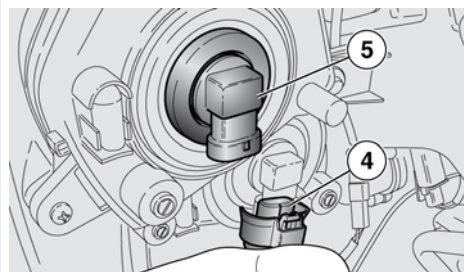
ハイビームとロービームのバルブは同じです。

2個のバルブ（2）のうちの片方が切れ、スペアバルブが使用できない場合、バルブ（1）と交換することができます。

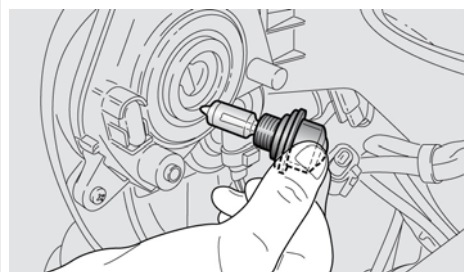
この作業は切れたバルブを交換するものではなく、新しいバルブを調達するまでの一時的な交換に過ぎません。



04_26



04_27



04_28

交換する場合：

- 車両をスタンドで立てます。
- ハイビームとロービームのバルブ

ハイビームとロービームのバルブを同時に交換する必要がある場合は、コネクタにマークをつけて、取り付け時に正しい位置であるか点検してください。

- 上部サイドガードを取り外します。
- コネクター（4）を外します。
- バルブのリングナットを反時計回りに回し、バルブ（5）を取り外します。
- 同型の新しいバルブと交換します。
- バルブをフィッティングに取り付け、締まるまで時計回りに回します。
- コネクター（4）を正しく取り付けます。

テールライトバルブ

- テールライトバルブホルダー（6）をフィッティングから外します。
- バルブを外し、同じ種類のバルブと交換します。

注意

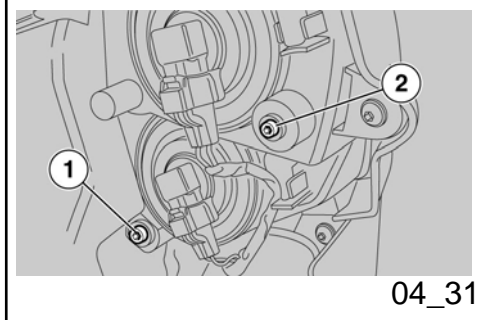
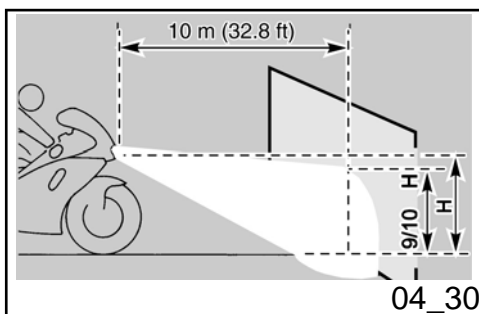
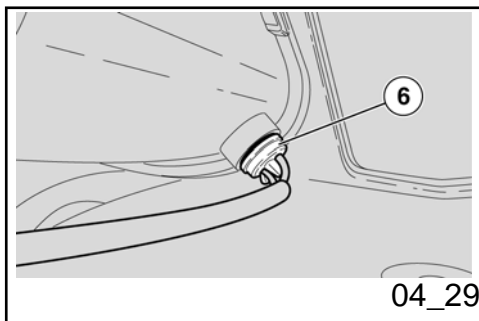


電球を交換する前に、イグニッションスイッチを《KEY OFF》にして、電球が冷めるまで数分お待ちください。

電球を交換する際は、清潔な手袋を着用するか、乾いた清潔なウエスを使用してください。

電球に指紋を付けないでください。電球が熱くなりすぎたり切れたりする原因になります。手袋を着用せずに電球に触れた場合は、電球の損傷を防ぐため、アルコールで指紋を拭き取ってください。

電気ケーブルを無理に取り扱うことのないようにしてください。



ヘッドランプの調整 (04_30, 04_31)

重要

車体を使用する国の現行の法規定に従って、ヘッドライト調整には特定の作業を行って下さい。

イタリア： フロントライトの光軸の向きを簡単に点検するには、平らな地面であることを確認して、車両を垂直な壁から10 m離れた場所に停車してください。 ロービームを点灯して車両に着座し、壁に投影された光がヘッドライトの高さよりも少し下にあるか点検します（高さの約9/10のところ）。

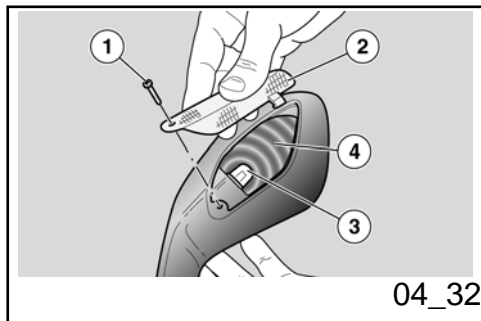
光軸を調整するには：

光軸の垂直調整

- 車両をスタンドで立てます。
- ウィンドシールドの左後部から、専用ネジ（1）をL型六角スパナで回します。 締め込む方向（時計回り）に回すと光軸が下向きになります。 緩める方向（反時計回り）に回すと光軸が上向きになります。
- 右側のヘッドライトについてもこの作業を行います。

光軸の水平調整

- 水平方向に光軸を調整するには、ネジ（2）をL型六角スパナで回します。締め込む方向（時計回り）に回すと光軸が右に移動します。緩める方向（反時計回り）に回すと光軸が左に移動します。



フロントターンシグナルランプ（04_32）

- 車両をスタンドで立てます。
- ネジ（1）を回して外します。
- レンズ（2）を取り外します。
- バルブ（3）を少し押して、反時計回りに回します。
- バルブ（3）を引いてフィッティングから外します。
- 同型のバルブを正しく取り付けます。

警告

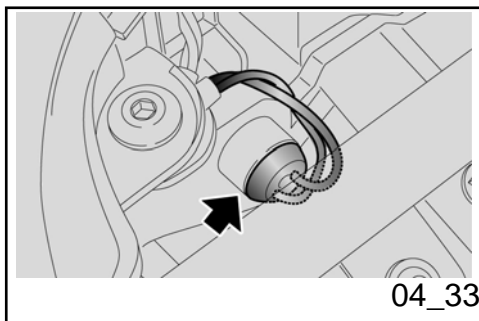
放物型ホルダー（4）がフィッティングから外れた場合は、もう一度入れなおします。

テールランプユニット

この車両にはLEDリアライトが付いています。交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。

リアターンシグナルランプ

リアウィンカーバルブを交換するには、フロントウィンカーと同じ作業を行ってください。

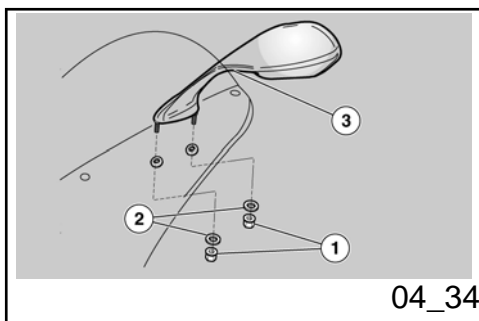


ナンバープレート照明 (04_33)

- 車両をスタンドで立てます。
- パッセンジャーシート／シートカバーを取り外します。
- ライセンスプレートライトのバルブホルダーを取り外します。
- バルブを外し、同じ種類のバルブと交換します。

ライト・ストップ

この車両にはLEDリアライトが付いています。交換はaprilia正規代理店にご依頼ください。



バックミラー (04_34, 04_35)

- ウィンカーライトの配線を外します。
- 2個のナット (1) を回して外し、ワッシャー (2) を回収します。
- 配線コネクターに注意しながらバックミラー (3) を外します。



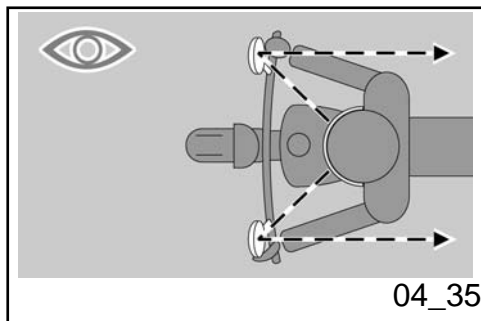
プラスチック部品や塗装部品は注意して取り扱い、傷つけたり損傷しないようにしてください。

注意

もう一方のミラーを取り外すには、同じ作業を行ってください。

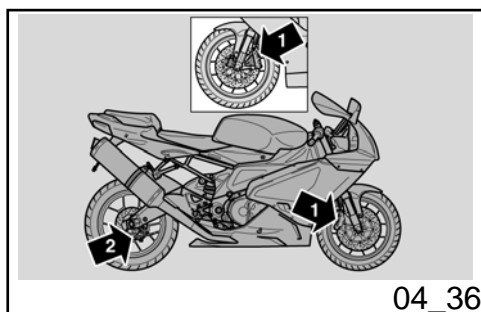


取り付け後、バックミラーを正しく調整し、確実に固定するためにナットを締め付けてください。



取り付け後：

- バックミラーを正しい角度に調整します。



フロント、リアディスクブレーキ (04_36, 04_37, 04_38)

注意



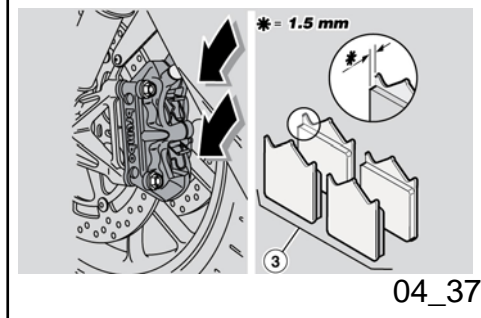
走行前には必ずブレーキパッドの摩耗を点検してください。

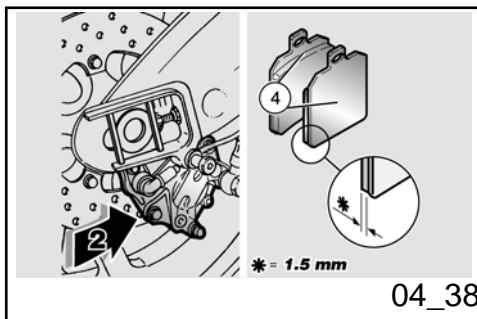
パッドの摩耗をすばやく点検するには：

- 車両をスタンドで立てます。
- 以下のようにブレーキディスクとパッドの目視点検を行います：
 - 後ろ上方から見て、フロントブレーキキャリパー (1) を点検します。
 - 車両の反対側から、リムを通してリアブレーキキャリパー (2) を点検します。

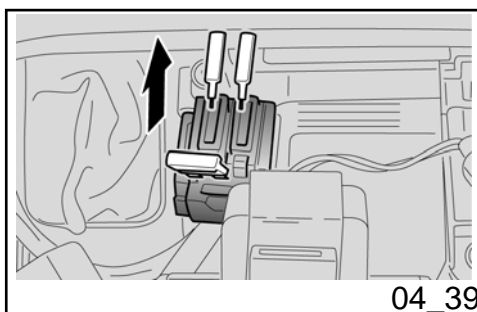
注意

摩擦材の過度の摩耗により、パッドのメタルサポートがディスクに接触します。これがキャリパー内で金属音や火花を引き起こします。これによりブレーキの効きや走行安全性が低下し、ディスクが損傷します。





摩擦材の厚さ（フロントパッド（3）またはリアパッド（4）の片方でも）が約1.5 mmにまで減少した場合は（または片方でも摩耗インジケーターがよく見えなくなっている場合）、aprilia正規代理店に連絡して、キャリパーのパッドの交換を依頼してください。



使用していない期間（04_39, 04_40）

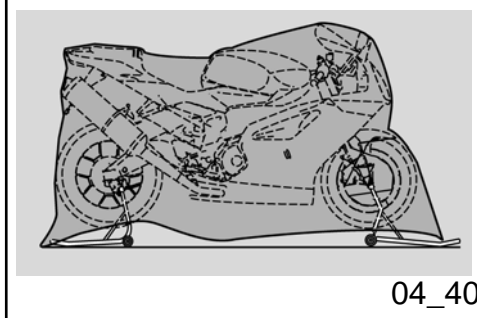
車両を使用しないことによって悪影響が生じないように、いくつかの処置を行ってください。また、車両を保管する前には通常の修理と点検を実施してください。後からでは実施し忘れてしまう場合があります。

次の作業を行ってください：

- バッテリーを取り外します。
- 車体を洗い乾かします。
- 塗装面を磨きます。
- タイヤに空気を入れます。
- 直射日光の当たらない、涼しく乾燥した温度変化の少ない場所に保管してください。
- 湿気が入らないよう、マフラーの先端にビニール袋などをかぶせて縛ります。

重要

作業用フロントスタンドおよび作業用リアスタンドを使って両輪を床から浮かせます。



- フロントおよびリアサービススタンド（オプション）でスクーターを立てます。
- 車両にカバーをかけます。ビニールや耐水性の素材を使用しないでください。

長期間使用しなかった後では：

重要

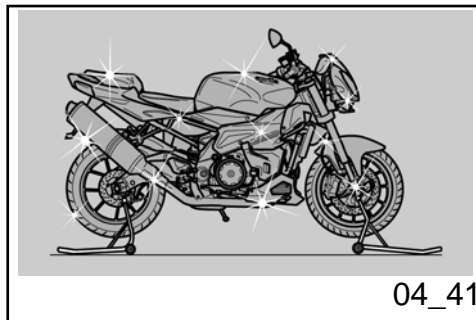
マフラー先端に被せておいたビニール袋を外してください。

- カバーを外し、車両を清掃します。
- バッテリーが正しく充電されているか確認して取り付けます。
- 燃料タンクに燃料を充填します。
- 走行前の点検を行います。

注意



試験的に数キロ間、通行が少ない場所で速度を控えめにして走行してください。



04_41

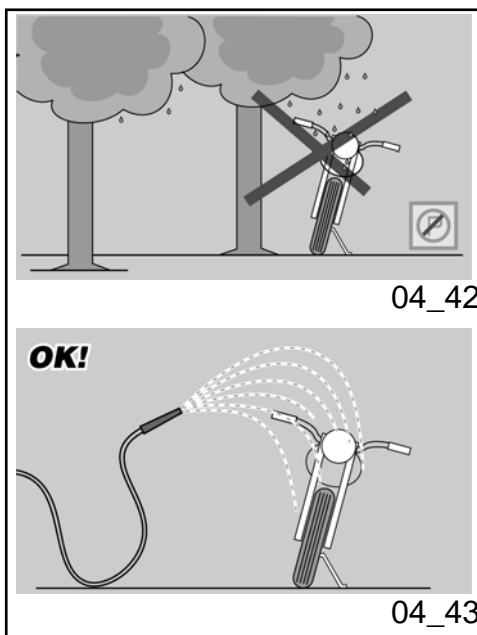
洗車 (04_41, 04_42, 04_43)

次のような特殊な地域や条件下でスクーターを使用した場合は頻繁に清掃を行ってください：

- 環境汚染地域（市街地、工場地区）。
- 塩分や湿度の高い地域（海辺、高温多湿の気候）。
- 環境／季節による特殊条件の地域（冬季は道路に塩や凍結防止剤を撒く地域）。
- 車体に産業塵芥、汚染物質、タール、昆虫の死骸、鳥の糞などを残さないよう注意してください。
- 木の下には駐車しないようにしてください。季節によっては車に落ちる樹脂、木の実、葉などに含まれる物質で塗装を傷めることがあります。

注意





洗車する前に、エアインテークとマフラーに水が入らないように覆ってください。

注意



洗車後、ブレーキの摩擦面に付いた水が、一時的にブレーキの効きに影響を及ぼす場合があります。事故を防ぐため、制動距離が長くなることを予測して運転してください。正常な状態に戻すためにはブレーキ操作を繰り返し行ってください。走行前の点検を行います。

塗装面に付着した埃や泥を落とすには、弱い圧力で水を噴射して汚れた部分を十分に濡らした後、水で薄めた洗剤（水の2～4％）に洗車用の柔らかいスポンジを浸して泥や汚れを拭き取ります。さらに水で充分すすぎ落としてからセーム皮などで水分を拭き取ります。エンジンの外側部分を清掃するには、脱脂剤とブラシおよびウエスを使用してください。フォーク、リム、フレーム、ペダルなどのアルミ製のアルマイト加工または塗装部分は中性洗剤と水で洗浄しなければなりません。強すぎる洗浄剤を使用すると、これらの部品の表面加工部分に傷を付ける恐れがあります。強すぎる洗浄剤を使用すると、これらの部品の表面加工部分に傷を付ける恐れがあります。



ライト類の洗浄は、中性洗剤及び水を含ませたスポンジで表面を丁寧にこすり、水で十分にすすいでください。シリコンワックスで磨く前に丁寧に洗車することを忘れないでください。つや消し塗装部分には研磨剤入りのクリームを使用しないでください。日光のあたる場所、特に夏の暑い日差しの下で車体が熱くなっている時には洗車しないでください。洗剤が洗い流す前に乾いてしまい塗装を傷めます。

注意



スクーターのプラスチック部品の清掃には、40℃以上の液体を使用しないでください。以下のような部分には高圧の水や空気、蒸気などを吹き付けしないでください：ホイールハブ、左右ハンドルの各装置、ベアリング、ブレーキポンプ、メーターパネル、マフラー、イグ

ニッションスイッチ／ステアリングロック。 ゴム部品やシートのプラスチック部品の洗浄には、アルコールや溶剤などを使用せず、中性洗剤と水を使用してください。

注意

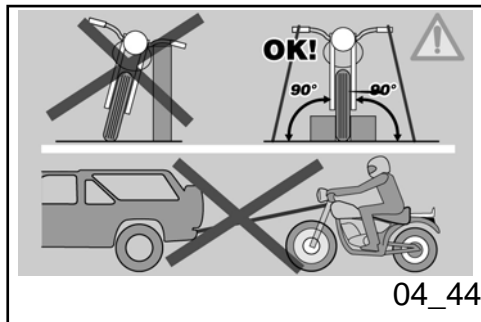
シートの清掃には、溶剤やガソリンの副産物（アセトン、トリクロロエチレン、テレピン油、ガソリン、シンナー）を使用しないでください。 その代わりに、界面活性剤の含有が5%以下の洗剤を使用してください（中性洗剤、脱脂剤またはアルコール）。

清掃後、シートをよく乾かしてください。

注意



滑る危険がありますのでシートには保護ワックスなどを塗らないでください。

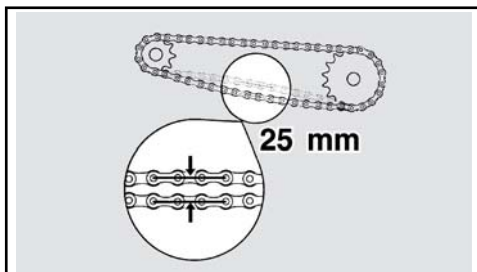


輸送 (04_44)

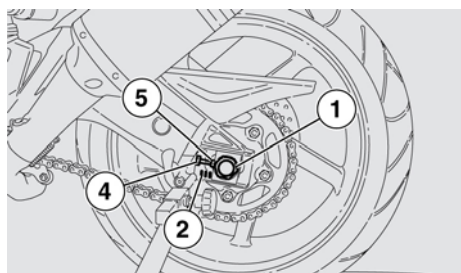
車両を輸送する前には、燃料タンクを空にして、完全に燃料が抜き取られたか確認してください。

輸送時は、車両は垂直の姿勢を保つようにしっかりと固定されなければいけません。燃料やオイルの漏れを防ぐために、ギアは1速に入れておいてください。

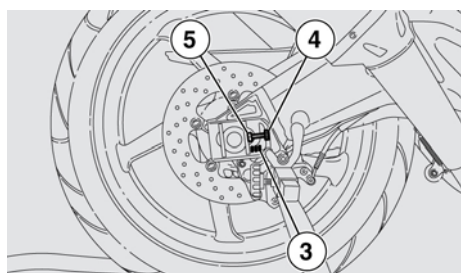
故障の際は、けん引輸送ではなく、輸送車両を使用してください。



04_45



04_46



04_47

遊びの点検 (04_45)

チェーンテンションの点検を行うには：

- エンジンを停止します。
- 車両をスタンドで立てます。
- ギアをニュートラルにします。
- チェーンの下部ブランチのフロントスプロケットとリアスプロケット間で、垂直の振れが約25 mmであるか点検してください。
- 他の位置でも垂直方向の振れを点検するため、車両を前に動かしてください。ホイールがどの位置に回転してもチェーンテンションが常に一定であることを確認します。

振れが一定で、25 mmより大きい、または小さい場合は、チェーンテンションを調整してください。

注意

ホイールの回転位置によって大きな弛みが見られる場合は、リンクが潰れているか固着しています。この場合はaprilia正規代理店にご相談ください。

また、リンクの固着を防止するためにチェーンの潤滑を頻繁に行ってください。

調整 (04_46, 04_47)

点検後、チェーンを締める場合：

- 車両をリアサービススタンド（オプション）で立てます。
- ナット（1）を完全に緩めます。
- 2個のロックナット（4）を緩めます。
- 調整ネジ（5）を回して、チェーンテンションを調整します。その際、マーク（2-3）が車両の両側で一致していることを確認します。
- 2個のロックナット（4）を締めます。
- ナット（1）を締めます。
- チェーンテンションを点検します。

重要

両側のスイングアーム上、テンショナーパッドマウントの内側、アクスルシャフトの前方に、正確なホイールセンタリングのためのポジションマーク（2-3）が設けられています。

チェーン、フロント/リアスプロケットの磨耗点検

チェーン、フロントスプロケット、リアスプロケットに以下の症状がないことを確認してください：

- ローラーの損傷。
- ピンの緩み。
- リンクのオイル切れ、錆び、潰れ、固着。
- 極端な摩耗。
- Oリングの欠如。
- 各スプロケットの歯の極端な摩耗、損傷。

注意

チェーンのローラーの損傷、ピンの緩み、Oリングの損傷・欠如等がある場合には、チェーンユニット全体（フロントスプロケット、リアスプロケット、チェーン）を交換する必要があります。

注意

頻繁にチェーンの潤滑を行ってください。オイル切れ、錆びなどが見られる場合は特に頻繁に実施してください。 リンクの潰れたり固着した部分は、スムーズに動くよう潤滑と修理が必要です。 修理が不可能な場合には、aprilia正規代理店にチェーンの交換をご依頼ください。

潤滑および清掃

チェーンを清掃する際は、決して高圧の水や空気、蒸気などを吹き付けしないでください。また、引火性の高い溶剤を使用しないでください。

- チェーンを燃料油または灯油で清掃します。すぐに錆びつく場合は、メンテナンス作業をより頻繁に行う必要があります。

チェーンの潤滑は必要に応じて行ってください。

- チェーンを清掃して乾かした後、シールチェーン用のスプレーグリスを使用して潤滑してください。



チェーンには、内側にグリスの塗布された連結部の間にシールリングがあります。チェーンの調整、潤滑、清掃、交換などの作業の際は細心の注意が必要です。

市販のチェーン潤滑剤には、チェーンのゴム製シールリングを損傷する物質が含まれている場合があります。

チェーンの潤滑直後は車両を使用しないでください。遠心力により潤滑剤が飛び散って、周囲が汚れる可能性があります。

RSV1000 R – RSV1000 FACTORY

aprilia



章 05
諸元

寸法

特徴	概要/数値
全長	2,025 mm
全幅	730 mm
全高（ウインドシールドを含む）	1,120 mm
シート高	810 mm
ホイールベース	1,410 mm
最低地上高	130 mm
空車重量	R - 213 kg FACTORY - 207 kg

エンジン

特徴	概要/数値
モデル	V990RR NG
形式	60° 縦置きVツイン、4ストローク、1気筒当たり4バルブ、DOHC。
気筒数	2
総排気量	997.6 cm ³
ボア／ストローク	97 mm / 67.5 mm
圧縮比	

	11.8 +/- 0.5 :1
始動方式	セルモーター
アイドリングのエンジン回転数	1,250 +/- 100 rpm
クラッチ	油圧制御湿式多板、ハンドルとPPC装置の左側
潤滑方式	セパレートオイルタンクとクーリングラジエーター付きドライサンプ方式
エアフィルター	乾式カートリッジ
冷却方式	水冷

変速装置

特徴	概要/数値
形式	機械式6段、エンジン左側のシフトペダルによる切替え

容量

特徴	概要/数値
燃料（リザーブ含む）	18リットル
リザーブ	

4 +/- 1リットル	
エンジンオイル	オイル交換 : 3,700 cm ³ - オイルとオイルフィルター交換 : 3,900 cm ³
Ohlinsフォーク用オイル	FG8903 フォーク、スリーブの端からのオイル量 : 85 mm - FG616 フォーク、スリーブの端からのオイル量 : 130 mm (スプリングを装着、スリーブを限界まで移動)
冷却液	2.2リットル (水50% + エチレングリコール不凍液50%)
乗車定員	2
最大積載量	R - 188 kg (ライダー + パッセンジャー + 荷物) FACTORY - 194 kg (ライダー + パッセンジャー + 荷物)

ギア比

特徴	概要/数値
ギア比	1次減速比 31/60
1速ギア比	15/34 (2次減速比)
2速ギア比	19/31 (2次減速比)

3速ギア比	20/26 (2次減速比)
4速ギア比	22/24 (2次減速比)
5速ギア比	25/24 (2次減速比)
6速ギア比	26/23 (2次減速比)
最終減速比	16/40

ドライブチェーン

特徴	概要/数値
形式	エンドレス（ジョイントリンクなし）、シールチェーン
モデル	525

燃料供給システム

特徴	概要/数値
形式	電子制御式燃料噴射（マルチポイント）
ディフューザー	Ø 57 mm

燃料供給

特徴	概要/数値
燃料	無鉛プレミアムガソリン、最低オクタン価95（NORM）および85（NOMM）

フレーム

特徴	概要/数値
形式	ボックスセクション、アルミ合金ツインスパーフレーム
ステアリング傾斜アングル	25°
トレール	101.7 mm（120/70のタイヤの場合）

サスペンション

特徴	概要/数値
フロント	倒立テレスコピックフォーク（調整可能、油圧式）、フォークØ 43 mm
ストローク	R - 127 mm FACTORY - 120 mm

リア	バナナ型アルミ合金スイングアーム。アブリリアプログレッシブシステム (APS) ライジングレートリンケージ。スプリングプリロード、長さ／リバウンド／ダンピング調整付き油圧式モノショック。
ホイールトラベル	133 mm

ブレーキ

特徴	概要/数値
フロント	ダブルフローティングディスク、 \varnothing 320 mm、4個の \varnothing 34 mmプランジャーと4個のパッド付きのラジアル固定キャリパー
リア	\varnothing 220 mmディスクブレーキ、 \varnothing 32 mmツインプランジャー付きキャリパー

ホイールリム

特徴	概要/数値
形式	軽合金リム、取り外し可能なボルト付き
フロント	3.50 x 17" ダイカスト (Rモデル)

	用) - 鍛造 (FACTORYモデル用)
リア	6.00 x 17" ダイカスト (Rモデル用) - 鍛造 (FACTORYモデル用)

タイヤ

特徴	概要/数値
タイヤ形式 (標準)	Rモデル : PIRELLI DIABLO CORSA、 METZELER RENNSPORT、 MICHELIN PILOT POWER、 DUNLOP SPORTMAX D208RR FACTORYモデル : PIRELLI DRAGON SUPERCORSA PRO
フロント	120/70 ZR 17"
タイヤ空気圧	2.53 bar
リア	190/50 ZR 17"
タイヤ空気圧	2.83 bar
形式	変更可能 (Rモデル) : PIRELLI DIABLO CORSA、PIRELLI DRAGON SUPERCORSA EVO、METZELER SPORTTEC、METZELER RENNSPORT

、MICHELIN PILOT POWER、
MICHELIN PILOT POWER RACE、
DUNLOP SPORTMAX QUALIFER

変更可能 (FACTORYモデル) :
PIRELLI DIABLO CORSA、PIRELLI
DRAGON SUPERCORSA EVO、
METZELER SPORTTEC、METZELER
RENNSPORT、MICHELIN PILOT
POWER RACE、DUNLOP SPORTMAX D
208 RR、DUNLOP SPORTMAX
QUALIFER

フロント	120/70 - ZR 17"
リア	180/55 ZR 17" - 190/55 ZR 17"

スパークプラグ

特徴	概要/数値
標準	NGK R DCPR9E
スパークプラグ電極間のギャップ	0.6 ÷ 0.7 mm
抵抗値	5 kOhm

電気系統

特徴	概要/数値
バッテリー	12V- 10 Ah

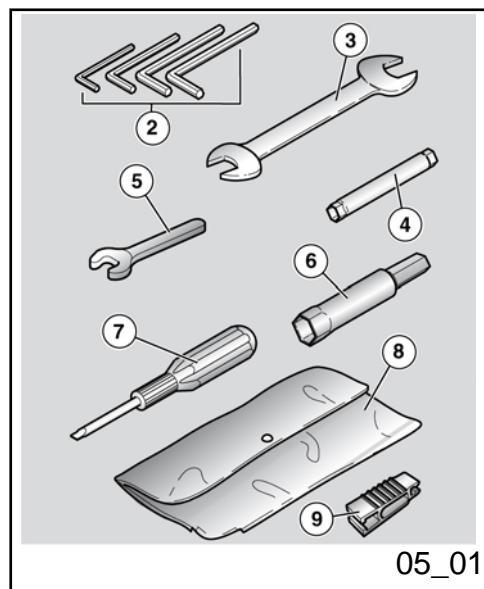
メインヒューズ	30 A
二次ヒューズ	5A、15A、20A
(永久磁石) オルタネーター	12V - 500W

バルブ

特徴	概要/数値
(ハロゲン) ロービームライト	12 V - 55 W H11 x 2
(ハロゲン) ハイビームライト	12 V - 55 W H11 x 2
フロントテールライト	12 V - 5 W x 2
ウィンカーライト	12 V - 10 W AMBER (USAモデル、 12 V - 10 W)
ライセンスプレートライト	12V - 5W
テールライト/ストップライト	LED
タコメーターライト	LED
左マルチ機能ディスプレイライト	LED

警告灯／インジケータ

特徴	概要/数値
ニュートラル	LED
ウィンカー	LED
燃料リザーブ	LED
ハイビームライト	LED
スタンド	LED
ジェネラル警告灯	LED
レッドゾーン	LED
イモビライザー	LED



装備キット (05_01)

提供される工具：

- 3、4、5、6 mm L型六角レンチ (2) 、
- 11-13 mmダブルオープンエンドスパナ (3) 、
- 8-10 mmダブルボックススパナ (4) 、
- 17 mmシングルオープンエンドスパナ (5) 、
- 16 mmスパークプラグ用ボックススパナ (6) 、
- 4 mmプラス／マイナスドライバ (7) 、
- ツールキットポーチ (8) 、
- ヒューズ引き抜き用プライヤ (9) 。

最大積載量： 1.5 kg

RSV1000 R – RSV1000 FACTORY

aprilia



章 06
メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュール表

適切なメンテナンスは、車両の長寿命、最適な動作やパフォーマンスを確実にするための基本事項です。

そのため、apriliaでは点検とメンテナンスのサービスを提供しています（有料）。これらは次の一覧表に記載されています。どんな小さなことでも不具合がある場合は、次に予定されたサービスの時期まで待たずに、お早めにaprilia正規代理店または販売店にご相談ください。

すべてのメンテナンススケジュールの作業は、記載されている距離を走行していなくても、定められた時期に行う必要があります。予定された作業を遅れずに実施することは、確実に保証を有効にしておくために必要です。保証手続きや“メンテナンススケジュール”に関する詳細情報については、“保証書”を参照してください。

重要

メンテナンス作業を行う頻度は、車両を以下のような場所で使用される場合、2 倍に増やしてください：雨の多い地域、埃っぽい場所、舗装されていない路上、またはスポーツ運転の実行時。

始動時に毎回

作業

メーターパネルの警告灯／インジケーターのエラー - 点検

走行前に毎回、2.000 KM走行ごと

作業

ブレーキパッドの摩耗 - 点検および清掃、必要に応じて調整または交換

1,000 KM走行後

作業

チェーン - 点検、必要に応じて潤滑または交換
トランスミッションケーブルと操作部 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ステアリングのベアリングとクリアランス - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ブレーキディスク - 点検および清掃、必要に応じて調整または交換
エンジンオイルフィルター - 交換
エンジンオイルフィルター（オイルタンク内） - 清掃
通常の車両の動作 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ブレーキ系統 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ライト系統 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
セーフティスイッチ - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
クラッチオイル - 点検、必要に応じて補充
ブレーキオイル - 点検
冷却液 - 点検および補充
エンジンオイル - 交換
タイヤ - 点検および清掃、必要に応じて調整または交換
タイヤ空気圧 - 調整
ホイール - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

ボルト、ナット、ネジの締め付け - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

シリンダーの同期 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

サスペンションと設定 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

ブレーキパッドの摩耗 - 点検および清掃、必要に応じて調整または交換

1,000 KM走行ごと

作業

タイヤの空気圧と摩耗 - 点検

チェーンのテンションと潤滑 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

ブレーキパッドの摩耗 - 点検および清掃、必要に応じて調整または交換

5,000 KM走行ごと - 車両をレースに使用する場合

作業

リアショックアブソーバー - 点検

トランスミッション全体 - 摩耗点検

スパークプラグ - 交換

トランスミッションケーブルと操作部 - 点検および清掃、必要に応じて潤滑または交換

ホイールベアリング - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ステアリングのベアリングとクリアランス - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
エアフィルター - 交換
エンジンオイルフィルター - 交換
エンジンオイルフィルター（オイルタンク内） - 清掃
通常の車両の動作 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ブレーキ系統 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
冷却系統 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
クラッチオイル - 交換
ブレーキオイル - 交換
冷却液 - 点検および補充
エンジンオイル - 交換
フォークオイル - 交換
フォークオイルシール - 点検および清掃、必要に応じて交換
ブレーキパッド - 点検、摩耗が進んでいる場合は交換
ピストン全体 - 交換
バルブクリアランス調整 - 調整
ホイールとタイヤ - 点検
ボルト、ナット、ネジの締め付け - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

サスペンション - 点検
ブレーキディスクの厚さ - 点検
フィルターハウジングからオールドレンパイプに達した排出オイル - 清掃
ファイナルドライブ（チェーン、フロントスプロケット、リアスプロケット） - 点検および清掃、必要に応じて潤滑または交換（ワークショップブックレットの説明に従う）
クラッチの摩耗 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

10,000 KM走行ごと、または12ヶ月ごと

作業

スパークプラグ - 点検
チェーン - 点検、必要に応じて潤滑または交換
トランスミッションケーブルと操作部 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ステアリングのベアリングとクリアランス - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ブレーキディスク - 点検および清掃、必要に応じて調整または交換
エアフィルター - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
エンジンオイルフィルター - 交換
通常の車両の動作 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
冷却系統 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

ブレーキ系統 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ライト系統 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
セーフティスイッチ - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
クラッチオイル - 点検、必要に応じて補充
ブレーキオイル - 点検
フォークオイル - 交換
エンジンオイル - 交換
光軸とライトの作動 - 点検
フォークオイルシール - 点検および清掃、必要に応じて交換
ホイール - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
ボルト、ナット、ネジの締め付け - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
シリンダーの同期 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換
燃料パイプ - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

20,000 KM走行ごと、または24ヶ月ごと

作業
リアショックアブソーバー - 点検
スパークプラグ - 交換
リアサスペンションリンクエッジのベアリング - 点検および清掃、必要に応じて調整、交換

エアフィルター - 交換
エンジンオイルフィルター（オイルタンク内） - 清掃
冷却液 - 点検および補充
バルブクリアランス調整 - 調整
サスペンションと設定 - 点検および清掃、必要に応じて調整、潤滑または交換

24ヶ月ごと

作業

クラッチオイル - 交換
ブレーキオイル - 交換
冷却液 - 交換

4年ごと

作業

燃料パイプ - 交換

推奨品

製品	概要	特徴
AGIP TEC 4T、SAE 15W-50	エンジンオイル	CCMC G-4 API SG規格、SAE 15W-50の要件を満たしたトップブランドオイルを使用してください。

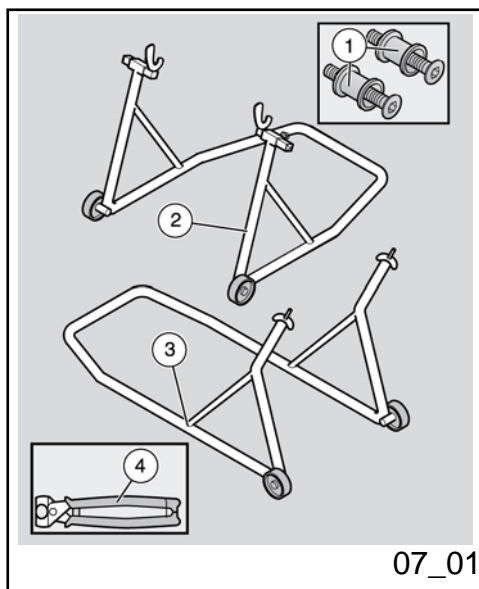
OHLINS 5W	Olio forcella	-
AGIP MP GREASE	ベアリング、ジョイント、カップリング、レバー用グリス	推奨品を使用しない場合は、ローラーベアリング用トップブランドグリスを使用してください。使用可能な温度範囲： -30° C...+140° C、滴点： 150° C...230° C、優れた耐腐食保護効果、液状、錆に強い。
AGIP CHAIN LUBE	推奨チェーンオイル	グリス
AGIP BRAKE 5.1、DOT 4	推奨ブレーキオイル	-
AGIP BRAKE 5.1、DOT 4	推奨クラッチオイル	-
AGIP COOL	推奨エンジン冷却液	

RSV1000 R – RSV1000 FACTORY

aprilia



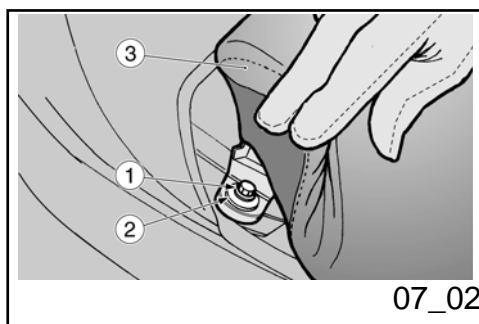
章 07
専用フィッティング



アクセサリ目次 (07_01)

各部名称：

1. リアサービススタンド用の固定具
2. リアサービススタンド
3. フロントサービススタンド
4. クリッククランプ用プライヤ



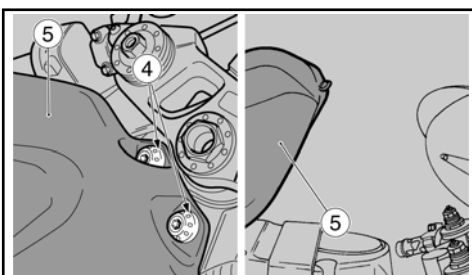
フロントフェアリング (07_02, 07_03, 07_04, 07_05, 07_06, 07_07, 07_08)

ライダーシートの取り外し

- 車両をスタンドで立てます。
- 両サイドからシートのリアサイドフラップの一部を持ち上げます。
- 両サイドからネジ (1) を回して外し、ブッシュ (2) を回収します。
- シートを持ち上げて外します。
- シートを取り付けるには、逆の手順で上記の作業を行います。

ネジ (1) の締め付けトルク： サービスステーションマニュアルをご覧ください。

警告



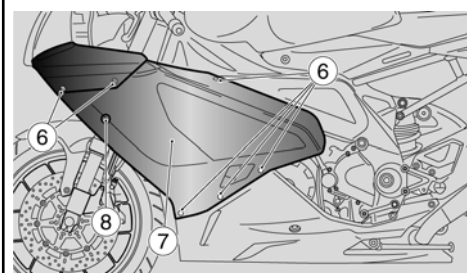
07_03

シートを取り付ける際は、シートの前部タブをスロットに差し込んでください。



始動前に、シートが正しい位置にロックされているか確認してください。

シートカバーはパッセンジャーシートの代わりに使用できます。ただし、シートカバーを取り付けた場合は、パッセンジャーを同乗させることはできません。パッセンジャーがシートカバーに乗ることは法で禁じられており、パッセンジャーが車両から落ちる可能性があります。



07_04

燃料タンクの持ち上げ

注意



火災の危険があります。

エンジンとマフラーを冷ましてください。

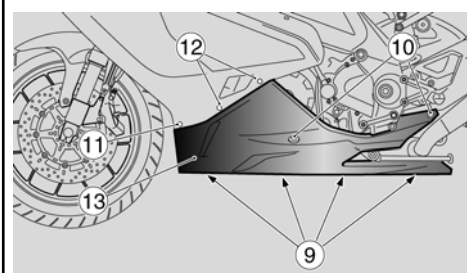
燃料ガスは健康に害を及ぼします。

作業を行う前に、換気のよい場所であるか確認してください。

燃料ガスを吸い込まないようにしてください。

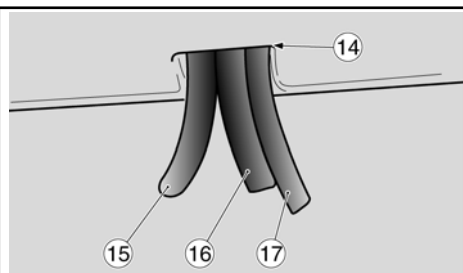
煙草を吸ったり、火気を近付けたりしないでください。

環境保護のため燃料は適切に処理してください。

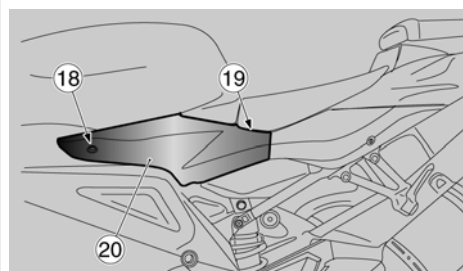


07_05

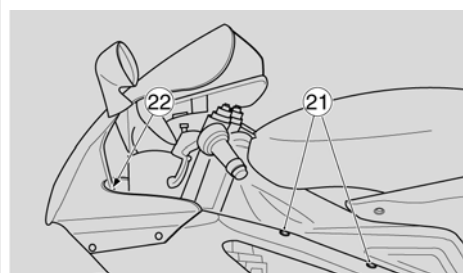
- ライダーシートを取り外します。
- サイドフェアリングを取り外します。
- 燃料タンク (5) を固定している2本の前部ネジ (4) を回して外します。
- 燃料タンク (5) を前部から持ち上げ、適切なスタンドを使用して持ち上げた状態で保持します。



07_06



07_07



07_08

サイドフェアリングの取り外し

注意

エンジンとマフラーを冷ましてください。

サイドスタンドがなくても十分に作業ができるようにスクーターを固定してください。

重要

プラスチック部品や塗装部品は注意して取り扱い、傷つけたり損傷しないようにしてください。

以下の作業は片方のサイドフェアリングに関するものですが、どちらのサイドフェアリングも作業は同じです。

- スクーターをスタンドで立てます。
- 7本のクイックリリーススクリューを緩めて外します。
- リベットを外して回収します。
- サイドフェアリングを取り外します。

下部フェアリングの取り外し

注意

エンジンとマフラーを冷ましてください。

サイドスタンドがなくても十分に作業ができるようにスクーターを固定してください。

重要

プラスチック部品や塗装部品は注意して取り扱い、傷つけたり損傷しないようにしてください。

- 4本のネジ (9) を回して外します。
- スクーターの両サイドから4本のネジ (10) を回して外します (左右各2本)。
- スクーターの両サイドから2本のクイックリリーススクリュー (11) を緩めます。
- スクーターの両サイドから4本のクイックリリーススクリュー (12) を緩めます。

- 下部フェアリング (13) を取り外します。

重要

フェアリングを取り付ける際、チューブ (15) (16) (17) を下部フェアリングの左側の穴 (14) に通して取り付けてください。

サイドフェアリングの取り外し

重要

プラスチック部品や塗装部品は注意して取り扱い、傷つけたり損傷しないようにしてください。

- ライダーシートを取り外します。
- ネジ (18) を回して外します。
- 前部ネジ (19) を回して外します。
- フェアリング (20) を取り外します。

重要

フェアリングを取り付ける際、後部タブの位置が正しいか確認してください。

もう一方のフェアリングを取り外すには、同じ作業を行ってください。

重要

パッセンジャーシートまたはシートカバーロックは、サイドフェアリングの一部とみなされています。

完全に取り外す必要がある場合は、フェアリング内側のロックからフレキシブルケーブルを外してください。

上部フェアリングのフロントロックの取り外し

以下の作業は片方のロックに関するものですが、どちらのロックも作業は同じです。

- 2本のネジ（21）を回して外します。
- 固定ネジ（22）を回して外します。
- サイドフェアリングを静かに引いて、ロックを外します。

重要

プラスチック部品や塗装部品は注意して取り扱い、傷つけたり損傷しないようにしてください。



サービスの役割

常に技術力の向上を図り、製品に応じた技術トレーニングを続けるaprilia正規サービスネットワークのメカニックは、この車両のすべてに精通し、正確なメンテナンスおよび修理に必要な専用工具を所有しています。

車両の信頼性は機能コンディションに基づきます。このためには乗車前の点検、推奨された間隔での適切なメンテナンス、aprilia純正部品の使用が重要となります。

最寄りの正規代理店やサービスセンターに関する情報については、イエローページをご覧になるか、または以下のaprilia公式ウェブサイトのマップで直接検索してください。

www.aprilia.com

車両の設計段階からすでに研究とテストが実施されている部品は、aprilia純正部品だけです。品質管理の下で製造されたすべてのaprilia純正部品は、完全な信頼性と長寿命を保証します。

この冊子に含まれる記述とイラストには法的拘束力はありません。本書の中で記述および図解されている諸元の基本的な部分を除き、apriliaは製品の改良に必要であると判断された場合や製造上の都合により、いつでも予告なしにコンポーネント、パーツ、アクセサリーに変更を加える権利を有します。

本書に記載されている製品の仕様は国によって異なる場合があります。実際に販売されている仕様については、aprilia正規販売代理店にお問い合わせください。

© Copyright 2006- aprilia. All rights reserved. 本書の全部もしくは一部を無断で複製することを禁じます。aprilia - アフターセールスサービス

apriliaの商標はPiaggio & C. S.p.A. に属します。

APRILIA WOULD LIKE TO THANK YOU

for choosing one of its products. We have drawn up this booklet to provide a comprehensive overview of your vehicle's quality features. Please read it carefully before riding the vehicle for the first time. It contains information, tips and precautions for using your vehicle. It also describes features, details and devices to assure you that you have made the right choice. We believe that if you follow our suggestions, you will soon get to know your new vehicle well and will use it for a long time at full satisfaction. This booklet is an integral part of the vehicle, and should the vehicle be sold, it must be transferred to the new owner.

RSV1000 R - RSV1000 FACTORY



The instructions in this booklet are intended to provide a clear, simple guide to using your vehicle. This booklet also details routine maintenance procedures and regular checks that should be carried out on the vehicle at an **authorised aprilia Dealer or Workshop**. The booklet also contains instructions for simple repairs. Any operations not specifically described in this manual require the use of special tools and/or particular technical knowledge: for these operations, please take your vehicle to an **authorised aprilia Dealer or Workshop**.



Personal safety

Failure to completely observe these instructions will result in serious risk of personal injury.



Safeguarding the environment

Sections marked with this symbol indicate the correct use of the vehicle to prevent damaging the environment.



Vehicle intactness

The incomplete or non-observance of these regulations leads to the risk of serious damage to the vehicle and sometimes even the invalidity of the guarantee.

The recommendations above are very important. They are used to highlight those parts of the booklet that should be read with particular care. As you can see, each sign consists of a different graphic symbol, making it quick and easy to locate the various topics. Before starting the engine, read this manual carefully, particularly the "SAFE RIDING" section. Your safety as well as other's does not only depend on the quickness of your reflexes and agility, but also on how well you know your vehicle, its efficiency and your knowledge of the rules for SAFE RIDING. For your safety, get to know your vehicle well so as to safely ride and master it in road traffic IMPORTANT This booklet is an integral part of the vehicle, and should the vehicle be sold, it must be transferred to the new owner.

RSV1000 R - RSV1000 FACTORY

aprilia



INDEX

INDEX

Chap. 01	General rules
Chap. 02	Vehicle
Chap. 03	Use
Chap. 04	Maintenance
Chap. 05	Technical data
Chap. 06	Programmed maintenance
Chap. 07	Special fittings

RSV1000 R - RSV1000 FACTORY

aprilia



Chap. 01
General rules

Foreword

NOTE

CARRY OUT MAINTENANCE OPERATIONS AT HALF THE INTERVALS SHOWN IF THE VEHICLE IS USED IN WET OR DUSTY AREAS, OFF ROAD OR FOR SPORTING APPLICATIONS.

Carbon monoxide

If you need to keep the engine running in order to perform a procedure, please ensure that you do so in an open or very well ventilated area. Never let the engine run in an enclosed area. If you do work in an enclosed area, make sure to use a smoke-extraction system.

CAUTION



EXHAUST EMISSIONS CONTAIN CARBON MONOXIDE, A POISONOUS GAS WHICH CAN CAUSE LOSS OF CONSCIOUSNESS AND EVEN DEATH.

Fuel

CAUTION



FUEL USED TO POWER INTERNAL COMBUSTION ENGINES IS HIGHLY FLAMMABLE AND CAN BECOME EXPLOSIVE UNDER SPECIFIC CONDITIONS. IT IS THEREFORE RECOMMENDED TO CARRY OUT REFUELLING AND MAINTENANCE PROCEDURES IN A VENTILATED AREA WITH THE ENGINE SWITCHED OFF. DO NOT SMOKE DURING REFUELLING AND NEAR FUEL VAPOURS, AVOIDING ANY CONTACT WITH NAKED

FLAMES, SPARKS OR OTHER SOURCES WHICH MAY CAUSE THEM TO IGNITE OR EXPLODE.

DO NOT DISPERSE FUEL IN THE ENVIRONMENT.

KEEP OUT OF THE REACH OF CHILDREN



VEHICLE FALL OR EXCESSIVE INCLINATION CAN CAUSE FUEL OUTFLOW.

Hot components

The engine and the exhaust system components get very hot and remain in this condition for a certain time interval after the engine has been switched off. Before handling these components, make sure that you are wearing insulating gloves or wait until the engine and the exhaust system have cooled down.

Warning lights



IF THE ALARM LED WARNING LIGHT AND THE "SERVICE" DIAGNOSIS ICON TURN ON DURING REGULAR ENGINE OPERATION, IT MEANS THAT THE ELECTRONIC CONTROL UNIT HAS DETECTED SOME FAILURE.

IN MANY CASES THE ENGINE CONTINUES TO WORK WITH LIMITED PERFORMANCE; IMMEDIATELY CONTACT AN OFFICIAL aprilia DEALER.

AFTER THE FIRST 1000 km (625 mi) AND THEN AFTER EVERY 10000 km (6250 mi), THE "SERVICE" ICON IS SHOWN ON THE RIGHT DISPLAY.

IF THIS OCCURS TAKE YOUR VEHICLE TO AN OFFICIAL aprilia DEALER TO CARRY

OUT THE MAINTENANCE OPERATIONS SPECIFIED IN THE PERIODIC MAINTENANCE CHART.



IF THE ALARM WARNING LIGHT AND THE ICON ON THE ENGINE OIL PRESSURE DISPLAY REMAINS ON, OR IF IT TURNS ON DURING ENGINE REGULAR OPERATION, IT MEANS THAT THE OIL PRESSURE IN THE CIRCUIT IS TOO LOW.



IN THIS CASE, CHECK THE ENGINE OIL LEVEL AND IF IT IS NOT CORRECT, STOP THE ENGINE IMMEDIATELY AND TOP UP.

CONTACT AN OFFICIAL *aprilia* DEALER TO HAVE THE CIRCUIT CHECKED.

Coolant

The coolant contains ethylene glycol which, under certain conditions, can become flammable. When ethylene glycol burns, it produces an invisible flame which can nevertheless cause burns.

CAUTION



PAY ATTENTION NOT TO POUR COOLANT ON HOT ENGINE OR EXHAUST SYSTEM COMPONENTS; IT MAY CATCH FIRE PRODUCING INVISIBLE FLAMES. WHEN CARRYING OUT MAINTENANCE OPERATIONS, IT IS ADVISABLE TO WEAR LATEX GLOVES. EVEN IF IT IS TOXIC, THE COOLANT HAS A SWEET FLAVOUR WHICH MAKES IT VERY ATTRACTIVE TO ANIMALS. NEVER LEAVE THE COOLANT IN OPEN CONTAINERS IN AREAS ACCESSIBLE TO ANIMALS AS THEY MAY DRINK IT.

KEEP OUT OF THE REACH OF CHILDREN

DO NOT REMOVE THE RADIATOR CAP WHEN THE ENGINE IS STILL HOT. THE COOLANT IS UNDER PRESSURE AND MAY CAUSE BURNS.

Used engine oil and gearbox oil

CAUTION



IT IS ADVISABLE TO WEAR LATEX GLOVES WHEN SERVICING THE VEHICLE. THE ENGINE OR TRANSMISSION OIL MAY CAUSE SERIOUS DAMAGE TO THE SKIN IF HANDLED FOR PROLONGED PERIODS OF TIME AND ON A REGULAR BASIS. WASH YOUR HANDS THOROUGHLY AFTER HANDLING IT. HAND THE OIL OVER TO OR HAVE IT COLLECTED BY THE NEAREST USED OIL RECYCLING COMPANY OR THE SUPPLIER. IT IS ADVISABLE TO WEAR LATEX GLOVES WHEN SERVICING THE VEHICLE.

DO NOT DISPOSE OF OIL IN THE ENVIRONMENT

KEEP OUT OF THE REACH OF CHILDREN

Brake and clutch fluid

Brake and clutch fluid



THE BRAKE AND CLUTCH FLUIDS CAN DAMAGE THE PLASTIC OR RUBBER PAINTED SURFACES. WHEN SERVICING THE BRAKING SYSTEM OR THE CLUTCH SYSTEM PROTECT THESE COMPONENTS WITH A CLEAN CLOTH. ALWAYS WEAR

PROTECTIVE GOGGLES WHEN SERVICING THE SYSTEMS. BRAKE AND CLUTCH FLUIDS ARE EXTREMELY HARMFUL FOR YOUR EYES. IN THE EVENT OF ACCIDENTAL CONTACT WITH THE EYES, RINSE THEM IMMEDIATELY WITH ABUNDANT COLD, CLEAN WATER AND SEEK MEDICAL ADVICE.

KEEP OUT OF THE REACH OF CHILDREN

Battery hydrogen gas and electrolyte

CAUTION



THE BATTERY ELECTROLYTE IS TOXIC, CORROSIVE AND AS IT CONTAINS SULPHURIC ACID, IT CAN CAUSE BURNS WHEN IN CONTACT WITH THE SKIN. WHEN HANDLING THE BATTERY ELECTROLYTE, WEAR TIGHT-FITTING GLOVES AND PROTECTIVE APPAREL. IF THE FLUID GETS INTO CONTACT WITH THE SKIN, RINSE WELL WITH ABUNDANT FRESH WATER. IT IS EXTREMELY IMPORTANT TO PROTECT THE EYES BECAUSE EVEN A SMALL QUANTITY OF BATTERY ACID CAN CAUSE BLINDNESS. IF THE FLUID GETS INTO CONTACT WITH THE EYES, WASH WITH ABUNDANT WATER FOR FIFTEEN MINUTES AND CONSULT AN EYE SPECIALIST IMMEDIATELY. IF THE FLUID IS ACCIDENTALLY SWALLOWED, DRINK LARGE QUANTITIES OF WATER OR MILK, FOLLOWED BY MILK OF MAGNESIA OR VEGETABLE OIL AND SEEK MEDICAL ADVICE IMMEDIATELY. THE BATTERY RELEASES EXPLOSIVE GASES; KEEP IT AWAY FROM FLAMES, SPARKS, CIGARETTES OR ANY OTHER HEAT SOURCES. ENSURE ADEQUATE VENTILATION WHEN SERVICING OR RECHARGING THE BATTERY.

KEEP OUT OF THE REACH OF CHILDREN

BATTERY LIQUID IS CORROSIVE. DO NOT POUR IT OR SPILL IT, PARTICULARLY ON PLASTIC COMPONENTS. ENSURE THAT THE ELECTROLYTIC ACID IS COMPATIBLE WITH THE BATTERY TO BE ACTIVATED.

Stand



BEFORE RIDING, MAKE SURE THE STAND HAS BEEN COMPLETELY RETRACTED TO ITS POSITION.

DO NOT REST THE RIDER OR PASSENGER WEIGHT ON THE SIDE STAND.

Reporting of defects that affect safety

GENERAL PRECAUTIONS AND INFORMATION

When repairing, dismantling and reassembling the vehicle follow the recommendations reported below carefully.

BEFORE REMOVING COMPONENTS

- Before dismantling components, remove dirt, mud, dust and foreign bodies from the vehicle. Use the special tools designed for this bike, as required.

REMOVAL OF COMPONENTS

- Do not loosen and/or tighten screws and nuts using pliers or other tools than the especially designed wrench.
- Mark positions on all connection joints (pipes, cables etc.) before separating them, and identify them with distinctive symbols.
- Each component needs to be clearly marked in order to be identified during reassembly.
- Clean and wash the dismantled components carefully using a low-flammability detergent.
- Keep coupled parts together since they have "adjusted" to each other due to normal wear and tear.
- Some components must be used together or replaced altogether.
- Keep away from heat sources.

REASSEMBLY OF COMPONENTS

CAUTION

THE BEARINGS MUST BE ABLE TO ROTATE FREELY, WITHOUT BINDING AND/OR NOISE, OTHERWISE THEY NEED REPLACING.

- Only use ORIGINAL APRILIA SPARE PARTS.
- Comply with lubricant and consumables usage guidelines.
- Lubricate parts (whenever possible) before reassembling them.
- When tightening nuts and screws, start from the ones with the largest section or from the internal ones, moving diagonally. Tighten nuts and screws in successive steps before applying the tightening torque.
- Always replace self-locking nuts, washers, sealing rings, circlips, O-rings(OR), split pins and screws with new ones if their tread is damaged.
- When assembling the bearings, make sure to lubricate them well.
- Check that each component is assembled correctly.
- After a repair or routine maintenance procedure, carry out pre-ride checks and test the vehicle on private grounds or in an area with low traffic density.
- Clean all junction planes, oil guard rims and washers before refitting them. Smear a light layer of lithium-based grease on the oil guard rims. Reassembly the oil guard and the bearings with the brand or lot number facing outward (visible side).

ELECTRIC CONNECTORS

Electric connectors must be disconnected as described below; failure to comply with this procedure causes irreparable damages to both the connector and the cable harness:

Press the relevant safety hooks, if any.

- Grip the two connectors and disconnect them by pulling them in opposite directions.
- If there are signs of dirt, rust, humidity, etc., clean the connector internal parts care-

fully using a pressurised air jet.

- Make sure that the cables are correctly linked to the connector internal terminal ends.
- Then insert the two connectors making sure that they couple correctly (if the relevant hooks are provided, you will hear them "click" into place).

CAUTION

TO DISCONNECT THE TWO CONNECTORS, DO NOT PULL THE CABLES.

NOTE

THE TWO CONNECTORS CONNECT ONLY FROM ONE SIDE: CONNECT THEM THE RIGHT WAY ROUND.

TIGHTENING TORQUE

CAUTION

DO NOT FORGET THAT TIGHTENING TORQUES OF ALL FASTENING ELEMENTS ON WHEELS, BRAKES, WHEEL PINS AND ANY OTHER SUSPENSION COMPONENTS PLAY A KEY ROLE IN ENSURING VEHICLE SAFETY AND MUST COMPLY WITH SPECIFIED VALUES. CHECK THE TIGHTENING TORQUES OF FASTENING PARTS ON A REGULAR BASIS AND ALWAYS USE A TORQUE WRENCH TO REASSEMBLE THESE COMPONENTS. FAILURE TO COMPLY WITH THESE RECOMMENDATIONS MAY CAUSE ONE OF THESE COMPONENTS TO GET LOOSE AND EVEN DETACHED, THUS BLOCKING A WHEEL, OR OTHERWISE COMPROMISE VEHICLE HANDLING. THIS CAN LEAD TO FALLS, WITH THE RISK OF SERIOUS INJURY OR DEATH.

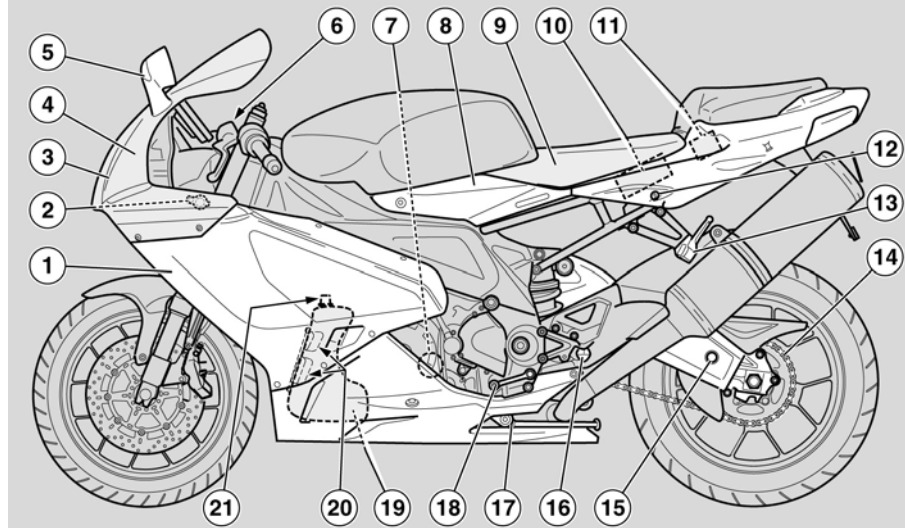
1 General rules

RSV1000 R - RSV1000 FACTORY

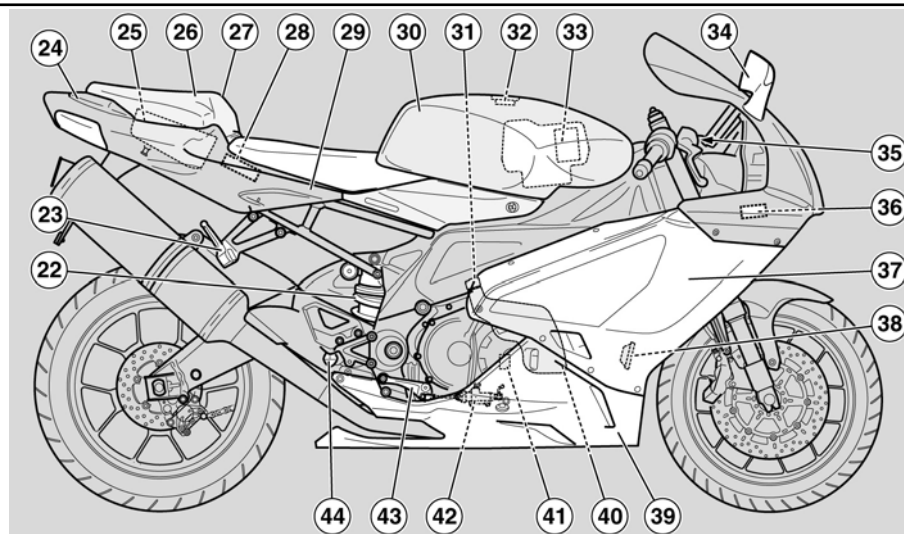
aprilia



Chap. 02
Vehicle



02_01



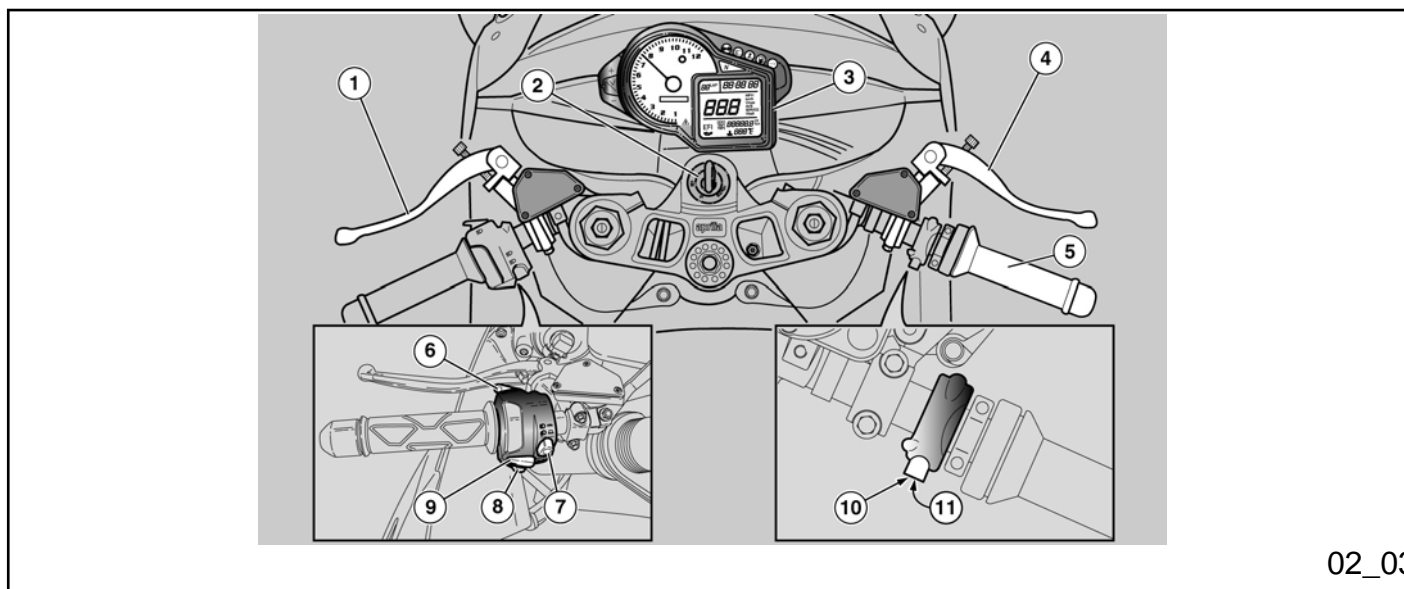
02_02

Arrangement of the main components (02_01, 02_02)

Key:

1. Left side fairing
2. Adjustable steering damper (Factory)
3. Left front headlight
4. Clutch lever fluid reservoir
5. Left rear-view mirror
6. Clutch lever fluid reservoir
7. Engine oil filter
8. Left side fairing
9. Rider saddle
10. Battery

11. Main fuse box (30 A)
12. Passenger saddle lock - glove-box / toolkit compartment
13. Left passenger footrest (snap-on, closed / open)
14. Drive chain
15. Rear fork
16. Rider left footrest
17. Side stand
18. Gear shift lever
19. Engine oil reservoir
20. Engine oil level
21. Engine oil reservoir cap
22. Rear shock absorber
23. Right passenger footrest (snap-on, closed / open)
24. Rear light
25. Glove-box / toolkit compartment
26. Passenger saddle (glove-box / toolkit compartment lock)
27. Passenger seat strap
28. Electronic control unit
29. Right side fairing
30. Fuel tank
31. Coolant expansion tank cap
32. Fuel tank cap
33. Air filter
34. Right rear-view mirror
35. Front brake fluid reservoir
36. Secondary fuse box (15A)
37. Right side fairing
38. Horn
39. Lower fairing
40. Expansion tank
41. Rear brake fluid reservoir
42. Rear brake pump
43. Rear brake control lever
44. Rider right footrest



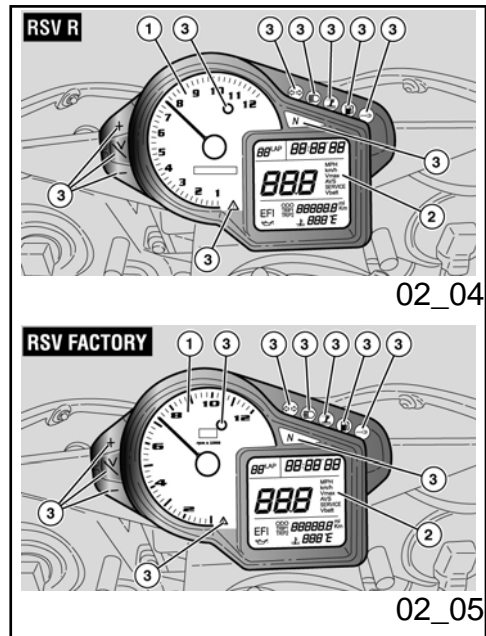
02_03

Dashboard (02_03)

Key:

1. Clutch lever
2. Ignition switch/ steering lock
3. Instruments and gauges
4. Front brake lever
5. Throttle grip
6. High-beam flashing/ LAP (multifunction) button
7. Light switch

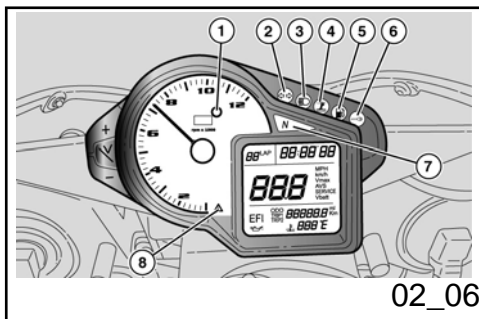
- 8. Turn indicator switch
- 9. Horn button
- 10. Starter button
- 11. Engine stop switch



Analog instrument panel (02_04, 02_05)

Key:

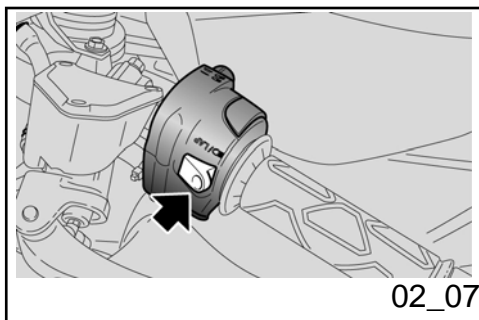
- 1. Rpm indicator
- 2. Multifunction digital display (coolant temperature - clock - battery voltage - chronometer - diagnosis - engine oil pressure)
- 3. Warning lights



Light unit (02_06)

Key:

1. Red overrevving warning light
2. Turn indicator warning light (green)
3. High-beam warning light (blue)
4. Side stand down warning light (amber yellow)
5. Low fuel warning light (amber yellow)
6. Immobilizer warning light (red) (if the immobilizer device is installed)
7. Gear in neutral warning light (green)
8. General warning light (red)



Setting the chronometer function (02_07, 02_08)

START TIMEKEEPING

- press the "LAP" button and release it immediately.
- Timekeeping starts the first time the button is pressed. If the "LAP" button is pressed again within 10 seconds after starting timekeeping, the chronometer is reset.

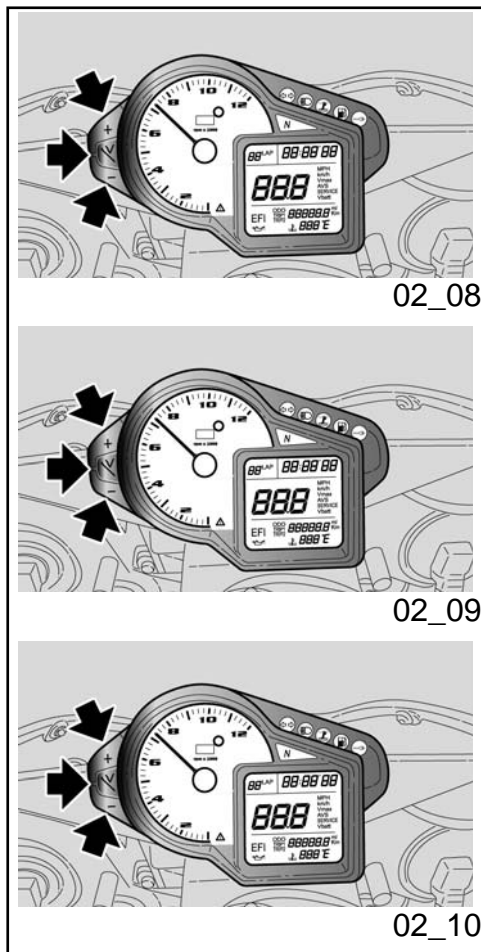
When the "LAP" button is pressed again, which starts timekeeping once more, the time record and the lap number are stored and displayed for 10 seconds at the top to the left.

After 10 seconds the chronometer will display the time for the second lap and its relative identification number.

NOTE

A MAXIMUM OF 40 TIMES CAN BE STORED; ONCE THIS NUMBER IS REACHED, WHEN THE "LAP" BUTTON IS PRESSED, NO MORE TIMES CAN BE STORED AND THE 40 STORED RECORDS ARE AUTOMATICALLY DISPLAYED.

THE 40 TIMES STORED SHOULD BE DELETED TO RESET THE CHRONOMETER FUNCTION.



The chronometer measures the time per lap when the scooter is on the track and stores the data, which can be consulted afterwards.

When the "CHRONOMETER" function is used, the "clock" function cannot be called:

TO ACTIVATE THE CHRONOMETER FUNCTION:

- hold down the "LAP" button and press "TRIP/V" for more than 3 seconds. Instead of the clock, "01 LAP 00'00"00" is displayed.

TO DEACTIVATE THE CHRONOMETER FUNCTION:

- hold down the "LAP" button and press "TRIP/V" for more than 3 seconds. The display will show the clock again.

MEMORY RESET

Activate the chronometer function.

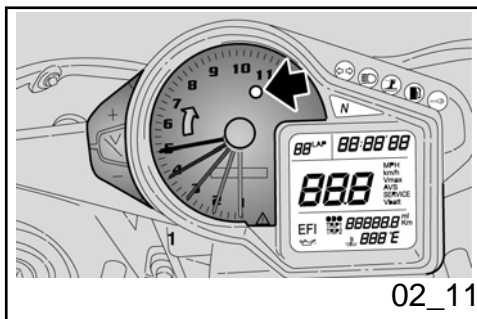
Hold down the LAP button and press the "-" key for at least 3 seconds.

When the display shows "01 LAP 00'00"00", it indicates that the 40-time memory has been reset.

The stored times are deleted and lost when the battery is removed.

VIEW STORED TIMES

- Activate the chronometer function
- Press "TRIP/V" for more than 3 seconds. Scroll times with the "+" (forward) and "-" (back) keys.
- To return to the chronometer function press "TRIP/V" again for more than 3 seconds.



Control buttons (02_09)

By turning the ignition key to KEY ON, the following indicators on the instrument panel are lit for three seconds:

- All the segments on the multifunction digital display
- All the warning lights
- Backlighting

The rpm indicator pointer reaches the gear shift value (rpm), programmed to go immediately after back to the scale start.

After the initial check, all instruments immediately show the current value of the measurements detected.

NOTE

IF THE INSTRUMENT PANEL SHOWS "ERR" FLASHING INSTEAD OF THE WATER TEMPERATURE AND THE STAND AND OVERREVING WARNING LIGHTS ARE LIT, IT MEANS THAT THERE IS A COMMUNICATION PROBLEM ON THE CAN LINE BETWEEN THE INSTRUMENT PANEL AND THE ENGINE CONTROL UNIT. TAKE THE SCOOTER TO YOUR DEALER.

With the ignition key set to "KEY ON", the standard settings displayed are:

- Current speed
- Clock or chronometer
- Coolant temperature
- Odometer

Use the '+', '-', 'TRIP/V' keys to scroll options in the screens.

Advanced functions (02_10, 02_11)

METRICATION (km-mil, km/h-MPH, °C-°F)

- To shift the units of measurement- km, mi, km/h and MPH-, press the "TRIP/V" and "-" buttons simultaneously for more than 15 sec.
- To shift the temperature units- °C and °F-, press the "TRIP/V" and "+" buttons simultaneously for more than 15 sec.

VIEW CURRENT, MAXIMUM AND AVERAGE SPEEDS AND BATTERY VOLTAGE

- Average and maximum speed and battery voltage are only shown with the scooter at a standstill. While riding, only the current speed is displayed.
- Turn the ignition key to 'KEY ON' and the display shows the current speed. Press the "+" key to see maximum (V max.) or average (AVS) speeds and battery voltage.
- To reset the maximum (V max.) and average (AVS) speed values, display these values and press the "-" key for at least 3 seconds.

NOTE

MAXIMUM AND AVERAGE SPEED VALUES REFER TO THE DISTANCE TRAVELLED AFTER THE LAST RESET OF THESE VALUES.

The battery voltage value, expressed in volt, cannot be modified; it provides an indication about the battery working status.

The recharge circuit works properly if at 4000 rpm; battery voltage is between 13 and 15 Volt with low-beam light on.

- Panel lighting adjustment: Panel backlight intensity can be adjusted to 3 levels (30%, 70%, 100%); by pressing the "-" key, the intensity can be adjusted only within 5

seconds after turning the key to 'KEY ON' .

VIEW TOTAL ODOMETER AND TRIP ODOMETER (KM / MI) (TRIP 1 AND TRIP 2)

Turn the ignition key to "2" and the display shows the total ODOMETER. In order to view the trip odometer (km/mi) (TRIP 1 and TRIP 2) press the Trip/V key.

To reset the trip odometer (km/mi) TRIP 1 value, view that value and press the "Trip/V" key for at least 3 seconds.

To reset the trip odometer (km/mi) TRIP 2 value, display that value and press the "Trip/V" key for at least 3 seconds.

NOTE

THE COUNT OF PARTIAL DISTANCES COVERED REFERS TO THAT DISTANCE TRAVELLED AFTER THE LAST RESET OF THESE VALUES.

- The distances stored by Trip 1 and Trip 2 are deleted and lost when the battery is removed.

VIEW COOLANT TEMPERATURE

- The coolant temperature display shows "---" when the sensor detects temperatures below 34°C (93°F).
- The display shows a fixed value to indicate the actual temperature when the sensor detects temperatures between 35°C (95°F) and 114°C (237°F);
- The display shows a flashing value when the temperature is between 115° C (239° F) and 135°C (275°F). The warning light is also lit to indicate the danger area.
- The display value 135°C (275°F) also flashes when the temperature exceeds such value (always with warning light on).

CAUTION

IF THE COOLANT TEMPERATURE SENSOR IS DISCONNECTED OR DAMAGED, THE ERROR INDICATOR WARNING LIGHT ON THE INSTRUMENT PANEL TURNS ON AND THE TEMPERATURE CANNOT BE MEASURED. IF THIS OCCURS, CONTACT AN OFFICIAL aprilia DEALER.

Thermometer reading range on the display is between 35°C (95°F) and 135°C (275°F).

DIGITAL CLOCK SETTING

The digital clock is shown on the top section of the display.

The clock is only shown when the key is set to 'KEY ON'.

NOTE

THE CLOCK CAN ONLY BE ADJUSTED WHEN THE KEY IS SET TO 'KEY ON' AND THE VEHICLE IS STOPPED.

HOURLY SETTING

- Press the "+" e "-" keys simultaneously for at least 3 seconds until the hour digits flash.
- Use the "+" e "-" keys until the desired value is seen.
- If an adjustment key is held down, the hour value increases/decreases by one.
- Press the "TRIP/V" key for at least three seconds to confirm the hour setting. The clock will automatically shift to the minute adjustment function.

MINUTE SETTING

- Press the "+" e "-" keys and the minute value increases/decreases by one.

Hold down the key and the minute value automatically increases/decreases 1 minute.

- Press the "TRIP/V" key for at least 3 seconds until the minute digits stop flashing, which confirms the set value.
- The clock setting will be deleted and lost when the battery is removed.

DIAGNOSIS

Each time the ignition switch is set to 'KEY ON' the word "EFI" is shown for about three seconds.

CAUTION

IF THE WORD "EFI" IS SHOWN AND THE WARNING LIGHT ALSO TURNS ON DURING REGULAR ENGINE OPERATION, THIS MEANS THAT THE ELECTRONIC CONTROL UNIT HAS DETECTED A PROBLEM.

IN MANY CASES THE ENGINE CONTINUES TO WORK WITH LIMITED PERFORMANCE; IMMEDIATELY CONTACT AN aprilia OFFICIAL DEALER.

ENGINE OIL PRESSURE

Each time the ignition switch is turned to 'KEY ON' the engine oil pressure warning light is shown for about three seconds.

CAUTION

IF THE ENGINE OIL PRESSURE WARNING LIGHT REMAINS ON WHEN THE WARNING LIGHT TURNS ON, AFTER START-UP, OR IF IT TURNS ON DURING REGULAR ENGINE OPERATION, THIS MEANS THAT THE ENGINE OIL PRESSURE IN THE CIRCUIT IS TOO LOW.

IF THIS OCCURS, STOP THE ENGINE AT ONCE AND CONTACT AN OFFICIAL aprilia DEALER.

OVERREVING THRESHOLD ADJUSTMENT (ONLY WITH ENGINE OFF)

When the maximum pre-set revolutions are exceeded, the (pink) overrevving warning light on the instrument panel flashes.

NOTE

THE OVERREVING IGNITION THRESHOLD CAN BE SET IN A RANGE BETWEEN 2000 AND 11000 RPM ONLY WITH ENGINE OFF AND ODOMETER DISPLAYED.

The default set value is 6000 rpm.

To view the pre-set overrevving value press the "Trip/v" button for at least 3 seconds. The rpm indicator needle will indicate the set overrevving value for 3 seconds.

To adjust:

Turn the ignition key to 'KEY ON'.

Wait for the instrument panel initial check.

Press the "Trip/V" button for at least three seconds: the rpm indicator needle will indicate the set overrevving value.

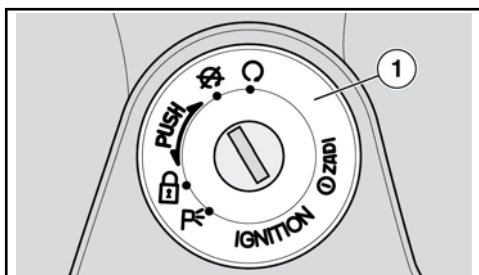
Overrevving can be adjusted during the three seconds the rpm indicator needle is pointing the overrevving value.

Modify the overrevving value with the "+" button: press and release it to increase by 100 rpm; press and hold it to increase by 1000 rpm.

When the needle reaches the end of the scale (12000 rpm), it automatically goes back to zero.

Three seconds after the last adjustment with the "+" key, the new ignition threshold is stored and confirmed when the overrevving warning light turns on for three seconds while the needle comes back to zero.

If during adjustment the engine is started, the last set value remains. The set value is deleted and lost if the battery is removed during the adjustment. The last set value remains.



02_12



02_13

Ignition switch (02_12)

The ignition switch (1) is located on the headstock upper plate.

The vehicle is supplied with two keys (one is the spare key).

The lights go off when the ignition switch is set to «OFF».

NOTE

THE KEY ACTIVATES THE IGNITION SWITCH/ STEERING LOCK.

NOTE

THE LIGHTS TURN ON AUTOMATICALLY UPON THE ENGINE START-UP.

LOCK: The steering is locked. It is not possible to start the engine or switch on the lights. It is possible to remove the key

OFF: The engine and lights cannot be set to work. The key can be extracted.

ON: The engine can be started. It is impossible to remove the key

PARKING: The steering is blocked. The engine cannot be started. The tail light of the front and rear headlamps are activated. The ignition key can be extracted. Once the key has been extracted, the immobilizer system is active (if present).

Locking the steering wheel (02_13)

To block the steering:

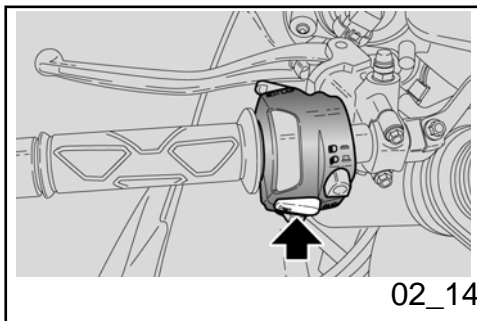
- Turn the handlebar completely to the left.

- Turn the key to «**OFF**».
- Push in the key and turn it anticlockwise (to the left), steer the handlebar slowly until the key is set to «**LOCK**».
- Remove the key.

CAUTION

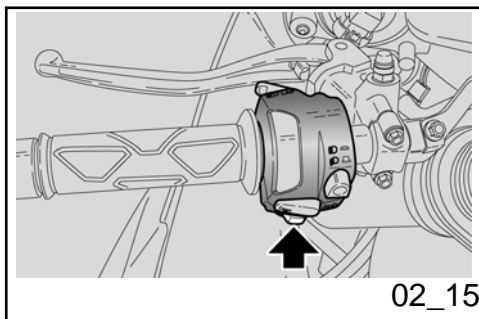


AVOIDING LOSING CONTROL OF THE VEHICLE, NEVER TURN THE KEY TO "LOCK" WHILE RIDING.



Horn button (02_14)

Press it to activate the horn.

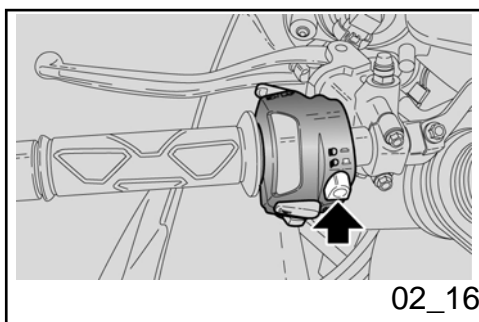


Switch direction indicators (02_15)

Move the switch to the left, to indicate a left turn; move the switch to the right, to indicate a right turn. Pressing the switch deactivates the turn indicator.

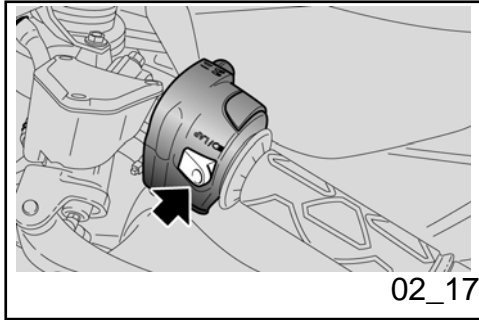
CAUTION

IF THE WARNING LIGHT WITH ARROWS FLASHES QUICKLY, IT MEANS THAT ONE OR BOTH TURN INDICATORS LIGHT BULBS ARE BURNT OUT.



High/low beam selector (02_16)

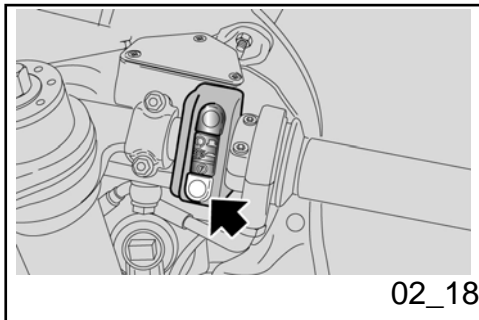
Pressing the light switch turns on the high-beam light; pressing it again turns on the low-beam light.



Passing button (02_17)

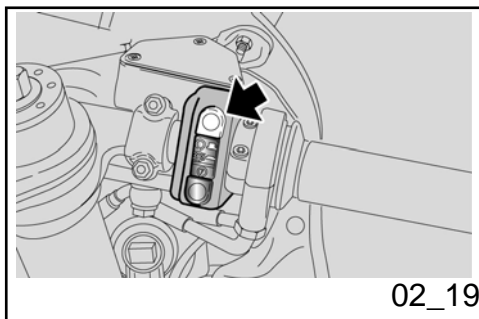
Uses the high-beam flash in case of danger or emergency.

Releasing the switch deactivates the high-beam flash.



Start-up button (02_18)

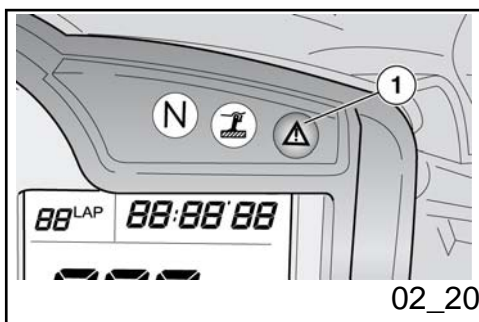
Press the button and the starter motor spins the engine.



Engine stop switch (02_19)

It acts as an engine cut-off or emergency stop switch.

Press this switch to stop the engine.



Operation (02_20)

In order to enhance theft protection, the scooter is equipped with an electronic immobilizer system that is activated automatically when the ignition key is extracted.

Keep the second key in a safe place since it is not possible to make a copy if it gets lost.

This would imply replacing numerous parts of the vehicle (besides the locks).

Each key in the grip has an electronic device - transponder - which modulates the radio frequency signal emitted by a special aerial inside the switch when the vehicle is started.

The modulated signal is the "password" by which the appropriate central unit recognises the key and only after this occurs, it allows the engine start-up.

CAUTION

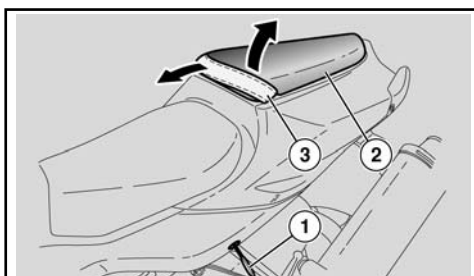
THE IMMOBILIZER SYSTEM CAN STORE UP TO FOUR KEYS.

DATA STORAGE CAN ONLY BE PERFORMED AT THE DEALER'S, WITH THE MASTER KEY.

DATA STORAGE PROCEDURE CANCELS THE EXISTING CODES. THEREFORE, IF A CUSTOMER WANTS TO PROGRAM SOME NEW KEYS, S/HE SHOULD GO TO THE DEALER TAKING ALL THE KEYS S/HE WANTS TO ENABLE.

The immobilizer operation mode is indicated by a warning light (1) placed on the instrument panel:

- Immobilizer disabled, warning light off.
- Immobilizer enabled, flashing warning light.
- Key not recognised, quick flashing.



02_21

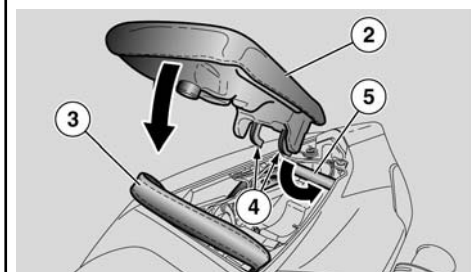
Opening the saddle (02_21, 02_22)

- Rest the vehicle on its stand.
- Insert the key (1) in the lock.
- Turn the key (1) anticlockwise.
- Lift and slide off the saddle (2) from the front.

There is a useful glove-box / toolkit compartment in the vehicle tail section. To get access to it remove the saddle (2).

To lock the saddle (2):

- Insert the hooks in the saddle rear part under the bolt for the rear tubular holder.
- Position the glove-box / toolkit compartment (2) lock correctly.
- Exert some pressure so that the lock trips.



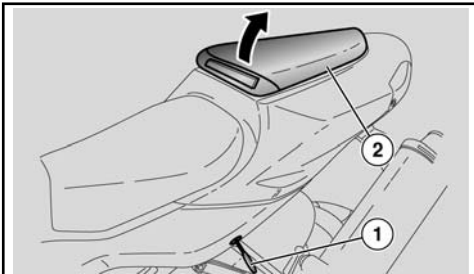
02_22

Glove/tool kit compartment (02_23, 02_24, 02_25)

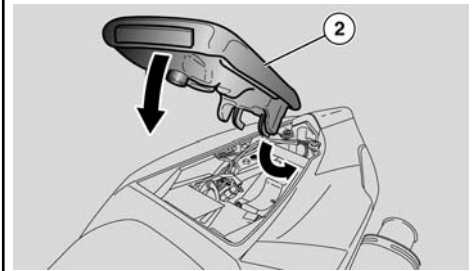
- Rest the vehicle on its stand.
- Insert the key (1) in the lock.
- Turn the key (1) anticlockwise.
- Lift and slide off the saddle (2) from the front.

There is a useful glove-box / toolkit compartment in the vehicle tail section. To get access to it remove the saddle (2).

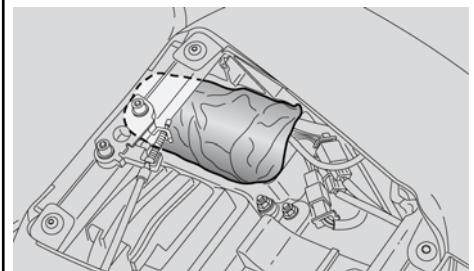
To lock the saddle (2):



02_23



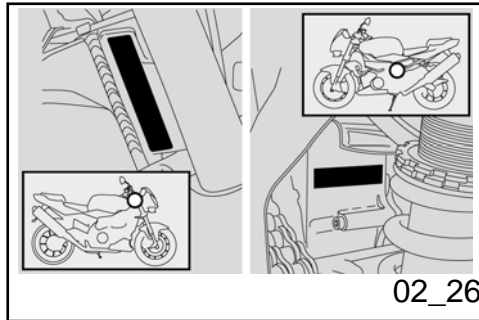
02_24



02_25

- Insert the hooks in the saddle rear part under the bolt for the rear tubular holder.
- Position the glove-box / toolkit compartment (2) lock correctly.
- Exert some pressure so that the lock trips.

2 Vehicle



Identification (02_26)

Write down the chassis and engine number in the specific space of this booklet. The chassis number is handy when purchasing spare parts.

CAUTION



ALTERING IDENTIFICATION NUMBERS IS AN OFFENCE WHICH CAN RESULT IN SEVERE CRIMINAL AND ADMINISTRATIVE CHARGES. PARTICULARLY MODIFYING THE CHASSIS NUMBER WILL IMMEDIATELY INVALIDATE THE WARRANTY.

CHASSIS NUMBER

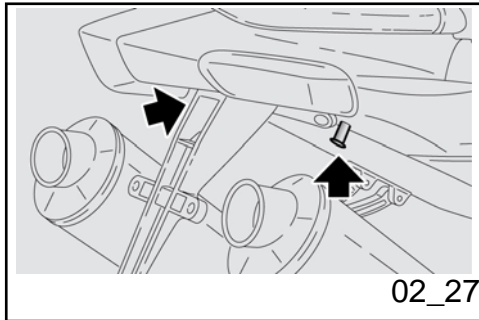
The chassis number is stamped on the right side of the headstock.

Chassis No.

ENGINE NUMBER

The engine number is printed on the base of the left side engine crankcase.

Engine No.



Luggage anchor point (02_27)

A small piece of luggage can be fastened on the rear part of the saddle using the elastic straps that are secured to the 4 anchoring hooks (2 per side).

Maximum weight allowed: 9 kg (19.8 pounds).

CAUTION

CARRY ONLY LUGGAGE WITH ADEQUATE DIMENSIONS AND SECURE IT FIRMLY.

2 Vehicle

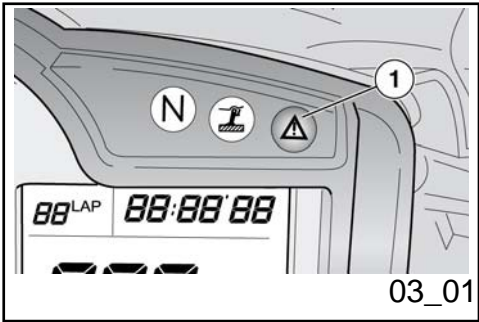
2 Vehicle

RSV1000 R - RSV1000 FACTORY

aprilia



Chap. 03
Use



Checks (03_01)

CAUTION



BEFORE RIDING, ALWAYS PERFORM A PRELIMINARY CHECK OF THE SCOOTER FOR CORRECT AND SAFE OPERATION. FAILURE TO DO SO MAY LEAD TO SEVERE PERSONAL INJURIES OR VEHICLE DAMAGE. DO NOT HESITATE TO CONTACT AN aprilia Official Dealer IF YOU DO NOT UNDERSTAND HOW SOME CONTROLS WORK OR IF A MALFUNCTION IS DETECTED OR SUSPECTED. THE TIME REQUIRED TO CARRY OUT A CHECK IS EXTREMELY SHORT AND THIS RESULTS IN SIGNIFICANTLY ENHANCED SAFETY.

This vehicle has been programmed to indicate in real time any operation failure stored in the electronic control unit memory.

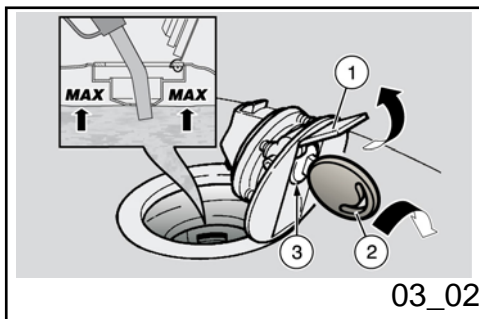
Every time the ignition switch is turned to "KEY ON", the alarm LED warning light turns on for about three seconds on the instrument panel.

PRE-RIDE CHECKS

Specification	Desc./Quantity
Front and rear disc brake	Check for proper operation. Check brake lever empty travel and brake fluid level. Check for leaks. Check brake pads for wear. If necessary top-up with brake fluid.
Throttle grip	Check it functions smoothly and

	that it can be fully opened and closed at all steering positions. Adjust and/or lubricate if necessary.
Engine oil	Check and/or top up as required.
Wheels/tyres	<p>Check that tyres are in good conditions. Check inflation pressure, tyre wear and potential damage.</p> <p>Remove any possible strange body that might be stuck in the tread design.</p>
Brake levers	<p>Check they function smoothly.</p> <p>Lubricate the joints and adjust the travel if necessary.</p>
Clutch	<p>Check for proper operation.</p> <p>Check clutch lever free play and fluid level. Check for leaks. If needed, top-up the fluid; the clutch must work without gripping and/or sliding.</p>
Steering	Check that the rotation is homogeneous, smooth and there are no signs of clearance or slackness.
Centre - side stand	Check it works properly. Check that there is no friction when the

	<p>side stand is pulled up and down and that the spring tension makes it snap back to its rest position. Lubricate couplings and joints if necessary. Check the safety switch for correct operation.</p>
Clamping	<p>Check that the clamping elements are not loose.</p> <p>Adjust or tighten them as required.</p>
Fuel tank	<p>Check the coolant level and refill if necessary.</p> <p>Check the circuit for potential leaks or obstructions.</p> <p>Check that the tank cover closes correctly.</p>
Engine stop switch (ON - OFF)	<p>Check for its correct operation.</p>
Lights, warning lights, horn, rear stop light switch and electrical devices	<p>Check the correct operation of the horn and lights. Replace the bulbs or repair any malfunctions.</p>



Refuelling (03_02)

To refuel:

- Lift the cover (1).
- Insert the key (2) in the lock of the fuel tank cap (3).
- Turn the key clockwise, pull it and open the fuel tank cap lid.

Fuel tank capacity (including reserve): **18 litres**

Fuel tank reserve: **4 litres**

- Refuel.

CAUTION



DO NOT ADD ADDITIVES OR ANY OTHER SUBSTANCES TO THE FUEL.

WHEN USING A FUNNEL OR ANY OTHER ELEMENT, MAKE SURE IT IS PERFECTLY CLEAN.



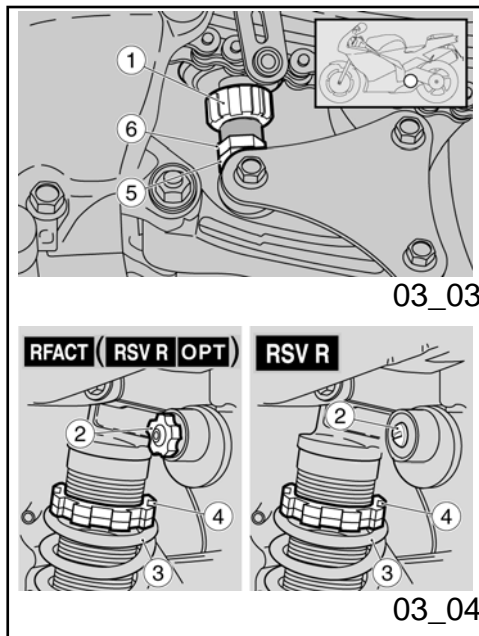
DO NOT FILL THE TANK UP TO THE RIM; FUEL MAXIMUM LEVEL MUST ALWAYS BE BELOW THE LOWER EDGE OF THE FILLER NECK (SEE FIGURE).

after refuelling:

- The cap can only be closed if the key (2) is inserted.
- Once the key (2) is inserted, press to close the cap again.
- Remove the key (2).
- Close the cover (1) again.



MAKE SURE THE CAP IS TIGHTLY CLOSED.



Rear shock absorbers adjustment (03_03, 03_04, 03_05)

The rear suspension consists of a spring-shock absorber unit linked to the frame via uniball joints and to the rear fork via a linkage system.

To adjust the setting, the shock absorber is fitted with a ring nut (1) to adjust hydraulic rebound damping, a knob to adjust the spring (2) preloading and a locking ring nut (3).

NOTE

THE SCOOTER REAR HEIGHT CAN BE ADJUSTED TO PERSONALISE THE SUSPENSION SETTING.

CAUTION

CARRY OUT THE MAINTENANCE OPERATIONS AT HALF THE INTERVALS SPECIFIED IF THE VEHICLE IS USED IN WET OR DUSTY AREAS, OFF ROAD OR FOR SPORTING APPLICATIONS.

CHECK THE REAR SHOCK ABSORBER AND ADJUST IT IF REQUIRED.

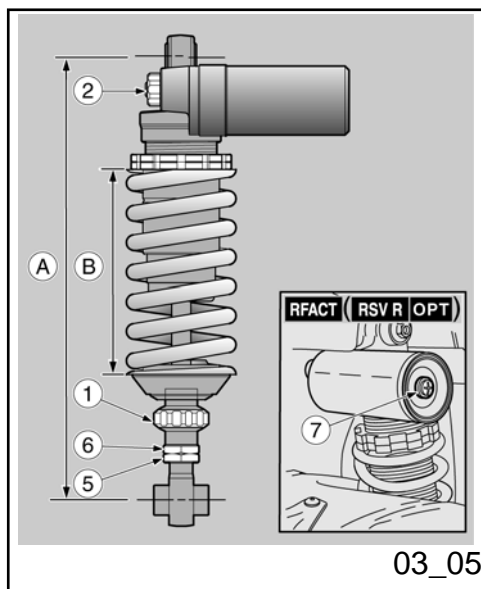
SHOCK ABSORBER STANDARD SETTING IS ADJUSTED TO MEET SPORTING RIDING.

HOWEVER, THIS SET CAN BE ADJUSTED TO SPECIFIC NEEDS ACCORDING TO VEHICLE USE.

CAUTION

TO COUNT THE NUMBER CLICKS OF THE SET SCREWS (1-2), ALWAYS START FROM THE MOST RIGID SETTING (SET SCREW FULLY CLOCKWISE), COUNTING A MAXIMUM OF 15 CLICKS. TURN THE SET SCREW SLOWLY (1-2), ONE NOTCH AT A TIME.

- Using the specific spanner, unscrew the locking ring nut (4).
- Operate on the adjusting ring nut (3) to adjust the spring preloading (B).
- Once the adjustment is done, screw the ring nut (4).



- Turn the (1) screw to adjust the shock absorber hydraulic rebound damping.

When adjusting rebound damping, operate the knob (2) for the R Factory models, and the screw (2) for the R models.

To change the vehicle setting:

- Loosen the lock nut (5) gradually.
- Operate on the set screw (6) to adjust the shock absorber (A) axial distance.
- After adjustment, screw the lock nut (5).

CAUTION

THE LOCK NUT (5) MUST BE TIGHTENED TO THE SPECIFIED TORQUE: 40 Nm (4 kgm).



TO AVOID COMPROMISING SHOCK ABSORBER OPERATION, DO NOT LOOSEN SCREW (7) AND DO NOT TAMPER WITH THE SEAL UNDERNEATH, AS NITROGEN MAY COME OUT RESULTING IN RISK OF ACCIDENTS.



SET SPRING PRELOAD AND SHOCK ABSORBER REBOUND DAMPING ACCORDING TO THE VEHICLE USES.

IF THE SPRING PRELOADING IS INCREASED, IT IS NECESSARY TO INCREASE THE REBOUND DAMPING ACCORDINGLY TO AVOID SUDDEN JERKS WHEN RIDING.



SPORT SETTINGS MAY BE USED ONLY FOR OFFICIAL COMPETITIONS TO BE CARRIED OUT ON TRACKS, AWAY FROM NORMAL ROAD TRAFFIC AND WITH THE AUTHORISATION OF THE RELEVANT AUTHORITIES.

IT IS STRICTLY FORBIDDEN TO RIDE A SCOOTER SET FOR RACING ON ROADS AND MOTORWAYS.

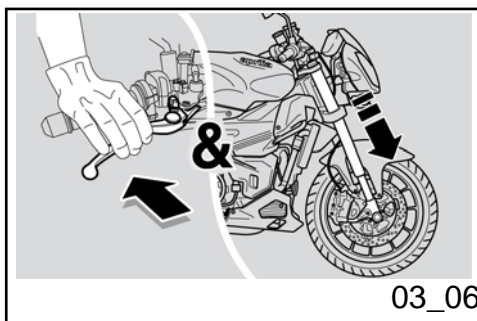
REAR SUSPENSION: ADJUSTMENT FOR RACING

Specification	Desc./Quantity
Shock absorber axial distance (A)	between 310 mm (12.20 in) and 316 mm (12.44 in)
(preloaded) Spring (B) length	R - 148 mm (5.83 in) FACTORY - 147 mm (5.79 in)
Ring nut (1) rebound adjustment	From fully closed (clockwise), open (anticlockwise): R - 12 - 16 clicks FACTORY - 13-16 clicks
Compression adjustment screws (2) (R), or knob (2) (FACTORY)	From fully closed (clockwise), open (anticlockwise): R - 1-2 turns FACTORY - 8-14 clicks

REAR SUSPENSION: STANDARD ADJUSTMENT

Specification	Desc./Quantity
Shock absorber axial distance (A)	313.0 +/- 1.5 mm (12.32 +/- 0.06 in)

(preloaded) Spring (B) length	R - 146 mm (5.75 in) FACTORY - 145 mm (5.71 in)
Ring nut (1) rebound adjustment	From fully closed (clockwise), open (anticlockwise): 20 clicks
Compression adjustment screws (2) (R), or knob (2) (FACTORY)	From fully closed (clockwise), open (anticlockwise): R - 1.5 turns FACTORY - 12 clicks



Front fork adjustment (03_06, 03_07, 03_08, 03_09)

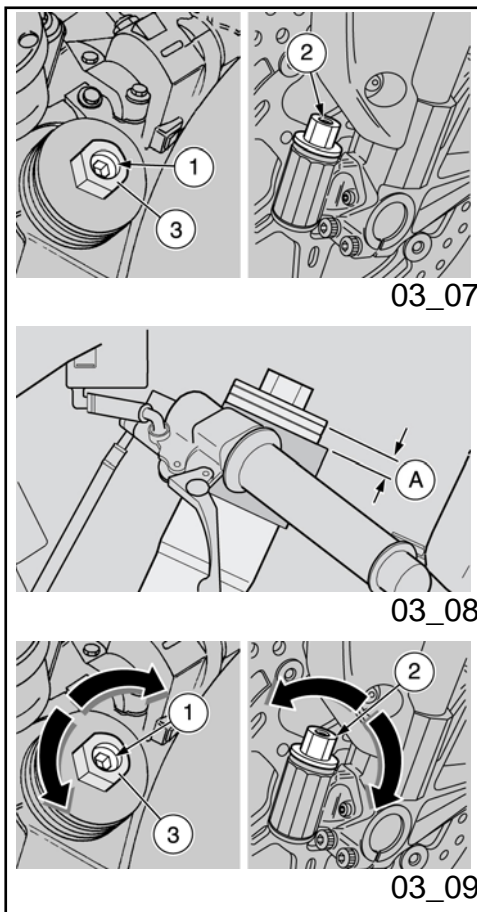
- Operating the front brake lever, press the handlebar repeatedly to send the fork the fully down. The stroke should be soft and there should be no oil marks on the stems.
- Check the tightening of all the components and the correct operation of the front and rear suspension joints.

CAUTION

PLEASE CONTACT AND OFFICIAL aprilia DEALER TO HAVE THE FRONT FORK OIL CHANGED AND ITS OIL SEALS REPLACED.

The front suspension consists of a hydraulic fork connected to the headstock by means of two plates.

To adjust the vehicle setting, each fork stem is fitted with a top screw (1) to adjust rebound damping, a bottom screw (2) to adjust compression damping and a top nut (3) to adjust spring preload.



DO NOT STRAIN THE ROTATION OF SET SCREWS (1 - 2) BEYOND THE END OF THE STROKE IN BOTH SENSES, IN ORDER TO AVOID ANY DAMAGE SET BOTH STEMS WITH THE SAME SPRING PRELOAD AND DAMPING TOLERANCES: RIDING THE VEHICLE WITH A DIFFERENT ADJUSTMENT FOR THE TWO STEMS REDUCES ITS STABILITY. IF YOU INCREASE SPRING PRELOAD, YOU ALSO NEED TO INCREASE REBOUND DAMPING, IN ORDER TO AVOID SUDDEN JERKS WHILE RIDING.

FACTORY FORK

Standard front fork setting is adjusted to suit most high and low speed riding conditions, whether the vehicle is partially or fully loaded.

However, the setting can be modified for specific needs according to vehicle use.



SPORT SETTINGS MAY BE USED ONLY FOR OFFICIAL COMPETITIONS TO BE CARRIED OUT ON TRACKS, AWAY FROM NORMAL ROAD TRAFFIC AND WITH THE AUTHORISATION OF THE RELEVANT AUTHORITIES.

IT IS STRICTLY FORBIDDEN TO RIDE A SCOOTER SET FOR RACING ON ROADS AND MOTORWAYS.

NOTE

TO COUNT THE NUMBER OF CLICKS AND/OR TURNS OF SET SCREWS (1-2) ALWAYS START FROM THE MOST RIGID SETTING (SET SCREW FULLY CLOCKWISE).

AS REFERENCE TO ADJUST HYDRAULIC COMPRESSION DAMPING AND EXTENSION, USE SET SCREWS (1-2).

TURN THE SET SCREW SLOWLY (1-2), ONE NOTCH AT A TIME.

FRONT SUSPENSION - STANDARD ADJUSTMENT:

Specification	Desc./Quantity
Rebound damping adjustment, screw (1)	unscrew (anticlockwise) 12 clicks from fully closed (clockwise),.
Compression damping adjustment, screw (2)	unscrew (anticlockwise) 12 clicks from fully closed (clockwise)
Spring preloading, nut (3)	screw (clockwise) 8 turns from fully open (anticlockwise)
Stems (A) protrusion from top plate (excluding cover)	3 protrusion notches (Take your scooter to an Official aprilia Dealer for this type of adjustment)

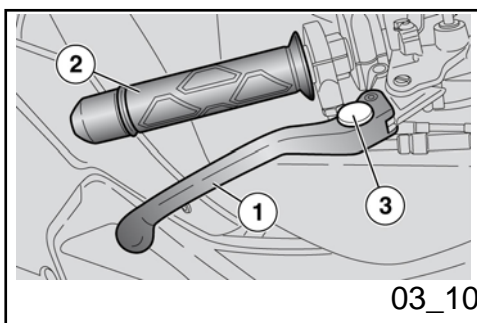
FRONT SUSPENSION - ADJUSTMENT FOR RACING

Specification	Desc./Quantity
Rebound damping adjustment, screw (1)	unscrew (anticlockwise) 8 - 10 clicks from fully closed (clockwise)
Compression damping adjustment, screw (2)	unscrew (anticlockwise) 8 - 10 clicks from fully closed (clockwise)
Spring preloading, nut (3)	screw (clockwise) 6 -9 turns from fully open (anticlockwise)

Stems (A) protrusion from top plate (excluding cover)

4 protrusion notches

(Take your scooter to an **Official aprilia Dealer** for this type of adjustment)

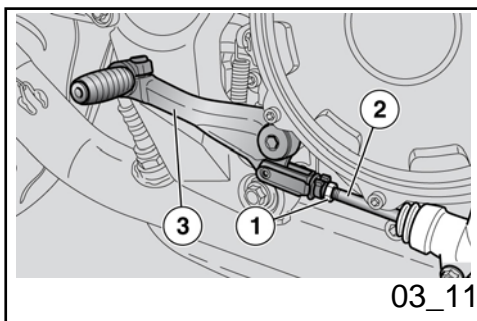


Justering af greb til forbremse (03_10)

The distance between the end of the lever (1) and the handgrip (2) can be adjusted by rotating the set screw (3).

The MAX and MIN clicks correspond to a lever end-handgrip distance of about 126 mm (4.96 in) and 83 mm (3.27 in) respectively.

- Push the control lever (1) forward and turn the set screw (3) until the lever (1) is at the desired distance.



Rear brake pedal adjustment (03_11, 03_12, 03_13)

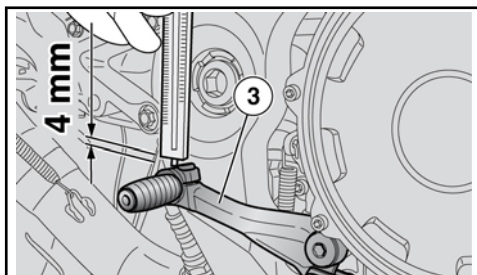
the brake control lever has been ergonomically fitted when assembling the vehicle.

If necessary, the brake control lever backlash can be adjusted:

- Unscrew the lock nut (1).
- Unscrew the pump control rod (2) to guarantee a minimum backlash of 0.5 - 1 mm (0.019 - 0.039 in) between rod and pump piston.
- Lock the pump control rod (2) with the lock nut (1).



MAKE SURE THE LEVER (3) HAS SOME EMPTY TRAVEL SO THAT THE BRAKE DOES NOT REMAIN OPERATED AND CAUSES EARLY WEAR OF THE BRAKING ELEMENTS.



03_12

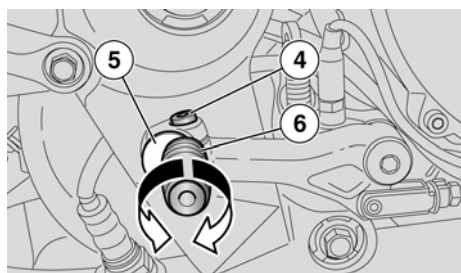
LEVER (3) EMPTY TRAVEL: 4 mm (0.157 in) (MEASURED AT THE END OF THE LEVER).

AFTER ADJUSTMENT, MAKE SURE THE WHEEL TURNS FREELY WHEN THE BRAKE IS RELEASED.

CHECK BRAKING EFFICIENCY.

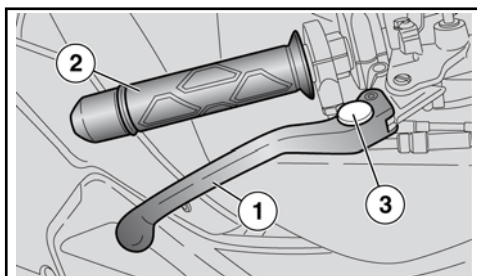
The control levers have been ergonomically fitted when assembling the vehicle.

If necessary, the position of the levers can be personalised.



03_13

- Rest the vehicle on its stand.
- Partially loosen the screw (4).
- Turn the cam (5) until obtaining the optimal position for the pedal (6).
- Tighten the screw (4) and check the stability of the cam in position.



03_14

Clutch lever adjustment (03_14)

The distance between the end of the lever (1) and the handgrip (2) can be adjusted by rotating the set screw (3).

The MAX and MIN clicks correspond to a lever end-handgrip distance of about 126 mm (4.96 in) and 83 mm (3.27 in) respectively.

- Push the control lever (1) forward and turn the set screw (3) until the lever (1) is at the desired distance.

Running in

Engine run-in is essential to ensure engine long life and correct operation. Twisty roads and gradients are ideal to run in engine, brakes and suspensions effectively. Vary your riding speed during the run-in. In this way, you allow for the work of components to be "loaded" and then "unloaded", thus cooling the engine parts.

CAUTION

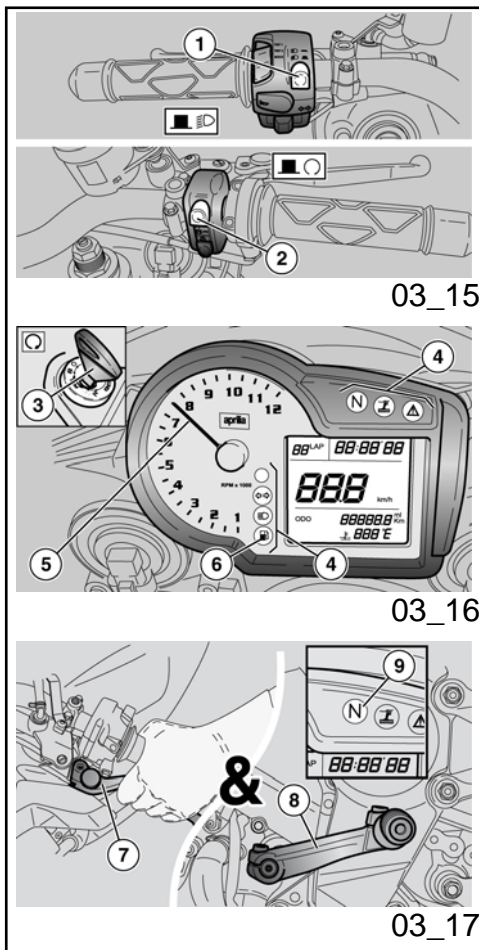
ONLY AFTER THE SERVICE AT THE END OF THE RUN-IN PERIOD CAN THE BEST PERFORMANCE OF YOUR VEHICLE BE OBTAINED.

Follow the guidelines detailed below:

- Do not twist the throttle grip abruptly and completely when the engine is working at a low revs, either during or after run-in.
- During the first 100 km (62 miles) step carefully on the brakes to avoid rough and long braking. That is to permit the adequate adjustment of the pad friction material to the brake discs.



AFTER THE SPECIFIED MILEAGE, TAKE THE VEHICLE TO AN OFFICIAL aprilia DEALER FOR THE CHECKS INDICATED IN THE "AFTER-RUN" TABLE IN THE SCHEDULED MAINTENANCE SECTION TO AVOID INJURING YOURSELF, OTHERS AND /OR DAMAGING THE VEHICLE.



Starting up the engine (03_15, 03_16, 03_17, 03_18)

This vehicle has remarkable power and should be used gradually and with maximum caution.

Do not carry objects in the top fairing (between the handlebar and the instrument panel) so that handlebar can turn freely and the instrument panel is visible at all times.



FAILURE TO OBSERVE THIS WARNING COULD LEAD TO UNCONSCIOUSNESS AND EVEN DEATH DUE TO SUFFOCATION.



EXHAUST FUMES CONTAIN CARBON MONOXIDE, AN EXTREMELY HARMFUL SUBSTANCE IF INHALED.

NEVER START THE ENGINE IN CLOSED OR NOT WELL-VENTILATED ROOMS.

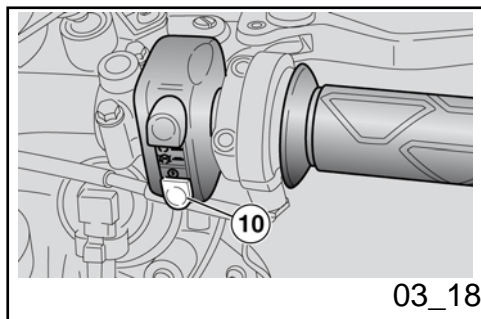
CAUTION

WITH THE SIDE STAND LOWERED, IT IS ONLY POSSIBLE TO START THE ENGINE IF THE TRANSMISSION IS IN NEUTRAL, IN THIS CASE IF YOU TRY TO ENGAGE A GEAR, THE ENGINE WILL STOP.

WITH THE SIDE STAND RAISED, IT IS POSSIBLE TO START THE ENGINE WITH THE TRANSMISSION IN NEUTRAL OR WITH A GEAR ENGAGED AND THE CLUTCH LEVER PRESSED.

- Get on the vehicle in riding position.
- Make sure the stand has been completely retracted.
- Make sure the light switch (1) is in low-beam light position.
- Set the engine stop switch (2) to RUN.
- Turn the key (3) and turn the ignition switch to KEY ON

At this stage:



- The multifunction display shows the ignition screen for 2 seconds.
- On the instrument panel, all warning lights (4) and the backlighting are on for 2 seconds.
- The rpm indicator (5) shows the last overrevving value programmed and, after 3 seconds, it goes back to the minimum value.
- The current value is instantly indicated on the instrument panel during regular vehicle riding.



IF THE LOW FUEL WARNING LIGHT (6) ON THE INSTRUMENT PANEL TURNS ON, RE-FUEL THE VEHICLE AT ONCE.



THE OVERREVVING THRESHOLD IN NEW VEHICLES IS SET TO 6000 RPM. RAISE THIS THRESHOLD AS YOU GET USED TO THE VEHICLE.

- Block at least one wheel by operating one brake lever.
- Operate the clutch lever (7) completely and set the gearshift lever (8) to neutral position (green "N" warning light (9) lit).
- There is a starter on the vehicle, controlled by the control unit, that starts working automatically if it is necessary (cold start).



TO AVOID EXCESSIVE BATTERY CONSUMPTION, DO NOT HOLD DOWN THE STARTER BUTTON (10) FOR MORE THAN FIFTEEN SECONDS.

IF THE ENGINE FAILS TO START AFTER THIS TIME, WAIT TEN SECONDS AND PRESS THE STARTER BUTTON (10) AGAIN.

- Press the starter button (10) without opening the throttle and release it as soon as the engine starts.



AVOID PRESSING THE STARTER BUTTON (10) WHEN THE ENGINE HAS ALREADY STARTED, AS THIS COULD DAMAGE THE STARTER MOTOR.

IF THE ENGINE OIL PRESSURE ICON IS DISPLAYED, THIS MEANS THE OIL PRESSURE IN THE CIRCUIT IS LOW.

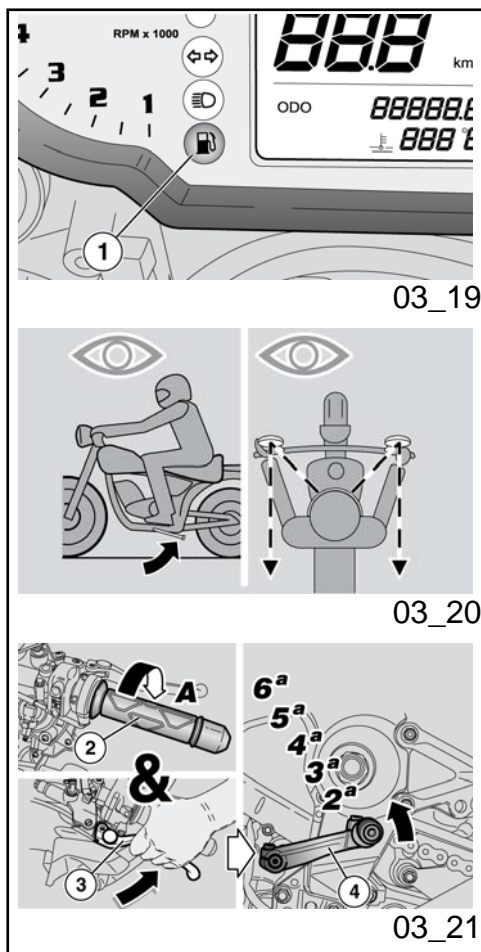
- Keep at least one brake lever operated and accelerate only when setting off.



DO NOT SET OFF SUDDENLY WHEN THE ENGINE IS COLD. RIDE AT LOW SPEED FOR SEVERAL KILOMETRES. THIS WILL ALLOW THE ENGINE TO WARM UP AND REDUCE POLLUTING EMISSIONS AND FUEL CONSUMPTION.



IF THE WORD "SERVICE" IS SHOWN ON THE (MULTIFUNCTION) DISPLAY DURING REGULAR ENGINE OPERATION, THIS MEANS THAT THE ELECTRONIC CONTROL UNIT HAS DETECTED A PROBLEM.



Moving off / riding (03_19, 03_20, 03_21, 03_22, 03_23)

CAUTION

IF, WHILE RIDING, THE LOW FUEL WARNING LIGHT ON THE INSTRUMENT PANEL TURNS ON, IT MEANS THERE ARE STILL 4 litres OF FUEL LEFT. REFUEL AS SOON AS POSSIBLE.

To set off: t

- Start the engine.
- Adjust the rear-view mirror angle correctly.

CAUTION

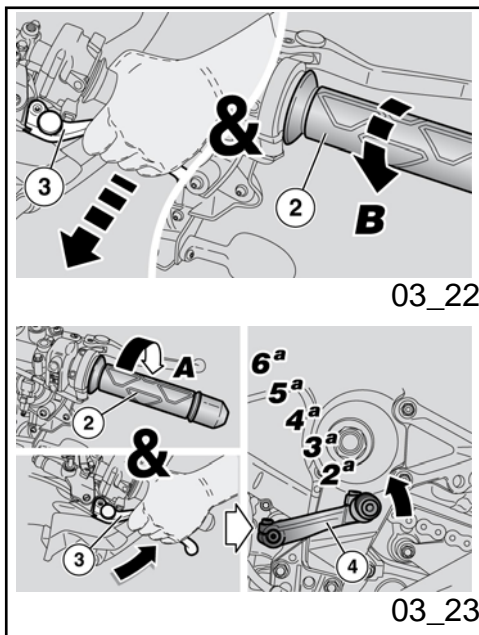


WITH THE SCOOTER AT A STANDSTILL, PRACTICE USING THE REAR-VIEW MIRRORS. THE MIRROR REFLECTING SURFACE IS CONVEX SO OBJECTS MAY SEEM FARTHER THAN THEY REALLY ARE. THESE MIRRORS OFFER A WIDE-ANGLE VIEW AND ONLY EXPERIENCE HELPS YOU JUDGE THE DISTANCE SEPARATING YOU AND THE VEHICLE BEHIND.



DO NOT EXCEED THE MAXIMUM RECOMMENDED NUMBER OF REVOLUTIONS.

- With throttle grip (2) released (**Pos. A**) and engine at idle, fully operate the clutch lever (3).
- Engage first gear by pushing the shift lever (4) down.
- Release the brake lever (pressed during start-up).



- Slowly release the clutch lever (3) and at the same time accelerate by slightly twisting the throttle grip (2) (**Pos. B**).

The scooter starts moving forward.

- For the first riding kilometres, limit the speed in order to warm up the engine.

CAUTION

IF THE CLUTCH LEVER IS TOO FAST OR SUDDENLY RELEASED AT SETTING OFF CAN CAUSE THE ENGINE TO STOP AND THE VEHICLE TO JERK.

DO NOT SPEED UP SUDDENLY OR EXCESSIVELY WHEN RELEASING THE CLUTCH SO THAT THE CLUTCH DOES NOT "SLIDE" (SLOW RELEASE) OR THE FRONT WHEEL "REARS UP" (QUICK RELEASE).

- Speed up by gradually by twisting the throttle grip (2) (**Pos. B**) without exceeding the recommended revs.

To engage the second gear:



OPERATE FAST.

DO NOT RIDE THE VEHICLE AT VERY LOW ENGINE REVS.

- Release the throttle grip (2) (**Pos. A**), operate the clutch lever (3), lift the gearshift lever (4), release the clutch lever (3) and accelerate.
- Repeat the last two operations and engage higher gears.



IF THE ENGINE OIL PRESSURE ICON IS SHOWN DURING REGULAR ENGINE OPERA-

TION, IT MEANS THAT THE ENGINE OIL PRESSURE IN THE CIRCUIT IS TOO LOW.

IF THIS OCCURS, STOP THE ENGINE AND CONTACT AN aprilia Official Dealer.

SHIFTING FROM A HIGHER TO A LOWER GEAR, CALLED "DOWNSHIFT", IS CARRIED OUT:

- When riding downhill and when braking, to increase the braking power by using the engine compression.
- When going uphill, when the engaged gear does not suit the speed (high gear, moderate speed) and the number of engine revs falls.

CAUTION

DOWNSHIFT ONE GEAR AT A TIME; DOWNSHIFTING MANY GEARS AT ONE TIME CAN CAUSE THE SPEED TO EXCEED THE "OVERREVING" MAXIMUM POWER.

BEFORE AND DURING "DOWNSHIFTING", SLOW DOWN BY RELEASING THE THROTTLE GRIP TO AVOID "OVERREVING".

- Release the throttle grip (2) (**Pos. A**)
- If necessary, slightly operate the brake levers and speed down the vehicle.
- Operate the clutch lever (3) and lower the gearshift lever (4) before engaging a lower gear.
- Release the brake levers when it is operated.
- Release the clutch lever (3) and accelerate moderately.



IF THE COOLANT TEMPERATURE SHOWN ON THE MULTIFUNCTIONAL DIGITAL DIS-

PLAY IS BETWEEN 115°C (239°F) AND 135°C (275°F), STOP THE VEHICLE AND LET THE ENGINE RUN AT 3000 rpm FOR ABOUT TWO MINUTES, SO THAT THE COOLANT FLOWS REGULARLY IN THE SYSTEM; THEN SET THE ENGINE STOP SWITCH TO "OFF" AND CHECK THE COOLANT LEVEL.

IF THE TEMPERATURE INDICATION CONTINUES FLASHING AFTER CHECKING THE COOLANT LEVEL, CONTACT AN Official aprilia Dealer.

DO NOT TURN THE IGNITION KEY TO "KEY OFF", BECAUSE THE COOLING FANS WOULD STOP REGARDLESS OF THE COOLANT TEMPERATURE, WHICH WOULD CAUSE A FURTHER TEMPERATURE RISE.

IF THE "EFI" DIAGNOSIS LED WARNING LIGHT ON THE INSTRUMENT PANEL FLASHES DURING REGULAR ENGINE OPERATION, THIS MEANS THAT THE ELECTRONIC CONTROL UNIT HAS DETECTED A PROBLEM.

IN MANY CASES THE ENGINE CONTINUES TO WORK WITH LIMITED PERFORMANCE; IMMEDIATELY CONTACT AN aprilia Official Dealer.

IN ORDER TO AVOID CLUTCH OVERHEATING, SHUT THE ENGINE OFF AS SOON AS POSSIBLE ONCE THE SCOOTER HAS STOPPED AND AT THE SAME TIME THE GEAR IS ENGAGED AND THE CLUTCH LEVER OPERATED.



OPERATING ONLY EITHER THE FRONT OR THE REAR BRAKE SIGNIFICANTLY REDUCES BRAKING POWER AND A WHEEL MAY GET BLOCKED RESULTING IN LACK OF GRIP.

IN CASE OF STOP IN ASCENT, FULLY DECELERATE AND ONLY USE THE BRAKES TO KEEP THE SCOOTER STOPPED.

USING THE ENGINE TO KEEP THE SCOOTER STOPPED MAY CAUSE THE CLUTCH TO OVERHEAT.

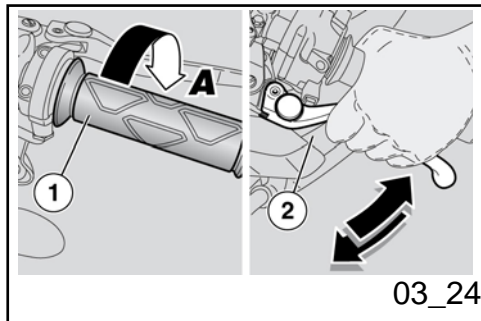
BRAKING CONTINUOUSLY WHILE GOING DOWNHILL MAY RESULT IN FRICTION GASKET OVERHEATING AND CONSEQUENTLY IN POOR BRAKING.

TAKE ADVANTAGE OF THE ENGINE COMPRESSION AND SHIFT UP GEARS USING

THE BRAKES ALTERNATIVELY.

NEVER RIDE WITH THE ENGINE OFF WHEN GOING DOWNHILL.

WHEN RIDING ON WET SURFACES OR WITH POOR GRIP (SNOW, ICE, MUD, ETC.)
RIDE AT A MODERATE SPEED AVOIDING SUDDEN BRAKING OR MANOEUVRES
THAT MAY LEAD TO LACK OF GRIP AND CONSEQUENTLY TO FALLS.



Stopping the engine (03_24)

- Release the throttle grip (1) (**Pos. A**), brake gradually and at the same time "down-shift" gears to slow down.

Once the speed is reduced, before stopping the vehicle:

- Operate the clutch lever (2) so that engine does not shut off.

When the scooter is at a standstill:

- Set the gear lever in neutral position (green "N" warning light lit).
- Release the clutch lever.
- While at a temporary halt, keep at least one brake activated.



WHENEVER POSSIBLE, AVOID ROUGH BRAKING, SUDDEN DECELERATION AND BRAKING IN EXCESS.

Parking

It is very important to select an adequate parking spot, in compliance with road signals and the guidelines described below.

CAUTION

PARK ON SAFE AND LEVEL GROUND TO PREVENT THE vehicle FROM FALLING.

DO NOT LEAN THE vehicle ON A WALL OR LAY IT ON THE GROUND.

MAKE SURE THE VEHICLE AND SPECIALLY ITS HOT PARTS DO NOT POSE ANY RISK TO PEOPLE OR CHILDREN. DO NOT LEAVE YOUR VEHICLE UNATTENDED WITH THE ENGINE ON OR THE KEY IN THE IGNITION SWITCH.

CAUTION

VEHICLE FALL OR EXCESSIVE INCLINATION CAN CAUSE FUEL OUTFLOW.

FUEL USED TO DRIVE EXPLOSION ENGINES IS HIGHLY FLAMMABLE AND CAN BECOME EXPLOSIVE UNDER SPECIFIC CONDITIONS.



DO NOT REST THE RIDER OR PASSENGER WEIGHT ON THE SIDE STAND.

Catalytic silencer



DO NOT PARK THE VEHICLE NEAR DRY BRUSHWOOD OR IN PLACES EASILY ACCESSIBLE BY CHILDREN BECAUSE THE CATALYTIC CONVERTER REACHES HIGH TEMPERATURE DURING THE RIDE; FOR THIS REASON, PAY UTMOST ATTENTION AND DO NOT TOUCH IT UNTIL IT HAS COMPLETELY COOLED DOWN.

DO NOT USE LEADED PETROL AS IT IRRETRIEVABLE DAMAGES THE CATALYTIC CONVERTER.

Scooter owners are warned that the law may prohibit the following:

- the removal of any device or element belonging to a new scooter or any other action

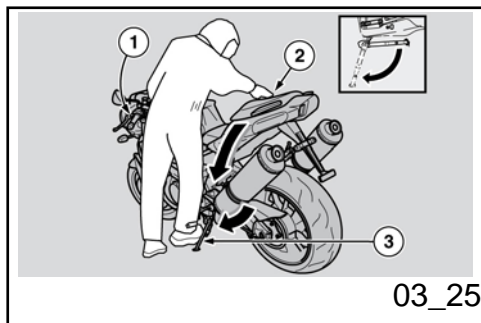
- by anyone leading to render it non-operating, if not for maintenance, repair or replacement reasons, in order to control noise emission before the sale or delivery of the vehicle to the ultimate buyer or while it is used;
- using the scooter after that device or element has been removed or rendered non-operating.

Check the muffler/exhaust silencer and the silencer pipes, make sure there are no signs of rust or holes and that the exhaust system works properly.

If exhaust noise increases, take your scooter at once to an **Official aprilia Dealer**.

NOTE

DO NOT TAMPER WITH THE EXHAUST SYSTEM.



Stand (03_25)

If the stand has been folded up for any manoeuvre (for example, when the vehicle is in motion), rest the vehicle on its stand again as follows:

- Choose a parking area.
- Grasp the left handle bar (1) and place your right hand on the rear upper part (2) of the vehicle.
- Push the side stand with your right foot and lower it completely (3).
- Lean the vehicle until the stand is resting on the ground.
- Turn the handlebar fully to the left.



MAKE SURE THE GROUND WHERE YOU HAVE PARKED IS FREE, FIRM AND LEVEL.

CAUTION



MAKE SURE THE VEHICLE IS STABLE.

Suggestion to prevent theft

CAUTION

WHEN USING A DISC LOCKING DEVICE, PAY UTMOST ATTENTION TO REMOVE IT BEFORE RIDING. FAILURE TO OBSERVE THIS WARNING MAY CAUSE SERIOUS DAMAGE TO THE BRAKING SYSTEM AND ACCIDENTS WITH CONSEQUENT PHYSICAL INJURIES OR EVEN DEATH.

NEVER leave the ignition key in the lock and always use the steering lock. Park the vehicle in a safe place such as a garage or a place with guards. Whenever possible, use an additional antitheft device. Make sure all vehicle documents are in order and the road tax paid. Write down your personal details and telephone number on this page to help identifying the owner in case of vehicle retrieval after a theft.

LAST NAME:

NAME:

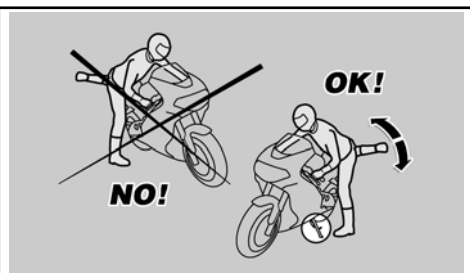
ADDRESS:

.....

TELEPHONE No:

WARNING

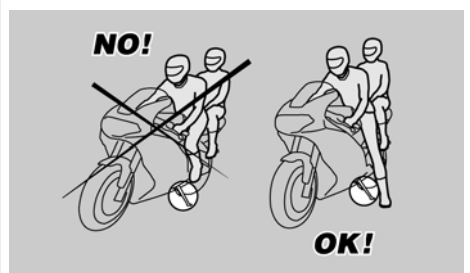
IN MANY CASES, STOLEN VEHICLES CAN BE IDENTIFIED THROUGH DATA INDICATED IN THE USE / MAINTENANCE BOOKLET.



03_26



03_27



03_28

Basic safety rules (03_26, 03_27, 03_28, 03_29, 03_30)

Strictly follow the instructions compiled below in order to avoid injuring people, damaging property, things and the vehicle in the event the rider or the passenger falls off the vehicle and/or the vehicle falls or overturns.

When getting on and off the vehicle, make sure nothing is restricting your movements; do not hold any objects in your hands (helmet, gloves or goggles not put on).

Always get on and off the vehicle on the left side and with the side stand lowered.

The stand has been designed to support the weight of the vehicle and a minimum load, without the added weight of rider and passenger.

The purpose of the side stand is to prevent the vehicle from falling or overturning while rider and passenger get on the vehicle and get ready to ride; the stand should not be used to support the weight of rider and passenger.

While getting on and off, the vehicle may become unstable due to its weight and it may fall or overturn.

CAUTION

THE RIDER MUST GET ON THE VEHICLE FIRST AND GET OFF LAST TO BE ABLE TO CONTROL AND BALANCE THE VEHICLE WHILE THE PASSENGER IS GETTING ON OR OFF THE VEHICLE.

When getting on and off the vehicle, the passenger must move carefully so as not to cause a loss of stability for vehicle and rider.

CAUTION

THE RIDER MUST INSTRUCT THE PASSENGER ON HOW TO GET ON AND OFF THE VEHICLE SAFELY.

THE VEHICLE IS EQUIPPED WITH PASSENGER FOOTRESTS TO FACILITATE GETTING ON OR OFF THE VEHICLE. THE PASSENGER MUST ALWAYS USE THE LEFT



FOOTREST TO GET ON AND OFF THE VEHICLE.

NEVER GET OR ATTEMPT TO GET OFF THE VEHICLE BY JUMPING OR STRETCHING YOUR LEG TO REACH THE GROUND. THESE ARE INCORRECT PROCEDURES THAT COMPROMISE VEHICLE STABILITY AND BALANCE.

CAUTION

ANY BAGS OR OBJECTS STRAPPED TO THE REAR OF THE VEHICLE CAN REPRESENT AN OBSTACLE WHILE GETTING ON AND OFF.

SWING YOUR RIGHT LEG OVER THE SEAT IN A CONTROLLED MOVEMENT SO AS NOT TO HIT THE REAR PART OF THE VEHICLE (TAIL SECTION OR LUGGAGE) AND COMPROMISE STABILITY.

GETTING ON THE VEHICLE

- Grasp the handlebar correctly and get on the vehicle without resting your weight on the side stand.

CAUTION

IF YOU CAN NOT REACH THE GROUND WITH BOTH FEET WHEN SEATED, PLACE YOUR RIGHT FOOT ON THE GROUND (IF YOU LOSE BALANCE, THE SIDE STAND WILL PREVENT A FALL ON THE LEFT SIDE) AND BE READY TO PUT YOUR LEFT FOOT ON THE GROUND.

- Place both feet on the ground, straighten and balance the vehicle keeping it upright in riding position.

CAUTION

THE RIDER MUST NOT EXTRACT OR ATTEMPT TO EXTRACT THE PASSENGER FOOTRESTS WHILE SEATED, BECAUSE THIS MIGHT COMPROMISE VEHICLE STABILITY AND BALANCE.

3 Use

- Ask passenger to fold out both passenger footrests.
- Instruct passenger on how to get on the vehicle safely.
- Push the side stand with your left foot to fold it up completely.

GETTING OFF THE VEHICLE

- Select a location for parking.
- Stop the vehicle.



MAKE SURE THE GROUND WHERE YOU HAVE PARKED IS FREE, FIRM AND LEVEL.

- With the left shoe heel, lower and extend the side stand completely.

CAUTION

IF YOU CAN NOT REACH THE GROUND WITH BOTH FEET WHEN SEATED, PLACE YOUR RIGHT FOOT ON THE GROUND (IF YOU LOSE BALANCE, THE SIDE STAND WILL PREVENT A FALL ON THE LEFT SIDE) AND BE READY TO PUT YOUR LEFT FOOT ON THE GROUND.

- Place both feet on the ground and balance the vehicle keeping it upright in riding position.
- Instruct the passenger on how to get off the vehicle safely.



RISK OF FALLING AND OVERTURNING.

MAKE SURE THE PASSENGER HAS GOT OFF THE VEHICLE.

DO NOT REST YOUR WEIGHT ON THE SIDE STAND.

- Lean the vehicle until the stand is resting on the ground.
- Grasp the handlebar firmly and get off the vehicle.
- Turn the handlebar fully to the left.
- Fold up the passenger footrests.

CAUTION

MAKE SURE THE VEHICLE IS STABLE.

RSV1000 R - RSV1000 FACTORY

aprilia

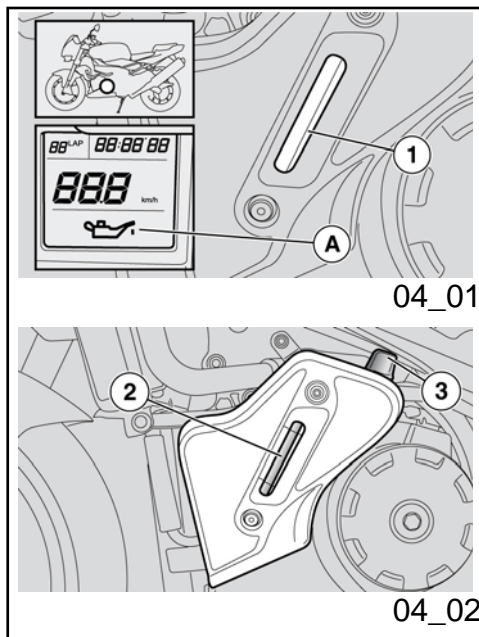


**Chap. 04
Maintenance**

Foreword

WARNING

THIS VEHICLE HAS BEEN PROGRAMMED TO INDICATE IN REAL TIME ANY ACTIVATION FAILURE STORED IN THE ELECTRONIC CONTROL UNIT MEMORY.



Level check (04_01, 04_02)

Check the engine oil level frequently.

NOTE

CARRY OUT MAINTENANCE OPERATIONS AT HALF THE INTERVALS SHOWN IF THE VEHICLE IS USED IN WET OR DUSTY AREAS, OFF ROAD OR FOR SPORTING APPLICATIONS.



ENGINE OIL LEVEL MUST BE CHECKED WHEN THE ENGINE IS WARM.

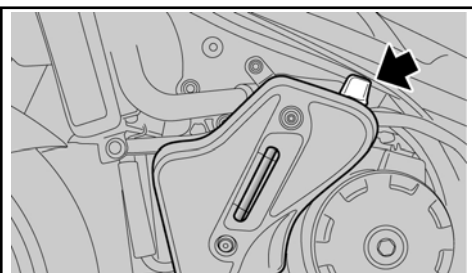
IF YOU CHECK LEVEL WHEN THE ENGINE IS COLD, OIL LEVEL COULD TEMPORARILY DROP BELOW THE "MIN" MARK.

THIS SHOULD NOT BE CONSIDERED A PROBLEM PROVIDED THAT THE ALARM WARNING LIGHT AND THE ENGINE OIL PRESSURE ICON DISPLAY DO NOT TURN ON SIMULTANEOUSLY.

CAUTION

DO NOT LET THE ENGINE IDLE WITH THE VEHICLE AT STANDSTILL TO WARM UP THE ENGINE AND OBTAIN THE OPERATING TEMPERATURE OF ENGINE OIL.

OIL IS BEST CHECKED AFTER A TRIP OR AFTER TRAVELLING APPROXIMATELY 15 km (10 mi), OUT OF TOWN (ENOUGH TO WARM UP ENGINE OIL TO OPERATING TEMPERATURE).



04_03

- Stop the engine.
- Keep the vehicle upright with the two wheels on the ground.
- Check the oil level on the transparent pipe (2) through the appropriate sight glass (1) on the left fairing.

MAX = maximum level.

MIN = minimum level

The difference between "**MAX**" and "**MIN**" is approx. 500 cm³ (30.51 cu.in).

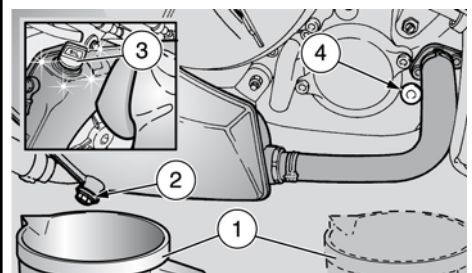
- The oil level is correct when it is close to the "**MAX**" mark.

Oil top up (04_03)

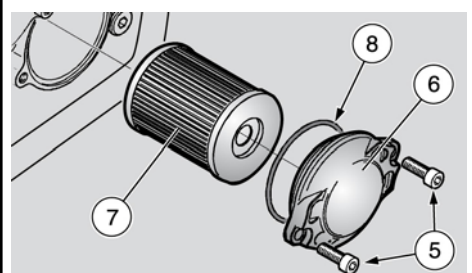
CAUTION



DO NOT GO BEYOND THE "MAX" AND BELOW THE "MIN" LEVEL MARK TO AVOID SEVERE ENGINE DAMAGE.



04_04



04_05

Fill with engine oil as required:

- Remove the left side fairing.
- Unscrew and remove the cap.

When using a funnel or any other element, make sure it is perfectly clean.



DO NOT ADD ADDITIVES OR OTHER SUBSTANCES TO THE OIL.

Recommended products

AGIP TEC 4T, SAE 15W-50*engine oil*

Use top branded oils that meet or exceed the requirements of CCMC G-4 API SG specifications SAE 15W-50

- Top up the oil in the tank until you reach the correct level.

Oil replacement (04_04, 04_05)

CHANGING ENGINE OIL AND ENGINE OIL FILTER CAN PROVE DIFFICULT IF YOU ARE INEXPERIENCED.

TAKE YOUR SCOOTER TO AN Official aprilia Dealer IF NECESSARY.

IF YOU WISH TO PERFORM THESE OPERATIONS YOURSELF, FOLLOW THESE INSTRUCTIONS.

Check the engine oil level frequently.

For replacement:

CAUTION

HOT OIL IS MORE FLUID AND WILL DRAIN OUT MORE EASILY AND COMPLETELY; IDEAL TEMPERATURE IS REACHED AFTER THE ENGINE HAS RUN FOR ABOUT TWENTY MINUTES.



OIL BECOMES VERY HOT WHEN THE ENGINE IS HOT; BE CAREFUL NOT TO GET BURNED WHEN CARRYING OUT THE OPERATIONS DESCRIBED BELOW.

- Remove the left fairing.
- Use a cloth to wipe off any mud deposit on the area next to the filler plug (3).
- Place a container (1) with a +4000 cm³ (244 cu.in) capacity under the drainage plug (2) of the reservoir.
- Unscrew and remove the drainage plug (2) of the reservoir.
- Unscrew and remove the filler cap (3).
- Drain the oil into the container (1); allow several minutes for oil to drain out completely.
- Check and replace, when necessary, the sealing washer of the reservoir drainage plug (2).
- Screw and tighten the reservoir drainage plug (2).

Reservoir drainage plug (2) tightening torque: 15 Nm (1.5 kgm).

- Move the container (1) and place it under the engine base, matching the drainage plug on the engine (4).
- Unscrew and remove the drainage plug on the engine (4).
- Drain the oil into the container (1); allow several minutes for oil to drain out completely.
- Remove any metal scrap attached to the drainage plug (4) magnet and lock it.

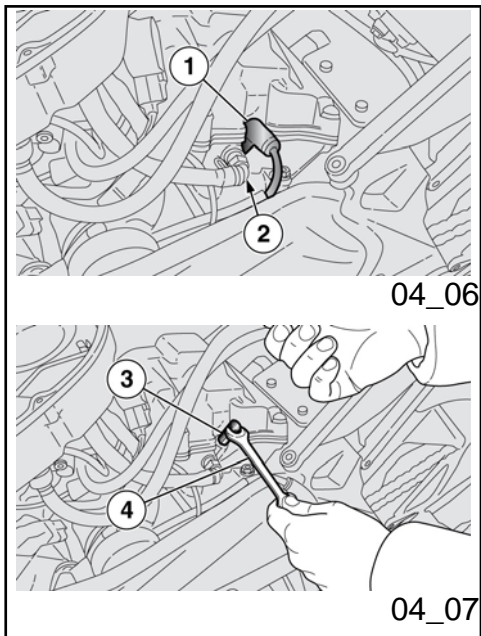
Engine drainage plug (4) tightening torque: 12 Nm (1.2 kgm)

ENGINE OIL FILTER REPLACEMENT

- Unscrew the two screws (5) and remove the cover (6).
- Remove the engine oil filter (7).

Never reuse an old filter.

- Spread a thin layer of oil on the sealing ring (8) of the new engine oil filter.
- Insert the new engine oil filter.
- Reassemble the cover (6), tighten and lock the two screws (5).
- Refill the engine oil reservoir through the filler cap (3) with recommended engine oil and check through the appropriate sight glass on the left fairing that the references on the transparent hose indicate the maximum level marked "**MAX**".



- Start the engine at idle.
- The engine oil level rapidly descends below the minimum level mark "**MIN**".
- Stop the engine.
- Top-up the engine oil to the maximum level marked "**MAX**".

Spark plug dismantlement (04_06, 04_07, 04_08, 04_09)

At regular intervals, remove the spark plug and clean off any carbon deposits or replace as required.



CHECK, CLEAN OR CHANGE BOTH SPARK PLUGS ONE AT A TIME. ALWAYS REPLACE BOTH SPARK PLUGS, EVEN IF ONLY ONE NEEDS REPLACING.



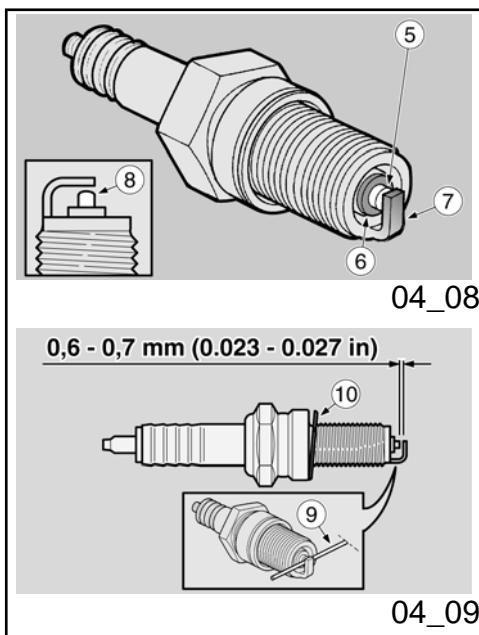
BEFORE CARRYING OUT THE FOLLOWING OPERATIONS AND IN ORDER TO AVOID BURNS, LEAVE THE ENGINE AND SILENCER TO COOL OFF TO AMBIENT TEMPERATURE.

- Lift the fuel tank.



THE VEHICLE HAS ONE SPARK PLUG FOR EACH CYLINDER.

THE FOLLOWING PROCEDURES REFER TO THE SPARK PLUG OF A SINGLE CYLINDER, BUT ARE VALID FOR BOTH CYLINDERS.

**For removal:**

- Remove the tube (1) of the spark plug (2).
- Clean off any trace of dirt from the spark plug base.
- Fit the special spanner supplied in the toolkit onto the spark plug.
- Insert the single open ended spanner (4) supplied with the tool kit into the hexagonal head of the spark plug spanner (3).
- Unscrew the spark plug and remove it from its seat, making sure no dust or dirt gets into the cylinder.

Checks and cleaning:

DO NOT USE METAL BRUSHES AND/OR ABRASIVE PRODUCTS TO CLEAN THE SPARK PLUGS; USE ONLY A BLAST OF COMPRESSED AIR.

Key:

- central electrode (5);
- insulator (6);
- side electrode (7);

- Check that the electrodes and insulator of spark plug do not show traces of carbon deposits and of corrosion. If required, clean them using a compressed air jet.

Replace the spark plug if its insulator is cracked, the electrodes show signs of corrosion or excessive deposits or the top (8) of the central electrode (5) gets rounded.

- Check the electrode gap with a feeler thickness gauge (9).

CAUTION

DO NOT ATTEMPT TO READJUST THE ELECTRODE GAP.

The electrode gap should be between **0.6 - 0.7 mm (0.023 - 0.027 in)**. Replace the spark plug if the gap is different.

- Make sure that the washer (10) is in good conditions.

Installation:

- Once the washer (10) is fitted, manually screw the spark plug to avoid damaging the thread.
- Tighten it using the spanner supplied in the tool kit, make each spark plug complete 1/2 of a turn to press the washer.

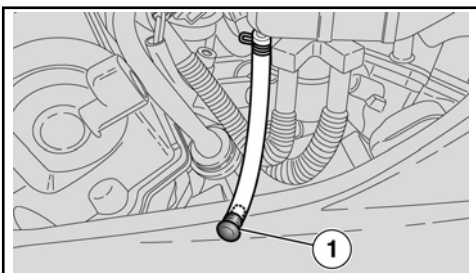
Spark plug tightening torque: 20 Nm (2 kgm).

CAUTION

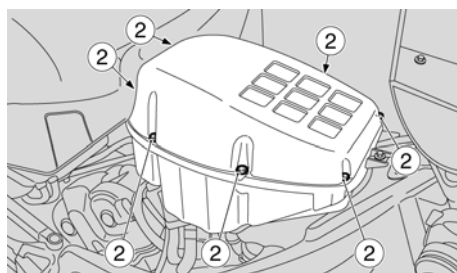
TIGHTEN THE SPARK PLUG CORRECTLY. OTHERWISE, THE ENGINE MAY OVER-HEAT AND GET IRRETRIEVABLE DAMAGED.

USE ONLY THE RECOMMENDED TYPE OF SPARK PLUG, OTHERWISE, THE ENGINE DURATION AND PERFORMANCE COULD BE COMPROMISED.

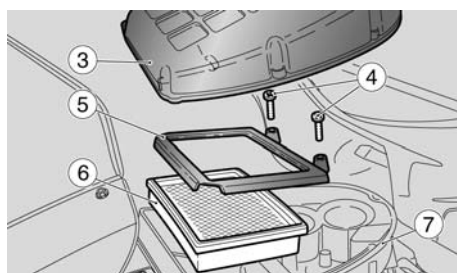
- Place the spark plug tube correctly so that it does not get detached due to engine vibrations.



04_10



04_11



04_12

Removing the air filter (04_10, 04_11, 04_12)

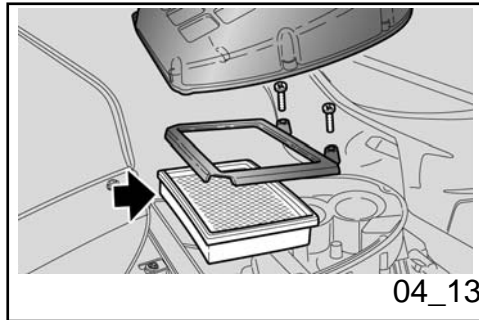
- Remove the cap (1) frequently, drain the content in a container and send it to collection centre.

REMOVAL

- Lift the fuel tank.
- Unscrew and remove the seven screws (2).
- Remove the filter casing cover (3).
- Unscrew and remove the two screws (4).
- Remove the filter locking bracket (5).
- Remove the air filter (6).
- Check the gasket (7) is in good conditions, change it if damaged.



COVER THE BELL MOUTHED INTAKES WITH A CLEAN CLOTH SO THAT FOREIGN BODIES DO NOT GET INTO THE INLET DUCTS. UPON REFITTING AND BEFORE PLACING THE FILTER CASING COVER (3), MAKE SURE NEITHER THE CLOTH OR ANY OTHER OBJECT HAS BEEN LEFT INSIDE THE FILTER CASING. MAKE SURE THE FILTERING ELEMENT IS CORRECTLY PLACED SO THAT UNFILTERED AIR DOES NOT FLOW IN. DO NOT FORGET THAT THE EARLY WEAR OF THE PISTON RINGS AND THE CYLINDER CAN BE CAUSED BY A MALFUNCTIONING OR MISPLACED FILTERING ELEMENT.



Air filter cleaning (04_13)

PARTIAL CLEANING

- Hold the air filter upright and tap it several times on a clean surface.
- If necessary, clean the air filter with a blast of compressed air (directing it from the inner to the outer part of the filter).
- Clean the external part of the air filter with a clean cloth.

REPLACEMENT

- Replace the air filter with a new one of the same type.



DO NOT SQUEEZE OR HIT THE METAL MESH OF THE AIR FILTER.

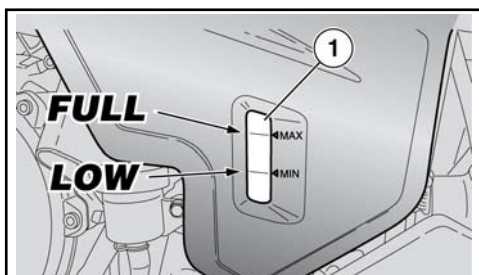
DO NOT USE SCREWDRIVERS OR ANY OTHER ELEMENT ON THE FILTER.

CAUTION

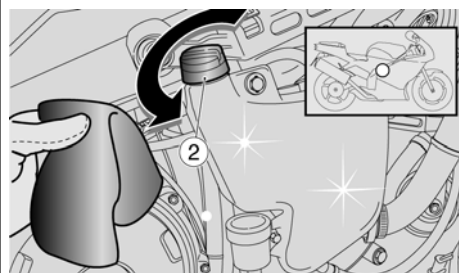
WHEN CLEANING THE FILTERING ELEMENT, CHECK THAT IT IS NOT TORN. IF IT IS, REPLACE THE FILTERING ELEMENT.



NEVER REUSE AN OLD FILTER.



04_14



04_15

Cooling fluid level (04_14, 04_15)



DO NOT USE YOUR SCOOTER IF THE COOLANT LEVEL IS BELOW THE MINIMUM LEVEL MARKED «MIN».

WARNING

TO CARRY OUT ANY OPERATION INVOLVING THE COOLANT, REMOVE THE RIGHT SIDE FAIRING.

CAUTION



COOLANT IS TOXIC IF INGESTED; CONTACT WITH EYES OR SKIN MAY CAUSE IRRITATION. IN THE EVENT OF CONTACT WITH EYES OR SKIN, RINSE REPEATEDLY WITH ABUNDANT WATER AND SEEK MEDICAL ADVICE. IF ACCIDENTALLY INGESTED, INDUCE VOMITING, RINSE MOUTH AND THROAT WITH ABUNDANT WATER AND SEEK MEDICAL ADVICE IMMEDIATELY.

CAUTION



PAY ATTENTION NOT TO POUR COOLANT ON HOT ENGINE OR EXHAUST SYSTEM COMPONENTS; IT MAY CATCH FIRE PRODUCING INVISIBLE FLAMES. WHEN CARRYING OUT MAINTENANCE OPERATIONS, IT IS ADVISABLE TO WEAR LATEX GLOVES. TAKE YOUR SCOOTER TO AN aprilia Official Dealer TO CARRY OUT THE REPLACEMENT.

DO NOT DISPOSE OF THE FLUID INTO THE ENVIRONMENT.

KEEP OUT OF THE REACH OF CHILDREN

DO NOT REMOVE THE COVER OF THE EXPANSION TANK (1) WHEN THE ENGINE IS HOT AS THE COOLANT IS UNDER PRESSURE AND AT A HIGH TEMPERATURE. CONTACT WITH SKIN OR CLOTHES MAY CAUSE SERIOUS BURNS AND/OR INJURIES.

NOTE

TAKE THE SCOOTER TO AN aprilia OFFICIAL DEALER TO HAVE THE COOLANT CHANGED.



Check and top-up coolant when the engine is cold.

CHECKING AND TOPPING-UP

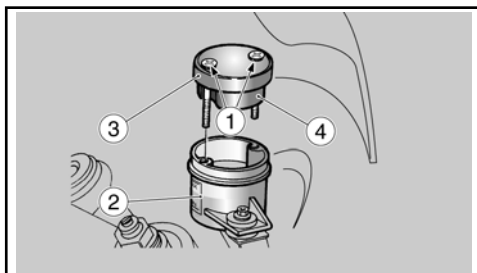
- Stop the engine and wait for it to cool down.
- Keep the vehicle upright, with both wheels on the ground.
- Make sure (through the appropriate sight glass (1) on the right fairing) that the fluid level in the expansion tank is between the "**FULL**" (**FULL**=maximum level) and "**LOW**" (**LOW**=minimum level) reference marks.

Otherwise:

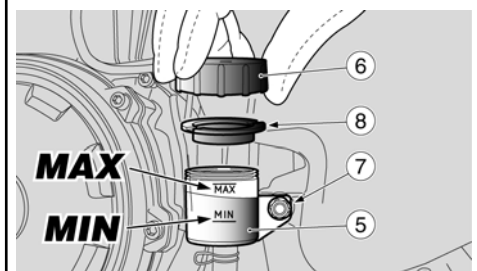
- Remove the side fairing.
- Unscrew and remove the filler cap (2).
- Top-up with recommended coolant until the fluid level is close to the "**FULL**" reference mark. Do not exceed this level or the fluid will flow out when the engine is running.
- Refit and screw the filler cap (2).

CAUTION

IF THERE IS AN EXCESSIVE CONSUMPTION OF COOLANT OR THE RESERVOIR REMAINS EMPTY, CHECK THAT THERE ARE NO LEAKS IN THE CIRCUIT.



04_16



04_17

Checking the brake oil level

Brake fluid check

- Rest the vehicle on its stand.
- For the front brake, turn the handlebar fully to the right.
- For the rear brake, keep the vehicle upright so that the fluid in the reservoir is at the same level with the plug.
- Make sure that the fluid level in the reservoir is above the "**MIN**" reference mark:

MIN = minimum level

MAX = maximum level

If the fluid does not reach at least the "**MIN**" reference mark:

- Check brake pads and disc for wear.
- If the pads and/or the disc do not need replacing, top-up the fluid.
- If the pads and/or the disc are replaced, check the brake fluid and top-up if necessary.

Braking system fluid top up (04_16, 04_17)



RISK OF BRAKE FLUID SPILLING. DO NOT OPERATE THE BRAKE LEVER IF THE BRAKE FLUID RESERVOIR CAP IS LOOSE OR HAS BEEN REMOVED.



AVOID PROLONGED AIR EXPOSURE OF THE BRAKE FLUID. BRAKE FLUID IS HY-

GROSCOPIC AND ABSORBS MOISTURE WHEN IN CONTACT WITH AIR. LEAVE THE BRAKE FLUID RESERVOIR OPEN ONLY FOR THE TIME NEEDED TO COMPLETE THE TOPPING-UP PROCEDURE.



TO AVOID SPILLING BRAKE FLUID WHILE TOPPING-UP, KEEP THE FLUID LEVEL IN THE RESERVOIR PARALLEL TO THE RESERVOIR EDGE (IN HORIZONTAL POSITION). DO NOT ADD ADDITIVES OR OTHER SUBSTANCES TO THE FLUID. IF A FUNNEL OR ANY OTHER ELEMENT IS USED, MAKE SURE THAT IT IS PERFECTLY CLEAN.

Recommended products

AGIP BRAKE FLUID DOT 4 PLUS

Brake fluid

As an alternative to the recommended fluid, other fluids with performance equal to or higher than the specifications may be used. SAE J1703, NHTSA 116 DOT 4, ISO 4925 Synthetic fluid

Front braking system

- Using a short crosshead screwdriver, unscrew the screws (1) in the front brake fluid reservoir (2).
- Lift and remove the cover (3) with the screws (1) and the gasket (4).
- Top-up the reservoir (2) with recommended brake fluid until getting above the minimum level marked "**MIN**".

Rear braking system

- Remove the right side fairing.
- Unscrew the screw (7) completely.
- Move the whole reservoir (5) slightly towards the outside.
- Unscrew and remove the cap (6).
- Remove the gasket (8).
- Top-up the reservoir (2) with recommended brake fluid until reaching the right level between the "**MIN**" and "**MAX**" reference marks.



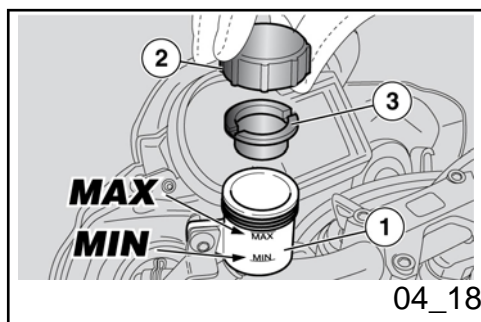
WHEN TOPPING-UP DO NOT OVERTURN THE BRAKE FLUID RESERVOIR, EVEN IF THE CAP IS CLOSED. THIS MAY CAUSE AIR ENTERING THE CIRCUIT, WHICH WILL RESULT IN A MALFUNCTIONING BRAKING SYSTEM.



TOP-UP TO "MAX" LEVEL ONLY WHEN BRAKE PADS ARE NEW. WHEN TOPPING-UP DO NOT EXCEED THE "MAX" LEVEL WHEN BRAKE PADS ARE WORN AS THIS MAY CAUSE FLUID TO SPILL OUT WHEN CHANGING THE BRAKE PADS.

CHECKING BRAKING EFFICIENCY.

IN CASE OF EXCESSIVE TRAVEL OF THE BRAKE LEVER OR POOR PERFORMANCE OF THE BRAKING SYSTEM, TAKE YOUR SCOOTER TO AN aprilia Official Dealer.



Checking clutch fluid

- Hold the vehicle upright and keep the handlebar straight.
- Check that the fluid in the reservoir is above the "
- MIN

" reference mark.

MIN = minimum level

MAX = maximum level

- Top-up if the fluid does not reach at least the "**MIN**" reference mark.

NOTE

THE ENGINE IS FITTED WITH A POWER-ASSISTED HYDRAULIC CONTROL CLUTCH FEATURING THE EXCLUSIVE PATENTED PPC (PNEUMATIC POWER CLUTCH) TO AVOID REAR WHEEL BOUNCE WHEN DOWNSHIFTING.

Topping up clutch fluid (04_18)

Topping-up

- Unscrew and remove the cap (2).
- Remove the gasket (3).
- Top up the tank (1) with clutch fluid to the correct level, between the "**MIN**" and "**MAX**" reference marks.



DO NOT EXCEED THE "MAX" LEVEL MARK WHEN TOPPING-UP.

CHECK THE CLUTCH FOR PROPER OPERATION.

IN THE EVENT OF EXCESSIVE CLUTCH LEVER EMPTY TRAVEL OR POOR CLUTCH OPERATION, CONTACT AN Official aprilia Dealer, AS THE SYSTEM MAY NEED BLEEDING.

CAUTION



TO AVOID SPILLING THE BRAKE FLUID DURING TOP-UP, DO NOT SHAKE THE VEHICLE. DO NOT ADD ADDITIVES OR OTHER SUBSTANCES TO THE FLUID. IF YOU USE A FUNNEL OR ANOTHER IMPLEMENT, MAKE SURE THAT THEY ARE PERFECTLY CLEAN.



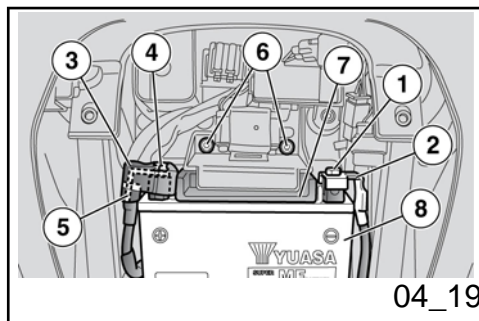
AVOID PROLONGED AIR EXPOSURE OF THE BRAKE FLUID. BRAKE FLUID IS HYGROSCOPIC AND ABSORBS MOISTURE WHEN IN CONTACT WITH AIR. LEAVE THE BRAKE FLUID RESERVOIR OPEN ONLY FOR THE TIME NEEDED TO COMPLETE THE TOPPING-UP PROCEDURE.

Recommended products

AGIP BRAKE 5.1, DOT 4

Recommended CLUTCH FLUID

-



Use of a new battery (04_19)

- Make sure the ignition switch is set to "KEY OFF".
- Remove the rider saddle.
- Unscrew and remove the screw (1) from the negative terminal (-).
- Move the negative lead (2) aside.
- Move the red protection casing (3).
- Unscrew and remove the screw (4) from the positive terminal (+).
- Move the positive lead (5) aside.
- Unscrew and remove the two screws (6).
- Remove the battery locking bracket (7).
- Hold the battery (8) firmly and lift it from its housing.
- Put the battery (8) away on a level surface, in a cool and dry place.
- Refit the rider seat.

CAUTION

UPON REFITTING, CONNECT THE LEAD TO THE POSITIVE TERMINAL (+) FIRST AND AFTERWARDS THE LEAD TO THE NEGATIVE TERMINAL (-).



CHECK THAT THE BATTERY LEADS AND TERMINALS ARE:

- IN GOOD CONDITION (NOT CORRODED OR COVERED BY DEPOSITS);
- COVERED BY NEUTRAL GREASE OR PETROLEUM JELLY.

Checking the electrolyte level

WARNING

THIS VEHICLE IS FITTED WITH A MAINTENANCE-FREE BATTERY AND DOES NOT NEED ANY INTERVENTION, EXCEPT FOR SPORADIC CHECKS AND RECHARGE.

Charging the battery

- Remove the battery.
- Get an adequate battery charger.
- Set the battery charger for the recharge type indicated.
- Connect the battery to the battery charger.

CAUTION



WHEN RECHARGING OR USING THE BATTERY, BE CAREFUL TO HAVE THE ROOM ADEQUATELY AIRED. DO NOT BREATHE GASES RELEASED WHEN THE BATTERY IS RECHARGING.

Switch on the battery charger.

Characteristic

RECHARGE MODES:

Recharge - Ordinary

Electric Current - 1.0 A

Time - 8-10 hours

Recharge - Fast

Electric Current - 10A

time - 0.5

Long periods of inactivity



IF THE VEHICLE IS INACTIVE LONGER THAN TWENTY DAYS, DISCONNECT THE 30 A FUSE TO AVOID BATTERY DETERIORATION DUE TO CURRENT CONSUMPTION BY THE MULTIFUNCTION COMPUTER.

CAUTION

REMOVING THE 30 A FUSES RESETS THESE FUNCTIONS: DIGITAL CLOCK, TRIP INFORMATION AND CHRONOMETRICAL TIMES.

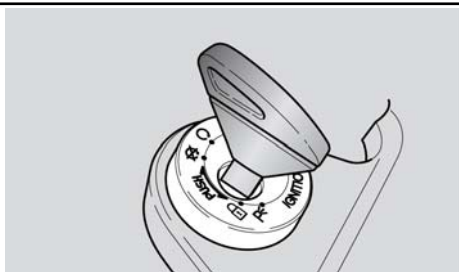
If the vehicle is inactive longer than fifteen days, it is necessary to recharge the battery to avoid sulphation.

- Remove the battery.

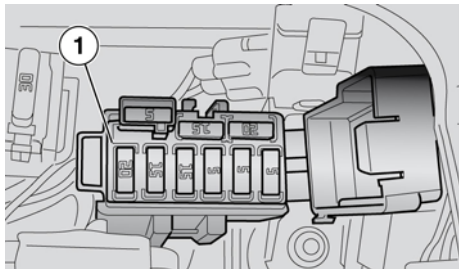
In winter or when the vehicle remains stopped, check the charge frequently (about once a month) to avoid deterioration.

- Recharge it fully with an ordinary charge.

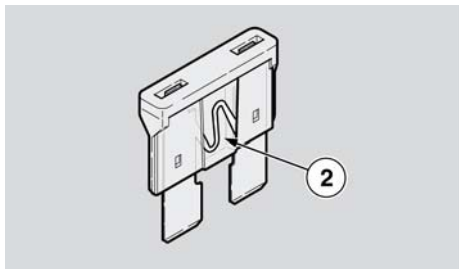
If the battery is still on the vehicle, disconnect the cables from the terminals.



04_20



04_21



04_22

Fuses (04_20, 04_21, 04_22, 04_23, 04_24)

Check fuses in case of failure or irregular functioning of an electrical component or engine starting failure.

First check the secondary 15A fuses and then the main 30A fuses.

CAUTION

DO NOT REPAIR FAULTY FUSES.

NEVER USE FUSES OTHER THAN THE ONES SPECIFIED.

A SHORT CIRCUIT MAY DAMAGE THE ELECTRICAL SYSTEM OR EVEN CAUSE A FIRE.

CAUTION

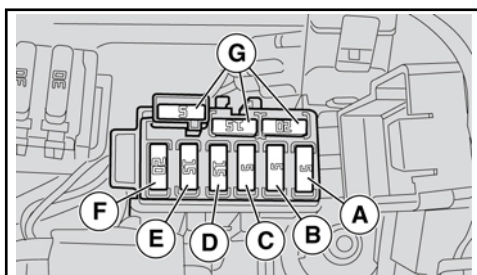
IF A FUSE BLOWS OUT FREQUENTLY, THAT MAY BE DUE TO A SHORT CIRCUIT OR OVERLOAD. IF THIS OCCURS, CONSULT AN Official aprilia Dealer.

To check:

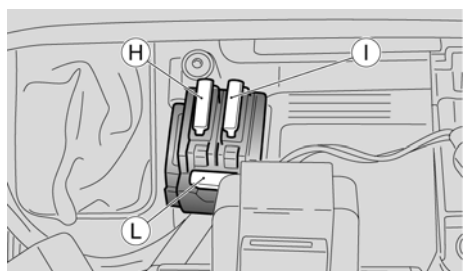
- Set the ignition switch to "OFF" to avoid an accidental short circuit.
- Remove the rider saddle.
- Open the cover of the auxiliary fuse box (1).
- Take out one fuse at a time and check if the filament (2) is broken.
- Before replacing the fuse, find and solve, whenever possible, the problem that caused it to blow.
- If the fuse is damaged, replace it with one of the same amperage.
- Remove the rider saddle.
- To check the main fuses, carry out the same operations described above for auxiliary fuses.

NOTE

IF A SPARE FUSE IS USED, SUPPLY ANOTHER OF THE SAME TYPE IN THE CORRESPONDING FITTING.



04_23



04_24

CAUTION

REMOVING THE 30 A FUSES RESETS THESE FUNCTIONS: DIGITAL CLOCK, TRIP INFORMATION AND CHRONOMETRICAL TIMES.

SECONDARY FUSES DISTRIBUTION

Specification	Desc./Quantity
A) 5A fuse	From the key to: light relay, stop, horn, tail lights.
B) 5A fuse	From the key to: turn indicator, instrument panel.

C) 5A fuse	From the battery to: live positive to ECU
D) 15A fuse	From the battery to: speed sensor, fuel pump, relay, starter, lambda probe.
E) 15A fuse	From the battery to: electric fans relay, coils, injectors, air intake flaps, camshaft position sensor.
F) 20A fuse	From the ignition switch to: high-beam lights, low-beam lights.

MAIN FUSES DISTRIBUTION

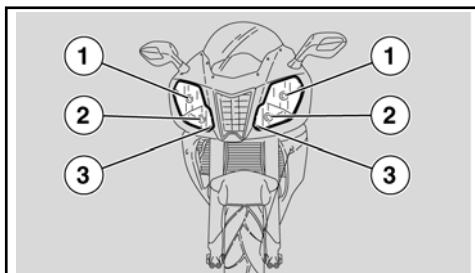
Specification	Desc./Quantity
H) 30A fuse	Battery recharge and vehicle loads (red and red/white cables).
I) 30A fuse	Injection loads (red and red/white cables).

CAUTION

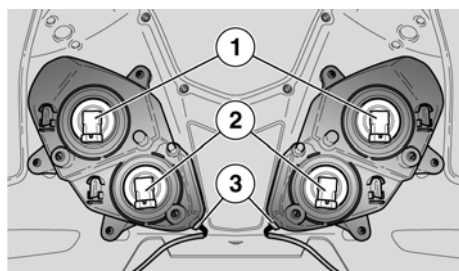
THERE ARE THREE SPARE FUSES (G).

CAUTION

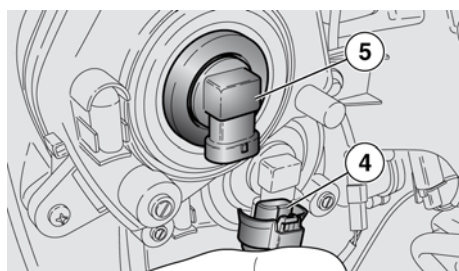
THERE IS ONE SPARE FUSE (L).



04_25



04_26



04_27

Lamps (04_25, 04_26, 04_27, 04_28, 04_29)

For a clearer explanation, the picture shows the windshield detached from the vehicle. It is not necessary to remove the windshield to replace the high- and low-beam light bulbs.

In the front headlight there are:

- two high-beam light bulbs (1);
- two low-beam light bulbs (2);
- two tail light bulbs (3).

The low-beam and high-beam light bulbs are the same.

If one of the two bulbs (2) is damaged, and no spare bulb is available, it is possible to swap it with a bulb (1).

This procedure does not intend to impair the damaged bulb replacement, but only to facilitate replacement until finding or getting to a store to buy a new bulb.

For replacement:

- Rest the vehicle on its stand.

- HIGH- AND LOW-BEAM LIGHT BULBS

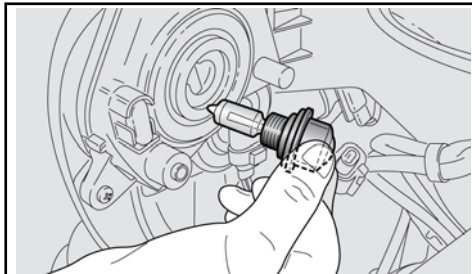
Should high- and low-beam light bulbs need to be replaced at the same time, mark the connectors and upon refitting check that they are correctly positioned.

- Remove the upper side guard.
- Disconnect the connector (4).
- Turn the bulb ring nut anticlockwise and remove the bulb (5).
- Replace with a new identical bulb.
- Reinstall the bulb in its fitting and turn it clockwise until it is tight.
- Install the connector (4) properly.

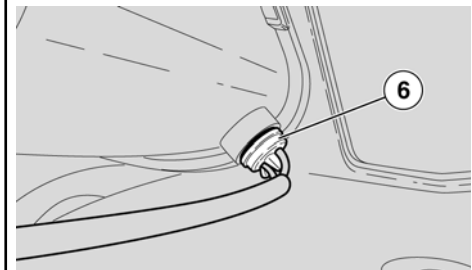
TAIL LIGHT BULB

- Pull out the tail light bulb holder (6) from its fitting.
- Slide off and replace the bulb with another of the same type.

CAUTION



04_28



04_29

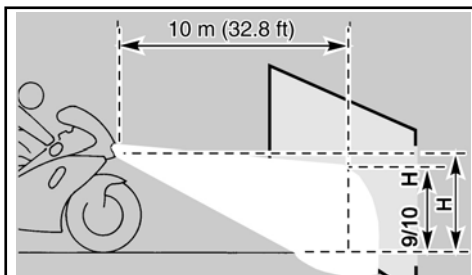


BEFORE REPLACING A BULB, TURN THE IGNITION SWITCH TO «KEY OFF» AND WAIT A FEW MINUTES FOR THE BULB TO COOL OFF.

WEAR CLEAN GLOVES OR USE A CLEAN DRY CLOTH TO REPLACE THE BULB.

DO NOT LEAVE PRINTS ON THE BULB AS THIS MAY CAUSE IT TO OVERHEAT OR EVEN BLOW OUT. IF YOU TOUCH THE BULB WITHOUT WEARING GLOVES, CLEAN OFF PRINTS WITH ALCOHOL TO AVOID DAMAGING THE BULB.

DO NOT FORCE ELECTRICAL CABLES.



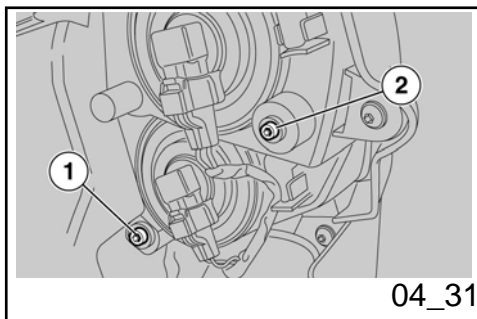
04_30

Headlight adjustment (04_30, 04_31)

NOTE

IN COMPLIANCE WITH LOCAL LEGAL REQUIREMENTS, SPECIFIC PROCEDURES MUST BE FOLLOWED WHEN CHECKING LIGHT BEAM ADJUSTMENT.

ITALY: for a quick check of the correct direction of the front light beams, place the scooter ten metres from a vertical wall and make sure the ground is level. Turn on the low-beam light, sit on the scooter and check that the light beam projected to the wall is



a little below the headlight horizontal straight line (about 9/10 of the total height).

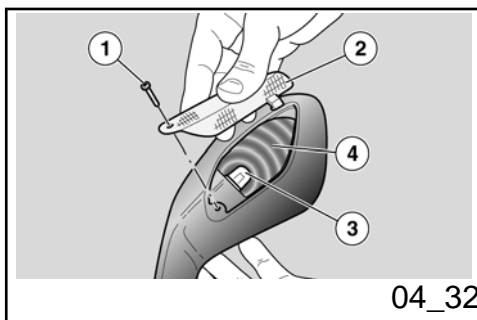
To adjust the light beam:

Vertical adjustment

- Rest the vehicle on its stand.
- Working from the rear left side of the windshield, operate the specific screw (1) with an L-shaped hex Allen spanner. TIGHTEN the screw (clockwise) to lower the light beam; UNDO the screw (anticlockwise) to raise the light beam.
- Repeat the same procedure for the right side headlight.

Horizontal adjustment

- Operate the screw (2) to adjust the light beams horizontally with an L-shaped hex Allen key. TIGHTEN the screw (clockwise) to move the light beam to the right; UNDO the screw (anticlockwise) to move the light beams to the left.



Front direction indicators (04_32)

- Rest the vehicle on its stand.
- Loosen and remove the screw (1).
- Remove the glass (2).
- Press the bulb (3) slightly and turn it anticlockwise.
- Pull the bulb (3) out of its fitting.
- Insert a bulb of the same type adequately.

WARNING

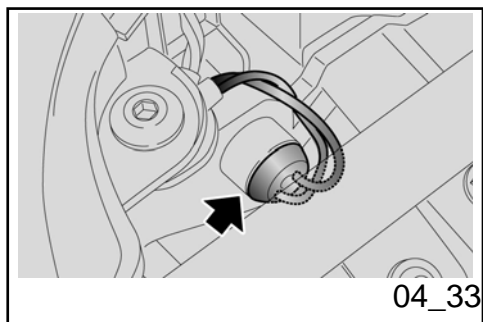
IF THE PARABOLE (4) STICKS OUT OF ITS FITTING, INSERT IT AGAIN PROPERLY.

Rear optical unit

This vehicle has a LED rear headlamp; have it replaced at an official **aprilia** Dealer.

Rear turn indicators

To replace the bulbs of the rear turn indicators, follow the same procedure as per the front turn indicators.

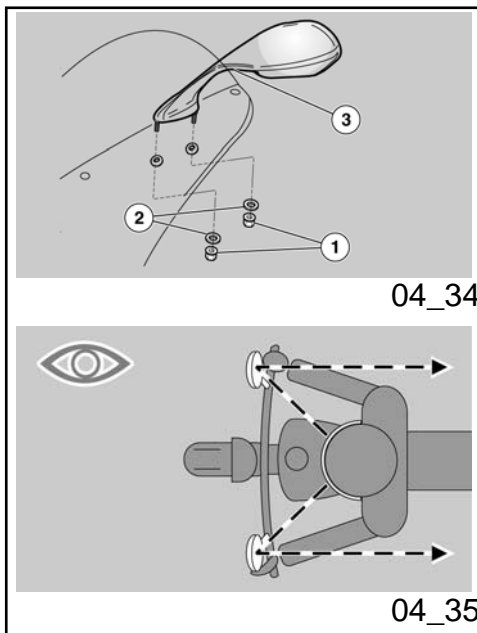


Number plate light (04_33)

- Rest the vehicle on its stand.
- Remove the passenger saddle / saddle cover.
- Take out the license plate light bulb holder.
- Slide off and replace the bulb with another of the same type.

Brake light

This vehicle has a LED rear headlamp; have it replaced at an official **aprilia** Dealer.



Rear-view mirrors (04_34, 04_35)

- Disconnect the turn indicator wiring.
- Unscrew and remove the two nuts (1) and collect the washers (2).
- Slide off the rear-view mirror (3) being careful with the electric connector.



HANDLE THE PLASTIC AND PAINTED COMPONENTS WITH CARE, DO NOT SCRATCH OR IMPAIR THEM.

CAUTION

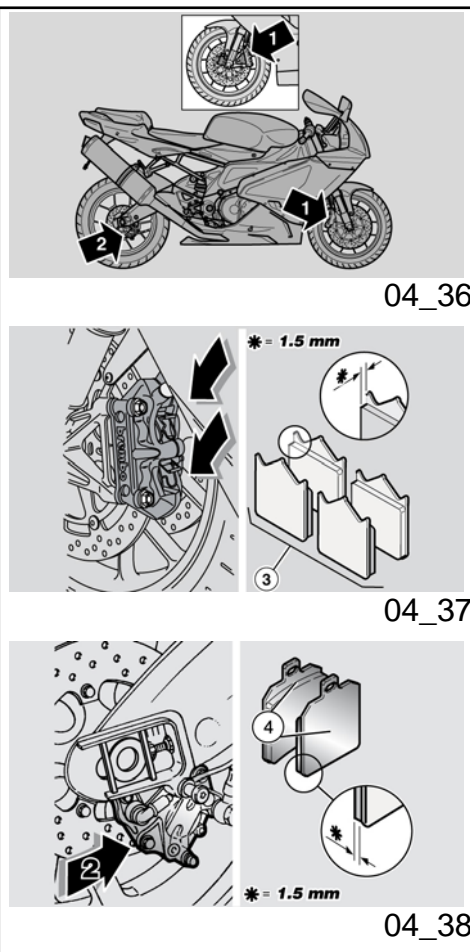
REPEAT THE PROCEDURE TO REMOVE THE OTHER MIRROR.



AFTER REFITTING, ADJUST THE REAR-VIEW MIRRORS CORRECTLY AND TIGHTEN THE NUTS IN ORDER TO ENSURE STABILITY.

After refitting:

- Adjust the rear-view mirror angle correctly.



Front and rear disc brake (04_36, 04_37, 04_38)

CAUTION



CHECK BRAKE PADS FOR WEAR MAINLY BEFORE EACH RIDE.

To carry out a quick pad wear check:

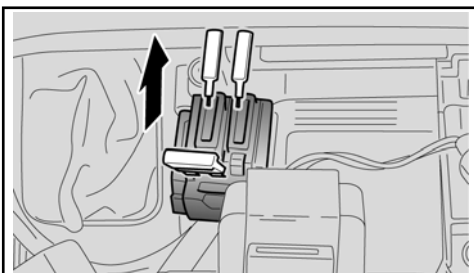
- Rest the vehicle on its stand.
- Carry out a visual inspection of brake disc and pads as follows:

- look from above at the rear to check the front brake calliper (1);
- on the opposite side of the vehicle and through the rim, check the rear brake calliper (2).

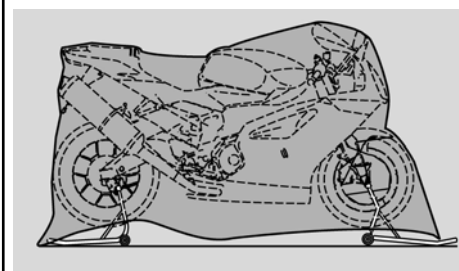
CAUTION

EXCESSIVE WEAR OF FRICTION MATERIAL MAKES THE PAD METAL SUPPORT GET INTO CONTACT WITH THE DISC, WHICH RESULTS IN A METALLIC NOISE AND SPARKS IN THE CALLIPER; THIS COMPROMISES BRAKING EFFICIENCY AND SAFE RIDING AS WELL AS DAMAGES THE DISC.

If the friction material thickness (even of one front (3) or rear (4) pad) is reduced to a value of about **1.5 mm (0.06 in)** (or even if one of the wear indicators is not very visible), contact an Official **aprilia** Dealer to have the calliper pads replaced.



04_39



04_40

Periods of inactivity (04_39, 04_40)

Take some measures to avoid the side effects of not using the vehicle. Besides, it is necessary to carry out general repairs and checks before garaging the vehicle as one can forget to do so afterwards.

Proceed as follows:

- Remove the battery.
- Wash and dry the scooter.
- Polish the painted surfaces.
- Inflate tyres.
- Store the scooter in a cool, dry place, not exposed to sun rays and with minimum temperature variations.
- Wrap and tie a plastic bag around the exhaust pipe opening to keep moisture out.

NOTE

PLACE A SUITABLE SUPPORT UNDER THE VEHICLE TO KEEP THE WHEELS OFF THE GROUND.

- Place the scooter on its front (optional) and rear (optional) service stands.
- Cover the vehicle. Do not use plastic or waterproof materials.

AFTER STORAGE

NOTE

TAKE THE PLASTIC BAGS OFF THE EXHAUST PIPE OPENING.

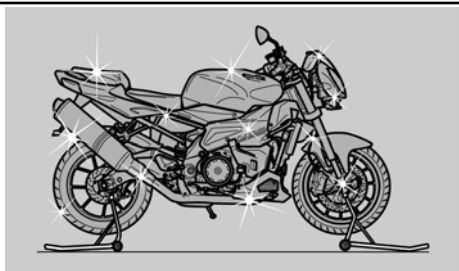
- Uncover and clean the scooter.
- Check the battery for correct charge and install it.

- Refill the fuel tank.
- Carry out the pre-ride checks.

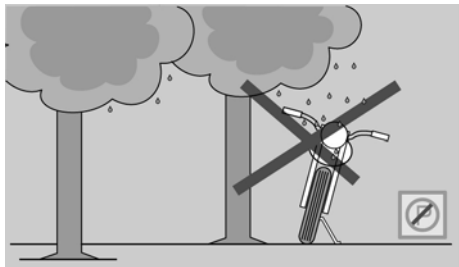
CAUTION



TEST RIDE THE VEHICLE AT MODERATE SPEED FOR A FEW KILOMETRES IN AN AREA AWAY FROM TRAFFIC.



04_41



04_42

Cleaning the vehicle (04_41, 04_42, 04_43)

Clean the scooter frequently if exposed to adverse conditions, such as:

- Air pollution (cities and industrial areas).
- Atmospheric salinity and humidity (seashore areas, hot and wet weather).
- Special ambient/seasonal conditions (use of salt, anti-icing chemical products on the roads in winter).
- Make sure to clean off any industrial residue and pollutants, tarmac, dead insects, bird droppings etc. from the vehicle fairings.
- Avoid parking the vehicle under trees. Resins, fruits or leaves falling from trees may contain aggressive chemical substances that may damage the paintwork.

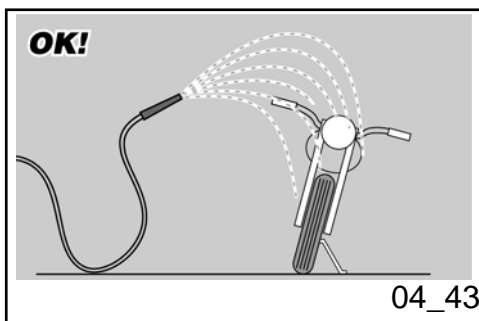
CAUTION



BEFORE WASHING THE VEHICLE, COVER THE ENGINE AIR INTAKES AND THE EXHAUST PIPES.

CAUTION





AFTER CLEANING YOUR VEHICLE, BRAKING EFFICIENCY MAY BE TEMPORARILY AFFECTED DUE TO THE PRESENCE OF WATER ON THE FRICTION SURFACES OF THE BRAKING CIRCUIT. CALCULATE A LONGER BRAKING DISTANCE IN ORDER TO AVOID ACCIDENTS. BRAKE REPEATEDLY TO RESTORE NORMAL OPERATION. CARRY OUT THE PRE-RIDE CHECKS.

To clean off dirt and mud deposited from painted surfaces, soften caked dirt with a low-pressure water jet. Sponge off using a car body sponge soaked in a car body shampoo and water solution (2 ÷ 4% parts of shampoo in water). Then rinse with plenty of water, and dry with a chamois leather. To clean the engine outer parts, use degreasing detergent, brushes and old cloths. Anodised or painted aluminium parts such as forks, rims, frame, footrests etc. should be washed using water and mild soap. Using aggressive detergents may damage the surface treatment of these components. Using aggressive detergents may damage the surface treatment of these components.



TO CLEAN THE HEADLIGHTS USE A SPONGE SOAKED IN WATER AND MILD DETERGENT, RUBBING THE SURFACE GENTLY AND RINSING FREQUENTLY WITH PLENTY OF WATER. REMEMBER TO CLEAN THE VEHICLE CAREFULLY BEFORE ANY POLISHING WITH SILICON WAX. DO NOT POLISH MATT-PAINTED SURFACES WITH POLISHING PASTE. THE VEHICLE SHOULD NEVER BE WASHED IN DIRECT SUNLIGHT, ESPECIALLY DURING THE SUMMER WHEN THE BODYWORK IS STILL HOT, AS THE SHAMPOO MAY DAMAGE THE PAINTWORK IF IT DRIES BEFORE BEING RINSED OFF.

CAUTION



DO NOT USE WATER (OR LIQUIDS) AT TEMPERATURES OVER 40°C (104°F) WHEN CLEANING PLASTIC PARTS OF THE SCOOTER. DO NOT AIM HIGH PRESSURE AIR/

WATER JETS OR STEAM JETS DIRECTLY TO THE FOLLOWING PARTS: WHEEL HUBS, CONTROLS ON THE RIGHT AND LEFT SIDE OF THE HANDLEBAR, BEARINGS, BRAKE PUMPS, INSTRUMENTS AND GAUGES, EXHAUST SILENCER, IGNITION SWITCH/ STEERING LOCK. DO NOT USE ALCOHOL OR SOLVENTS TO CLEAN ANY RUBBER OR PLASTIC SADDLE COMPONENTS: USE WATER AND MILD SOAP INSTEAD.

CAUTION

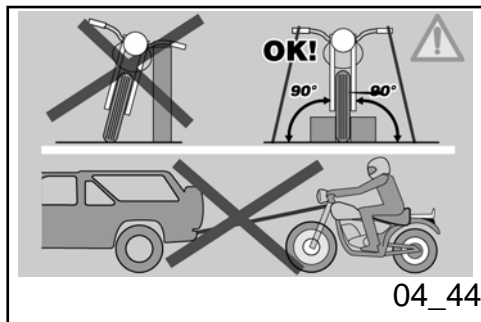
DO NOT USE SOLVENTS OR PETROL BY-PRODUCTS (ACETONE, TRICHLOROETHYLENE, TURPENTINE, PETROL, THINNERS) TO CLEAN THE SADDLE. USE INSTEAD DETERGENTS WITH SURFACE ACTIVE AGENTS NOT EXCEEDING 5% (NEUTRAL SOAP, DEGREASING DETERGENTS OR ALCOHOL).

DRY THE SADDLE WELL AFTER CLEANING.

CAUTION



DO NOT APPLY ANY PROTECTIVE WAX ON THE SADDLE OR IT MAY BECOME SLIPPERY.

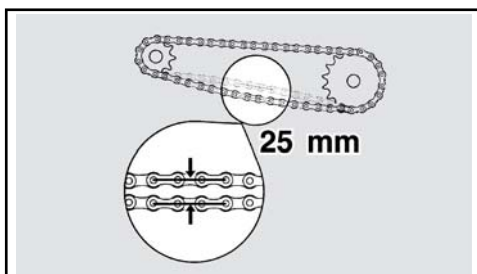


Transport (04_44)

Before transporting the vehicle, empty the fuel tank well and make sure it is perfectly dry.

During transport the vehicle must be well anchored and upright, and first gear must be engaged to avoid fuel and oil leaks.

IN CASE OF FAILURE, DO NOT HAVE THE SCOOTER TOWED. ASK FOR ROAD ASSISTANCE SERVICE.



04_45

Checking play (04_45)

To check the backlash:

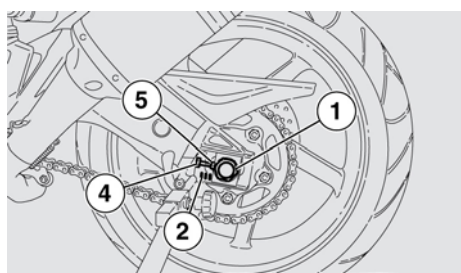
- Stop the engine.
- Rest the vehicle on its stand.
- Engage neutral gear.
- Check that vertical oscillation at a point between the pinion and the crown on the lower branch of the chain is around **25 mm (0.98 in)**.
- Move the vehicle forward so as to check the chain vertical oscillation in other positions too. backlash should remain constant during all wheel rotation phases.

Adjust backlash if it is uniform but higher or lower than **25 mm (0.98 in)**.

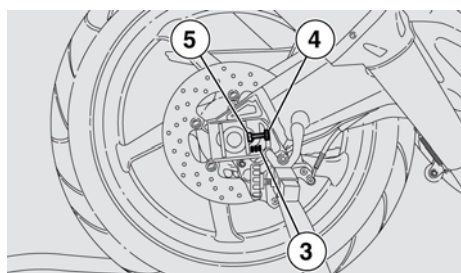
CAUTION

IF THERE IS MORE BACKLASH AT SOME POSITIONS, THIS MEANS THAT SOME CHAIN LINKS ARE FLATTENED OR JAMMED. IF THIS OCCURS, CONSULT AN aprilia Official Dealer.

TO AVOID THE RISK OF SEIZURE, LUBRICATE THE CHAIN ON A REGULAR BASIS.



04_46



04_47

Adjustment (04_46, 04_47)

If after the check, the chain should be tightened:

- Rest the vehicle on the rear service stand (optional).
- Loosen the nut (1) completely.
- Loosen the two lock nuts (4).
- Operate the set screws (5) and adjust the chain backlash making sure that the references (2-3) coincide at both sides of the vehicle.
- Screw the two lock nuts (4).
- Screw the nut (1).
- Check the chain for backlash.

NOTE

WHEEL CENTRING IS CARRIED OUT USING THE IDENTIFIABLE FIXED REFERENCES

(2-3) INSIDE THE TENSIONER PAD MOUNTS ON THE FORK ARMS, IN FRONT OF THE WHEEL PIN.

Checking wear of chain, front and rear sprockets

Also check the following parts and make sure that the chain, pinion and crown do not have:

- Damaged rollers.
- Loosened pins.
- Dry, rusty, flattened or jammed chain links.
- Excessive wear.
- Missing sealing rings.
- Excessively worn or damaged pinion or crown teeth.

CAUTION

IF THE CHAIN ROLLERS ARE DAMAGED, THE PINS ARE LOOSENEED AND/OR THE O-RINGS ARE MISSING OR DAMAGED, THE WHOLE CHAIN APPARATUS (PINION, CROWN AND CHAIN) SHOULD BE REPLACED.

CAUTION

LUBRICATE THE CHAIN ON A REGULAR BASIS, PARTICULARLY IF YOU FIND DRY OR RUSTY PARTS. FLATTENED OR JAMMED CHAIN LINKS SHOULD BE LUBRICATED AND GOOD OPERATING CONDITIONS RESTORED. IF YOU ARE UNABLE TO REPAIR THEM, CONTACT AN aprilia Official Dealer, WHO WILL REPLACE THEM.

Lubrication and cleaning

Never wash the chain with high pressure air/water jets or steam jets or highly flammable solvents.

- Wash the chain with fuel oil or kerosene. Maintenance operations should be more frequent if there are signs of quick rust.

Lubricate the chain whenever necessary.

- After washing and drying the chain, lubricate it with spray grease for sealed chains.



THE GEARING CHAIN HAS SEALING RINGS AMONG THE LINKS THAT KEEP THE GREASE INSIDE. BE EXTREMELY CAREFUL WHEN ADJUSTING, LUBRICATING, WASHING AND REPLACING THE CHAIN.

CHAIN LUBRICANTS AVAILABLE IN THE MARKET MAY CONTAIN SUBSTANCES THAT DAMAGE THE RUBBER SEALING RINGS OF THE CHAIN.

DO NOT USE THE VEHICLE RIGHT AFTER CHAIN LUBRICATION BECAUSE THE LUBRICANT COULD BE SPRAYED OUT WHEN SUBMITTED TO THE CENTRIFUGAL FORCE, SMUDGING THE SURROUNDING AREA.

RSV1000 R - RSV1000 FACTORY

aprilia



Chap. 05
Technical data

DIMENSIONS

Specification	Desc./Quantity
Max. length	2025 mm (79.72 in)
Max. width	730 mm (28.74 in)
Max. height (to windshield)	1120 mm (44.09 in)
Saddle height	810 mm (31.89 in)
Wheelbase	1410 mm (55.51 in)
Minimum ground clearance	130 mm (5.12 in)
Kerb weight	R - 213 kg (470 lb) FACT - 207 kg (456 lb)

ENGINE

Specification	Desc./Quantity
Model	V990RR NG
Type	60° longitudinal V-twin, 4-stroke, 4 valves per cylinder, 2 overhead camshafts.
Cylinder quantity	2
Overall engine capacity	997.6 cm ³ (60.88 cu.in)

Bore/stroke	97 mm / 67.5 mm (3.82 in / 2.66 in)
Compression ratio	11.8 +/- 0.5 :1
Ignition	Electric
Engine revs at idle speed	1250 +/- 100 rpm
Clutch	Multiple-disc, oil-bathed clutch with hydraulic control on the left side of the handlebar and PPC device
Lubrication system	Dry sump system with separate oil tank and cooling radiator
Air filter	With dry cartridge filter
Cooling	liquid

TRANSMISSION

Specification	Desc./Quantity
Type	mechanic, 6 gears with pedal lever on the left hand side of the engine

CAPACITY

Specification	Desc./Quantity
Fuel (reserve included)	18 l (4.76 USgal)
Fuel reserve	4 +/- 1 l (1.06 +/- 0.26 USgal)
Engine oil	oil change: 3700 cm ³ (225.78 cu.in) - oil and oil filter change: 3900 cm ³ (237.99 cu.in)
Oil for Ohlins fork	FG8903 fork type, oil level from the sleeve rim : 85 mm (3.35 in) - FG616 fork type, oil level from the sleeve rim: 130 mm (5.12 in). (with spring fitted and sleeve as far as it will go)
Coolant	2.2 l (0.58 USgal) (50% water + 50% ethylene glycol antifreeze fluid)
Seats	2
Vehicle max. load	R - 188 kg (414.5 lb) (rider + passenger + luggage) FACT. - 194 kg (427.7 lb) (rider + passenger + luggage)

GEAR RATIOS

Specification	Desc./Quantity
Gear ratios	Primary gears 31/60
1st gear ratio	15/34 (secondary)
2nd gear ratio	19/31 (secondary)
3rd gear ratio	20/26 (secondary)
4th gear ratio	22/24 (secondary)
5th gear ratio	25/24 (secondary)
6th gear ratio	26/23 (secondary)
Final gear ratio	16/40

DRIVE CHAIN

Specification	Desc./Quantity
Type	endless (without master link) and with sealed links
Model	525

SUPPLY SYSTEM

Specification	Desc./Quantity
Type	electronic injection (Multipoint)
Diffuser	Ø 57 mm (2.24 in)

FUEL SUPPLY

Specification	Desc./Quantity
Fuel	Premium unleaded petrol, minimum octane rating of 95 (NORM) and 85 (NOMM)

CHASSIS

Specification	Desc./Quantity
Type	box section sloping twin-spar frame in aluminium alloy.
Steering inclination angle	25°
Trail	101.7 mm (4.00 in) (with 120/70 tyres)

SUSPENSIONS

Specification	Desc./Quantity
Front:	adjustable upside-down hydraulic action telescopic fork, Ø 43 mm (1.69 in) stems
Travel	R - 127 mm (5.00 in) FACT - 120 mm (4.72 in)
Rear	aluminium alloy double banana swingarm. aprilia Progressive System (APS) rising rate linkages. Hydraulic monoshock with adjustment for spring preload and length / rebound / damping.
Wheel travel	133 mm (5.39 in)

BRAKES

Specification	Desc./Quantity
Front:	double floating disc, Ø 320 mm (12.59 in), radially-mounted calliper with four Ø 34 mm (1.34 in) plungers and 4 pads
Rear	Ø 220 mm (8.66 in) disc brake, calliper with Ø 32 mm (1.25 in)

twin plungers

WHEEL RIMS

Specification	Desc./Quantity
Type	light alloy rims with extractable bolt
Front:	3.50 x 17" DIE CAST for R models - FORGED for FACT. models
Rear	6.00 x 17" DIE CAST for R models - FORGED for FACT. models

TYRES

Specification	Desc./Quantity
Tyre type (standard)	R model: PIRELLI DIABLO CORSA; METZELER RENNSPORT; MICHELIN PILOT POWER; DUNLOP SPORTMAX D208RR

FACTORY model:	
PIRELLI DRAGON SUPERCORSA PRO	
Front:	120/70 ZR 17"
Inflation pressure	2.53 bar (253.31 kPa) (36.74 PSI)
Rear	190/50 ZR 17"
Inflation pressure	2.83 bar (283.71 kPa) (41.14 PSI)
Type	<p>alternatively for R models: PIRELLI DIABLO CORSA; PIRELLI DRAGON SUPERCORSA EVO; METZELER SPORTEC; METZELER RENNSPORT; MICHELIN PILOT POWER; MICHELIN PILOT POWER RACE; DUNLOP SPORTMAX QUALIFER</p> <p>alternatively for FACTORY models: PIRELLI DIABLO CORSA; PIRELLI DRAGON SUPERCORSA EVO; METZELER SPORTEC; METZELER RENNSPORT; MICHELIN PILOT POWER RACE; DUNLOP SPORTMAX D 208 RR; DUNLOP SPORTMAX QUALIFER</p>

Front:	120/70 - ZR 17"
Rear	180/55 ZR 17" - 190/55 ZR 17"

SPARK PLUGS

Specification	Desc./Quantity
Standard	NGK R DCPR9E
Spark plug electrode gap	0.6 ÷ 0.7 mm (0.024 ÷ 0.028 in)
Resistance	5 kOhm

ELECTRICAL SYSTEM

Specification	Desc./Quantity
Battery	12V - 10 Ah
Main fuses	30 A
Secondary fuses	5A; 15A; 20A
(Permanent-magnet) Generator	12V - 500W

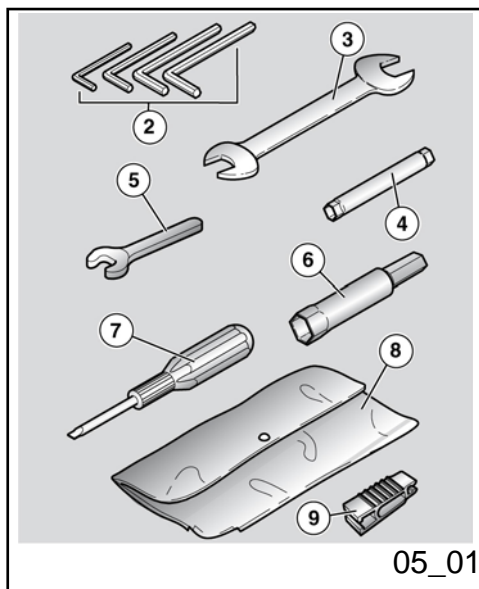
BULBS

Specification	Desc./Quantity
(Halogen) low-beam light	12 V - 55 W H11 x 2
(Halogen) high-beam light	12 V - 55 W H11 x 2
Front tail light	12 V - 5 W x 2
Turn indicator lights	12 V - 10 W AMBER (USA models, 12 V - 10 W)
License plate light	12V - 5W
Rear tail light /stop light	LED
Rpm indicator lighting	LED
Left multifunction display lighting	LED

WARNING LIGHTS

Specification	Desc./Quantity
Gear in neutral	LED
Turn indicators	LED
Fuel reserve	LED

High-beam light	LED
Stand lowered	LED
General warning light	LED
Overrevving	LED
Immobilizer	LED



Kit equipment (05_01)

The tools supplied are:

- 3; -4; -5; -6 mm (-0.12 - 0.16 - 0.20 - 0.24 in) L-shaped hex Allen keys (2) ;
- 11 - 13 mm (0.43 - 0.51 in) double open ended spanner (3);
- 8 - 10 mm (0.31 - 0.39 in) double box spanner (4);
- 17 mm (0.67 in) single open ended spanner (5);
- 16 - mm (0.63 - in) box-spanner for spark plug (6);
- 4 - mm crosshead/plain slot screwdriver (7);
- Toolkit pouch (8);
- pliers to extract fuses (9).

Maximum weight allowed: 1.5 kg.

RSV1000 R - RSV1000 FACTORY

aprilia



Chap. 06
Programmed
maintenance

Scheduled maintenance table

Adequate maintenance is fundamental to ensuring long-lasting, optimum operation and performance of your vehicle.

To this end, aprilia offers a set of checks and maintenance services (at the owner's expense), that are summarised in the table shown on the following page. Any minor faults should be reported without delay to an **aprilia Authorised Dealer or Sub-Dealer** without waiting until the next scheduled service to solve it.

All scheduled maintenance services must be carried out at the specified times, even if the stated mileage has not yet been reached. Carrying out scheduled services on time is essential to ensure your warranty validity. For further information regarding Warranty procedures and "Scheduled Maintenance", please refer to the "Warranty Booklet".

NOTE

CARRY OUT MAINTENANCE OPERATIONS AT HALF THE INTERVALS SHOWN IF THE VEHICLE IS USED IN WET OR DUSTY AREAS, OFF ROAD OR FOR SPORTING APPLICATIONS.

AT EVERY START-UP

Action

Warning light indicating error on the instrument panel - check

BEFORE EACH RIDE AND EVERY 2000 KM (1250 MI)

Action

Brake pad wear - Check and clean, adjust or replace if necessary

AFTER RUN-IN (1000 KM (625 MI))

Action
Gearing chain - Check and lubricate or replace if necessary
Transmission cables and controls - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary
Steering bearings and steering clearance - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary.
Disc brakes - Check and clean, adjust or replace if necessary
Engine oil filter - Replace
Engine oil filter (in the oil reservoir) - clean
General vehicle operation - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary.
Braking systems - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary
Light circuits - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary
Safety switches - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary
Clutch lever fluid - check and top-up if necessary
Brake fluid - check
Coolant - Check and top-up
Engine oil - Change
Tyres - Check and clean, adjust or replace if necessary
Tyre pressure - Adjust

Wheels - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Bolts, nuts and screws tightening - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Cylinder synchronisation - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Suspensions and setting - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Brake pad wear - Check and clean, adjust or replace if necessary

EVERY 1000 KM (625 MI)

Action

Tyre pressure and wear - check

Gearing chain tension and lubrication - check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Brake pad wear - Check and clean, adjust or replace if necessary

EVERY 5000 KM (3125 MI) - IF THE VEHICLE IS USED FOR RACING

Action

Rear shock absorber - Check

Complete transmission - Check for wear

Spark plugs - Replace

Transmission cables and controls - check and clean, grease or replace if necessary

Wheel bearings - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Steering bearings and steering clearance - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary.

Air filter - Replace

Engine oil filter - Replace

Engine oil filter (in the oil reservoir) - clean

General vehicle operation - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary.

Braking systems - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Cooling system - check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Clutch lever fluid - replace

Brake fluid - Change

Coolant - Check and top-up

Engine oil - Change

Fork oil - Replacement

Fork oil seal - check and clean, replace if necessary

Brake pads: check and replace in case of excessive wear

Complete piston - Replacement

Valve clearance adjustment - Adjust

Wheels - Tyres - Check

Bolts, nuts and screws tightening - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Suspensions - check

Brake discs thickness - Check

Purge fluid present in oil drainage pipe from the filter housing - Clean

Final drive (chain, crown, pinion) - check and clean, grease or replace if necessary (according to the Workshop Booklet specifications)

Clutch wear - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

EVERY 10,000 KM (6250 MI) OR 12 MONTHS

Action

Spark plug - Check

Gearing chain - Check and lubricate or replace if necessary

Transmission cables and controls - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Steering bearings and steering clearance - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary.

Disc brakes - Check and clean, adjust or replace if necessary

Air filter - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Engine oil filter - Replace

General vehicle operation - Check and clean, adjust, grease or

replace if necessary.

Cooling system - check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Braking systems - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Light circuits - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Safety switches - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Clutch lever fluid - check and top-up if necessary

Brake fluid - Check

Fork oil - Replacement

Engine oil - Change

Light direction - operation - Check

Fork oil seal - check and clean, replace if necessary

Wheels - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Bolts, nuts and screws tightening - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Cylinder synchronisation - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

Fuel pipes - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

EVERY 20,000 KM (12,500 MI) OR 24 MONTHS**Action**

Rear shock absorber - Check

Spark plug - Replace

Rear suspension linkage bearings - check and clean, adjust, replace if necessary

Air filter - Replace

Engine oil filter (in the oil reservoir) - clean

Coolant - Check and top-up

Valve clearance adjustment - Adjust

Suspensions and setting - Check and clean, adjust, grease or replace if necessary

EVERY 24 MONTHS**Action**

Clutch lever fluid - replace

Brake fluid - Change

Coolant - Replace

EVERY 4 YEARS**Action**

Fuel pipes - Replace

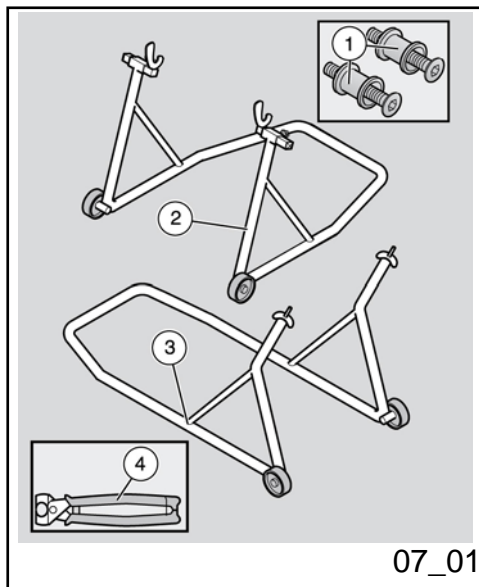
RECOMMENDED PRODUCTS		
Product	Description	Specifications
AGIP TEC 4T, SAE 15W-50	engine oil	Use top branded oils that meet or exceed the requirements of CCMC G-4 API SG specifications SAE 15W-50
OHLINS 5W	Olio forcella	-
AGIP MP GREASE	Grease for bearings, joints, couplings and leverages	Alternatively to the recommended product, use top branded grease for roller bearings, useful temperature range: -30°C...+140°C (-22°F...+284°F), drop point: 150°C...230°C (302°F...446°F), high anticorrosive protection, good water and rust resistance.
AGIP CHAIN LUBE	Recommended CHAIN oil	Grease
AGIP BRAKE 5.1, DOT 4	Recommended BRAKE FLUID	-
AGIP BRAKE 5.1, DOT 4	Recommended CLUTCH FLUID	-
AGIP COOL	Recommended ENGINE COOLANT	

RSV1000 R - RSV1000 FACTORY

aprilia



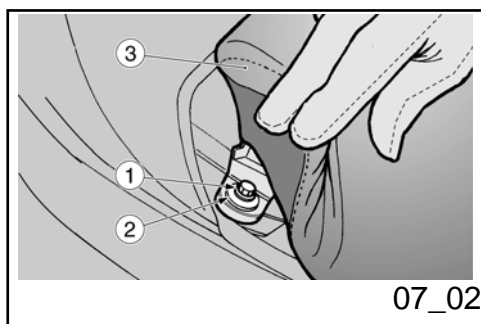
Chap. 07
Special fittings



Accessories index (07_01)

Key:

1. Pegs for rear service stand
2. Rear service stand
3. Front service stand
4. Pliers for clic clamps



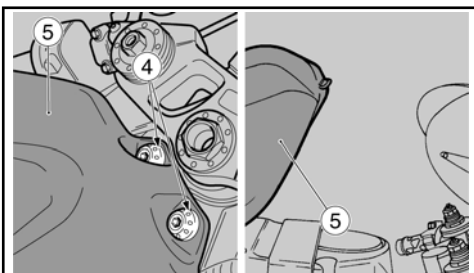
Fairings (07_02, 07_03, 07_04, 07_05, 07_06, 07_07, 07_08)

RIDER SADDLE REMOVAL

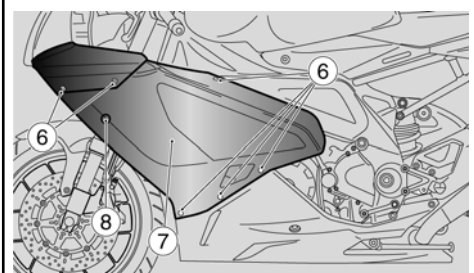
- Rest the vehicle on its stand.
- Working from both sides, lift the saddle rear side flap partially.
- Working from both sides, unscrew and remove the screw (1) and collect the bushing (2).
- Lift and remove the saddle.
- To refit the saddle, follow the operations described but in reverse order.

Tightening torque for screw (1): see SERVICE STATION MANUAL.

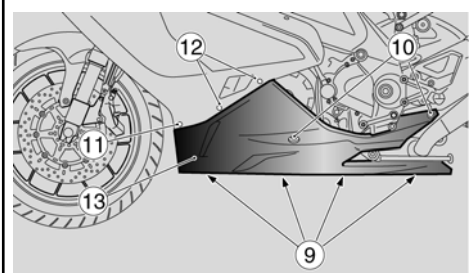
WARNING



07_03



07_04



07_05

WHEN REFITTING THE SADDLE INSERT THE SADDLE FRONT TAB IN ITS SLOT.



BEFORE SETTING OFF, MAKE SURE THAT THE SADDLE IS CORRECTLY LOCKED IN-TO POSITION.

THE SADDLE COVER CAN BE USED ALTERNATIVELY TO THE PASSENGER SADDLE; HOWEVER, IF THE SADDLE COVER IS FITTED, IT IS NOT POSSIBLE TO CARRY A PASSENGER. CARRYING A PASSENGER ON THE SADDLE COVER IS ILLEGAL AND IT IS HIGHLY LIKELY THAT THE PASSENGER FALLS DOWN.

LIFTING THE FUEL TANK

CAUTION



FIRE HAZARD.

ALLOW ENGINE AND EXHAUST SILENCER TO COOL OFF.

FUEL VAPOURS ARE HARMFUL TO HEALTH.

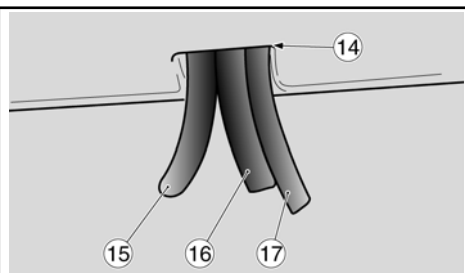
BEFORE ANY OPERATION, MAKE SURE THAT THE ROOM WHERE YOU ARE HAS ADEQUATE AIR VENTILATION.

DO NOT INHALE FUEL VAPOURS.

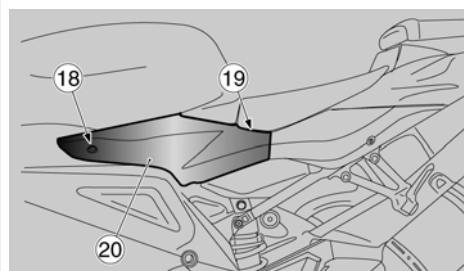
DO NOT SMOKE OR USE NAKED FLAMES.

DO NOT DISPOSE OF FUEL INTO THE ENVIRONMENT.

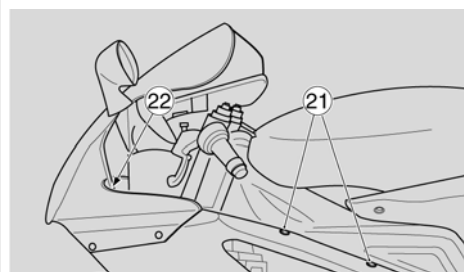
- Remove the rider saddle.
- Remove the side fairings.
- Unscrew and remove the two front screws (4) fixing the fuel tank (5).



07_06



07_07



07_08

- Lift the fuel tank (5) from the front and use a suitable stand to keep it lifted.

SIDE FAIRING REMOVAL

CAUTION

ALLOW ENGINE AND EXHAUST SILENCER TO COOL OFF.

SECURE THE SCOOTER SO THAT IT IS POSSIBLE TO OPERATE IN TOTAL SAFETY AND WITHOUT THE SIDE STAND.

NOTE

HANDLE PLASTIC AND PAINTED COMPONENTS WITH CARE; DO NOT SCRATCH OR SPOIL THEM.

Though the following operations only refer to one side fairing, they are applicable to both.

- Rest the scooter on its stand.
- Loosen and remove the seven quick-release screws.
- Release and collect the rivet.
- Remove the side fairing.

LOWER FAIRING REMOVAL

CAUTION

ALLOW ENGINE AND EXHAUST SILENCER TO COOL OFF.

SECURE THE SCOOTER SO THAT IT IS POSSIBLE TO OPERATE IN TOTAL SAFETY AND WITHOUT THE SIDE STAND.

NOTE

HANDLE PLASTIC AND PAINTED COMPONENTS WITH CARE; DO NOT SCRATCH OR SPOIL THEM.

- Unscrew and remove the four screws (9).
- Working from both sides of the scooter, unscrew and remove the four screws (10): two on the right and two on the left).
- Working from both sides of the scooter, loosen the two quick-release screws (11).
- Working from both sides of the scooter, loosen the four quick-release screws (12).
- Remove the lower fairing (13).

NOTE

WHEN REFITTING THE FAIRING, FIT PIPES (15), (16) AND (17) THROUGH THE HOLE (14) ON THE LEFT SIDE OF THE LOWER FAIRING.

SIDE FAIRING REMOVAL

NOTE

HANDLE PLASTIC AND PAINTED COMPONENTS WITH CARE; DO NOT SCRATCH OR SPOIL THEM.

- Remove the rider saddle.
- Unscrew and remove the screw (18).
- Unscrew and remove the front screw (19).
- Remove the fairing (20).

NOTE

WHEN REFITTING THE FAIRING, MAKE SURE THE REAR TABS ARE PROPERLY POSITIONED.

REPEAT THE OPERATIONS TO REMOVE THE OTHER FAIRING.

NOTE

THE PASSENGER SADDLE OR SADDLE COVER LOCK IS AN INTEGRAL PART OF THE SIDE FAIRING.

SHOULD COMPLETE REMOVAL BE NECESSARY, RELEASE THE FLEXIBLE CABLE FROM THE LOCK ON THE FAIRING INNER SIDE.

REMOVING THE UPPER FAIRING FRONT LOCKS

Though the following operations only refer to one lock, they apply to both.

- Unscrew and remove the two screws (21).
- Unscrew and remove the fixing screw (22).
- Gently pull the side fairing to release the lock.

NOTE

HANDLE PLASTIC AND PAINTED COMPONENTS WITH CARE; DO NOT SCRATCH OR SPOIL THEM.



THE VALUE OF SERVICE

Thanks to continuous technical updates and specific training programs on aprilia products, only **aprilia Official Network** mechanics know this vehicle fully and have the special tools necessary to carry out maintenance and repair operations correctly.

The reliability of the vehicle also depends on its mechanical conditions. Checking the scooter before riding it, its regular maintenance and the use of **Original aprilia Spare Parts** only are essential factors!

For information about the nearest **Official Dealer and/or Service Centre**, consult the Yellow Pages or search directly on the inset map in our Official Website:

www.aprilia.com

Only aprilia Original Spare Parts ensure products already studied and tested during the vehicle design stage. All aprilia Original Spare Parts undergo quality control procedures to guarantee full reliability and duration.

The descriptions and illustrations given in this publication are not binding; While the basic characteristics as described and illustrated in this manual remain unchanged, aprilia reserves the right, at any time and without being required to update this publication beforehand, to make any changes to components, parts or accessories, which it considers necessary to improve the product or which are required for manufacturing or construction reasons.

Not all versions shown in this publication are available in all Countries. The availability of individual versions should be confirmed with the official aprilia sales network.

© Copyright 2006- aprilia. All rights reserved. Reproduction of this publication in whole or in part is prohibited. aprilia - After sales service.

aprilia trademark is property of Piaggio & C. S.p.A.